

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

I N D E X

建 築				電 気 設 備		機 械 設 備	
図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容
A - 01	改修特記仕様書 (1)	A - 31	3階(合同教室) 平面詳細図・展開図	E - 01	電気設備特記仕様書 1	M - 01	機械設備特記仕様書 1
A - 02	改修特記仕様書 (2)	A - 32	3階(普通教室2-b) 平面詳細図・展開図	E - 02	電気設備特記仕様書 2	M - 02	機械設備特記仕様書 2
A - 03	改修特記仕様書 (3)	A - 33	3階(特別支援学級室) 平面詳細図・展開図	E - 03	電気設備特記仕様書 3	M - 03	凡例 換気機器表 衛生器具表
A - 04	改修特記仕様書 (4)	A - 34	4階(普通教室) 平面詳細図・展開図	E - 04	1階 動力・弱電設備平面図 改修後 1階 電灯コンセント設備平面図 改修後	M - 04	1階平面図 改修前・後
A - 05	改修特記仕様書 (5)	A - 35	4階(多目的教室) 平面詳細図・展開図	E - 05	2階 動力・弱電設備平面図 改修後 2階 電灯コンセント設備平面図 改修後	M - 05	2階平面図 改修前・後
A - 06	改修特記仕様書 (6)	A - 36	4階(特別支援学級室) 平面詳細図・展開図	E - 06	3階 動力・弱電設備平面図 改修後 3階 電灯コンセント設備平面図 改修後	M - 06	3階平面図 改修前・後
A - 07	配置図・案内図	A - 37	1階・2階 廊下 展開図	E - 07	4階 動力・弱電設備平面図 改修後 4階 電灯コンセント設備平面図 改修後	M - 07	4階平面図 改修前・後
A - 08	改修前・後 外部仕上表・内部仕上表	A - 38	3階・4階 廊下 展開図	E - 08	2階～4階多目的トイレ電灯設備平面図 改修後 2階～4階多目的トイレコンセント設備平面図 改修後	M - 08	給排水衛生設備 1, 2階 多目的トイレ平面詳細図 改修前・後
A - 09	既設 1階平面図	A - 39	1階 天井伏図	E - 09	弱電機器図	M - 09	給排水衛生設備 3, 4階 多目的トイレ平面詳細図 改修前・後
A - 10	改修 1階平面図	A - 40	2階 天井伏図	E - 10	2階～4階EVインターホン設備平面図 改修後 2階～4階放送・電話設備平面図 改修後	M - 10	給水設備 1階平面図
A - 11	既設 2階・3階平面図	A - 41	3階 天井伏図	E - 11	2階～4階トイレ呼出設備平面図 改修後 2階～4階自動火災報知設備平面図 改修後	M - 11	給水設備 2, 3階平面図
A - 12	改修 2階・3階平面図	A - 42	4階 天井伏図			M - 12	給水設備 4, R階平面図
A - 13	既設 4階・R階平面図	A - 43	建具表 キープラン			M - 13	給水設備 1階平面詳細図 改修前・後
A - 14	改修 4階・R階平面図	A - 44	建具表 NO.1(フィルム貼)			M - 14	給水設備 2階平面詳細図 改修前・後
A - 15	防水平面図・防水改修仕様	A - 45	建具表 NO.2(建具改修), 建具表 NO.3(撤去・新設, 新設)			M - 15	給水設備 3階平面詳細図 改修前・後
A - 16	立面図	A - 46	外部 仮設計画 参考図			M - 16	給水設備 4階平面詳細図 改修前・後
A - 17	既設 矩計図	A - 47	内部 仮設計画(1) 参考図			M - 17	給水設備 R階平面詳細図 改修前・後
A - 18	改修 矩計図	A - 48	内部 仮設計画(2) 参考図			M - 18	1, 2, 3階 天井伏図 改修前・後
A - 19	既設 階段室A矩計図・平面詳細図・展開図	A - 49	構造図(エレベーター周り)				
A - 20	改修 階段室A矩計図・平面詳細図・展開図					昇 降 機 設 備	
A - 21	既設 昇降口矩計図・平面図・展開図					図面番号	図 面 内 容
A - 22	改修 昇降口矩計図・平面図・展開図					EV - 01	エレベーター詳細図 1
A - 23	既設 1階ホール平面詳細図・展開図					EV - 02	エレベーター詳細図 2
A - 24	改修 1階ホール平面詳細図・展開図					EV - 03	エレベーター詳細図 3
A - 25	既設 4階(・3階・2階)ホール平面詳細図・展開図					EV - 04	エレベーター詳細図 4
A - 26	改修 4階(・3階・2階)ホール平面詳細図・展開図					EV - 05	エレベーター詳細図 5
A - 27	既設 EV断面詳細図・改修 EV断面詳細図					EV - 06	エレベーター詳細図 6
A - 28	2階(国際教室) 平面詳細図・展開図					EV - 07	エレベーター詳細図 7
A - 29	2階(普通教室, 合同教室) 平面詳細図・展開図						
A - 30	3階(普通教室2-a) 平面詳細図・展開図						

景 設 計 室

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称	津市立東橋内中学校改修工事
II. 工事概要	
1 工事場所	津市 中河原 地内
2 敷地面積	13,578m2
3 工事内容	棟名称 普通教室棟、特別教室棟 構造 鉄筋コンクリート造4階建て 建築面積 延べ面積 普通教室棟：1788m2、特別教室棟の一部：394m2 工事項目 改修(屋上防水改修、外壁改修、内装改修、建具改修、バリアフリー化改修、塗装改修、昇降機設置、多目的トイレ設置)
III. 建築改修工事仕様	
1 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。
2 特記仕様	(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修棟の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	1）公共建築工事標準仕様書（建築工編） 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版） 2）公共建築改修工事標準仕様書（建築工編） 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版） 3）建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復帰するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。 ※ 外部足場の設置及び解体は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。 ※ 夏休み中等の学校休校日であっても部活動等の団体が行利用する場合があるため、安全に十分注意すること。 ※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。 ※ 原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月21日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。 ※ 北、南昇降口・作業室・保健室・倉庫については、当該出入口から出入りできるよう、外部足場及び外部仮設を計画すること。 ※ 本工事は、通常授業時に限らず夏休み中であっても部活動等の利用をしながらの改修工事となるため、施工に先立ち、学校及び市監督員と協議の上、施工工程を作成し、市監督員の承諾を得てから工事を行うこと。 ※ 外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。 ※ 9月に降以外壁吹付工事等を施工する場合は、新型コロナウイルス対策として、各面を一定スパン毎に分割して区分けし、各教室に少なくとも1方向の換気ができるようにすること。南側及び北側の窓を同時に封鎖する状況で施工することが無いように配慮すること。 ※ 外部鉄部塗装替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散発生するなど粉塵の飛散防止に努めること。 ※ 高所等の施工箇所にて完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。 ※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修旧は本工事を含む、なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期または3学期以降の学校運営に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。 ※ 10月14日（土）は学校行事予定日の為休工とすること。 (8月中引渡) <普通教室棟> ・内部改修部（普通教室、国際教室、合同教室、特別支援学級、多目的教室、廊下、階段室A） ・北、南昇降口、外壁 南面 <特別教室棟> ・2～4階手洗いコーナー、1～3階男子便所 (9月下旬引渡) <特別教室棟> ・2～4階多目的便所
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	※ 各諸室（1クラス30名程度）について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。（平面詳細図参照） なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。 ・普通教室、国際教室、合同教室、特別支援学級、及び多目的教室：机、椅子及び教卓、タブレット保管庫 ・北昇降口：傘立て、掲示板 ・南昇降口：下足入れ、傘立て、掲示板 ・廊下：掲示板

	<ul style="list-style-type: none">水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有（ ・ 蛍光灯 ・ HIDランプ ・ （ ）） 「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。 <ul style="list-style-type: none">石綿含有成形板等解体時の留意点<ul style="list-style-type: none">1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。2.可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。3.飛散されない様にするここと。4.保護具及び作業着を着用すること。5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。現場において再利用を図るもの（ ）再資源化を図るもの（ ）<ul style="list-style-type: none">コンクリート塊アスファルトコンクリート塊建設発生木材分別解体等の方法 <table><thead><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>造成等</td><td>・ 有（○）無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有（○）無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他（土間コンクリート）</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td></tr></tbody></table> <p>引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。</p> <p>受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。 なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> <p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <ul style="list-style-type: none">配置する <p>職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。</p> <p>調査範囲及び調査方法（ ）<ul style="list-style-type: none">工種別の特記による</p> <p>補修方法（ ）<ul style="list-style-type: none">図示（図面番号： ） ・ （ ）</p> <p>1）本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2）本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。</p> <p>測定対象化学物質（●で示したものとす。）</p> <table><thead><tr><th>適用</th><th>施設用途</th><th>ホルムアルデヒド</th><th>トルエン</th><th>キシレン</th><th>エチルベンゼン</th><th>スチレン</th><th>パラジクロロベンゼン</th></tr></thead><tbody><tr><td>○</td><td>学校教育施設</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>住宅</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr></tbody></table> <p>測定対象室及び測定個所数（ ）<ul style="list-style-type: none">図示（図面番号：A-11、A-12、A-13、A-14） ・ （ ）測定方法（ ）<ul style="list-style-type: none">パッシブ法アクティブ法測定時期（ ） 報告書提出部数 2部</p> <p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部（最新版）)に従い撮影する。 提出部数1部 用紙は上質紙とする。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。</p> <p>作成する（ ）<ul style="list-style-type: none">完成図保全に関する資料（ ）完成図作成図範囲（設計図を訂正） 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none">デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。 <p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none">図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ <p>施工図</p> <ul style="list-style-type: none">設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 <p>工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。</p> <p>工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有（○）無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有（○）無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	屋根	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	その他（土間コンクリート）	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン	○	学校教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●	●		その他	●	●	●	●	●	●	
工程	作業の有無	分別解体等の方法																																																					
造成等	・ 有（○）無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																					
基礎・基礎ぐい	・ 有（○）無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																					
上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																																																					
屋根	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																																																					
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																																																					
その他（土間コンクリート）	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																																																					
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																																
○	学校教育施設	●	●	●	●	●	●																																																
	住宅	●	●	●	●	●	●																																																
	その他	●	●	●	●	●	●																																																
2	2 1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)	・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）																																																					
	2 2 足場 (2.2.1) (表2.2.1)	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 内部足場の種別（参考） <ul style="list-style-type: none">脚立棚足場その他（階段足場、シャフト内足場） 外部足場の種別（参考） <ul style="list-style-type: none">手摺先行据置枠組本足場移動足場高所作業車その他（ ） 外部足場設置範囲（参考） <ul style="list-style-type: none">外部改修部設備改修部昇降用転落防止用 防護シート等による養生 <ul style="list-style-type: none">適用する適用しない 足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者																																																					
	3 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 仮設ブライント・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 <ul style="list-style-type: none">行う行わない																																																					
	4 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ○ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ） せつこうボード 厚さ ○9.5mm ・ （ ） 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 設置箇所 ○ 図示（図面番号：A-47、A-48） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ○（アルミ製）																																																					
	5 監督員事務所 (2.4.1)	・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ・ 設置しない 監督員事務所の規模(単位:m)																																																					
		<table><tbody><tr><td>適用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>規模</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></tbody></table>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																									
適用																																																							
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																		
		監督員事務所の仕上げ																																																					
		<table><tbody><tr><th>部 位 等</th><th colspan="5">仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td colspan="5">合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td colspan="5">合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td colspan="5">装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></tbody></table>	部 位 等	仕 上 げ					床	合板張り又はビニル床シート張り					内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り					屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																	
部 位 等	仕 上 げ																																																						
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																						
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り																																																						
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																						
	6 監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7)	<table><tbody><tr><td>種類</td><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白板</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類ロッカー</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>受注者加入電話 FAX</td><td>冷暖房機器</td><td>インターネット</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></tbody></table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	個	組	台	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台																	
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																		
数量	個	組	台	個	個																																																		
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																		
数量	足	着	個	個	台																																																		
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																		
数量	個	個	台	台	台																																																		
	7 仮設便所	構内既存の施設 <ul style="list-style-type: none">利用できる ○ 利用できない																																																					
	8 工事用水	構内既存の施設 <ul style="list-style-type: none">利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない 構内既存の施設 <ul style="list-style-type: none">利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない																																																					
	9 工事用電力	有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																																					
	10 交通誘導警備員	配置 ○ 図示（図面番号：A-46）																																																					

2 9 消防提出書類	1）消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 <ul style="list-style-type: none">○本工事（ ・ 建築工事 ○ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事 2）防火対象物使用開始届出書書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。																																								
2 10 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																								
2 11 不正軽油の使用の禁止	1）一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2）調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3）是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。																																								
2 3 屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。																																								
2 4 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	○石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ・ 図示（図面番号： ） ○（改修範囲） 賃与資料 ○既存の設計図書 ○石綿含有建材の調査報告書 ・ （ ） ・分析調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法																																								
	<table><tbody><tr><td>材料名</td><td>定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td><td>定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数（ ）</td><td>・ 箇所数（ ）</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面(図面番号：) ・ ()	材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）		・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																															
材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																							
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																							
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）																																							
2 1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)	・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）																																								
2 2 足場 (2.2.1) (表2.2.1)	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 内部足場の種別（参考） <ul style="list-style-type: none">脚立棚足場その他（階段足場、シャフト内足場） 外部足場の種別（参考） <ul style="list-style-type: none">手摺先行据置枠組本足場移動足場高所作業車その他（ ） 外部足場設置範囲（参考） <ul style="list-style-type: none">外部改修部設備改修部昇降用転落防止用 防護シート等による養生 <ul style="list-style-type: none">適用する適用しない 足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者																																								
3 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 仮設ブライント・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 <ul style="list-style-type: none">行う行わない																																								
4 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ○ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ） せつこうボード 厚さ ○9.5mm ・ （ ） 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 設置箇所 ○ 図示（図面番号：A-47、A-48） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ○（アルミ製）																																								
5 監督員事務所 (2.4.1)	・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ・ 設置しない 監督員事務所の規模(単位:m)																																								
	<table><tbody><tr><td>適用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>規模</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></tbody></table>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																												
適用																																									
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																				
	監督員事務所の仕上げ																																								
	<table><tbody><tr><th>部 位 等</th><th colspan="5">仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td colspan="5">合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td colspan="5">合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td colspan="5">装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></tbody></table>	部 位 等	仕 上 げ					床	合板張り又はビニル床シート張り					内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り					屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																				
部 位 等	仕 上 げ																																								
床	合板張り又はビニル床シート張り																																								
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り																																								
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																								
6 監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7)	<table><tbody><tr><td>種類</td><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白板</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類ロッカー</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>受注者加入電話 FAX</td><td>冷暖房機器</td><td>インターネット</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></tbody></table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	個	組	台	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台				
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																				
数量	個	組	台	個	個																																				
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																				
数量	足	着	個	個	台																																				
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																				
数量	個	個	台	台	台																																				
7 仮設便所	構内既存の施設 <ul style="list-style-type: none">利用できる ○ 利用できない																																								
8 工事用水	構内既存の施設 <ul style="list-style-type: none">利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない 構内既存の施設 <ul style="list-style-type: none">利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない																																								
9 工事用電力	有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																								
10 交通誘導警備員	配置 ○ 図示（図面番号：A-46）																																								

景 設 計 室				改修特記仕様書（1）	scale	NO. 原因：A2
三重県津市河芸町西千里 1510番地 1 Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp	津市立東橋内中学校長寿命化改修工事	一級建築士 第312324号	竹内 裕子		date	A-01

(6.5.2)(2)(4) (6.5.2)(2)(7) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種
(5.5.6)(1)~ (5.5.9)(1)	部 位 樹 種 県 産 材
(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
(6.5.2)(3)(4)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 15%以下 ・ ()
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
(6.5.2)(4)(4)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 14%以下 ・ ()
(6.5.2)(5)	「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
(6.5.2)(6)	合板等
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)
(6.5.5)(1)	防蟻、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 附属書 A に基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部位 ()) ボード原料接着剤への防蟻・防蟻処理 ()
(6.5.5)(2)	防虫処理 図示 (図面番号:)
(5) 軽量鉄骨天井 地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ ()
(6.6.4)	形式及び寸法 ・ 屋外 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 図示 (図面番号:) ・ ふところ≧3.0m 改修標準仕様書(6.6.4)(8) 図示 (図面番号:)
(6.6.4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 () 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号:)
(6) 軽量鉄骨壁下 地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示 (図面番号: A-26)
(7) ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タ イル張り (6.8.2) (6.8.2)(1) (6.8.2)(2) (6.8.2)(3)(7)(4) (6.8.2)(3)(7) (6.8.2)(3)(7)	材料 ○ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 FS 防滑性 2.5mm 屋外用 FS 防滑性 2.0mm トイレ用ノーワックス ○ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 寸法 厚さ 備考 KT 303×303 2.0mm せっこうボード、その他 ード及び合板 張り ・ 帯電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考 ・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm

(6.8.2)(3)(E)	・ 耐動荷重性床シート
(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 防滑性床シート又は床タイル
(6.8.2)(5)	・ ゴム床タイル
(6.8.3)(1)	工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ()
(6.8.3)(2)(7)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない
8 カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	・ タイルカーペット
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ () 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:))
(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()
(6.9.3)(5)	タイルカーペットの敷き方
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)~ (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)
10 フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	・ 接着工法
(6.11.6)	塗替え 下地調整 ・ () 塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ ()
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)
(12) せっこうボ ード、その他 ード及び合板 張り (6.13.2) (表6.13.1)	種類 種類 厚さ (mm) ○ せっこうボード 壁 ○ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) 天井 ○ 12.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ トラバーチン模様 ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 普通 ・ 9() ・ () ・ 立体模様 ・ 9() ・ () ・ けい酸カルシウム板 ・ タイプII 0.8FK

(6.13.3)(4)(7)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種
(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ○ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し
(13) 壁紙張り (6.14.2)	施工箇所 種類 防火性能 教室 掲示板 量産品 掲示クロス ・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃
(14) モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調査材料 ○ 既調査材料 既製目地材 ・ 使用する (形状:) 床の目地 ・ 図示 (図面番号:) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号:)
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号:) タイルの種類 施工箇所 工 法 種 類 形状寸法 耐滑り性 うわぐすり 役 物 標準・特注 色 耐震性の有無 の別 の有無
(6.16.3)(2)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調査モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない
16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系 ・ セメント系 塗厚 () mm
(17) 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ○ 押出法ポリスチレンフォーム EVビット ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ [mm] 施工箇所 ・ A種 1 ・ A種 1H ・ () ・ () ・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ ()
7 塗 装 改 修 工 事	○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR B種の場合) ・ 図示 (図面番号:) 種類 下地 種別 ひび割れ部の補修 ○ 木部 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ○ 鉄鋼面 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ○ モルタル、プラスター面 ○ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ○ 行う ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ○ せっこうボード、その他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ○ RC種
3 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1)~ (表7.3.7)	種類 下地 種別 ○ 木部 ○ A種 ・ B種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ モルタル、プラスター面 ・ A種 ・ B種 ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ A種 ・ B種 ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 ○ せっこうボード、その他ボード面 ○ A種 ○ B種
(4) 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3)~ (表7.4.5)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種 ○ E種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 ○ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
5 合成樹脂調合 ベ イ ン ト 塗 り (SOP) (7.5.3~7.5.4) (表7.5.1)~ (表7.5.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種類 下地 種別 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
6 クリヤラッカー 塗り (CL) (7.6.2) (表7.6.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種

<p>7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)</p> <p>8 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)</p> <p>9 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)</p> <p>10 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)</p> <p>11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (7.11.2) (表7.11.1)</p> <p>12 スティン塗り(OS) (7.12.2) (表7.12.1)</p> <p>13 木材保護塗料塗り(NP) (7.13.2) (表7.13.1)</p>	<p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>上塗り等級</p> <p>○ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)</p> <p>下地</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </table>	種別	種別	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種									
	種別	種別												
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種												
<p>種別</p> <p>下地</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>○ A種 ○ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(屋内)</td> <td>・ A種 ○ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 ○ B種 C種 <p>しみ止め ()</p>	種別	種別	コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種	木部(屋内)	○ A種 ○ B種 ・ C種	鉄鋼面(屋内)	・ A種 ○ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	<p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない</p>			
種別	種別													
コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種													
木部(屋内)	○ A種 ○ B種 ・ C種													
鉄鋼面(屋内)	・ A種 ○ B種 ・ C種													
亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種													
<p>8の1 耐震改修工事 共通事項</p> <p>(一般事項)</p> <p>1 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)</p> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨プレスの設置工事 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) 柱補強工事(連続繊維補強工法) 耐震スリット新設工事 免震改修・制振改修工事 <p>工事種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄筋工事 ○ あと施工アンカー工事 ○ コンクリート工事 ○ 鉄骨工事 ○ グラウト工事 ○ 連続繊維補強工事 ○ スリット新設工事 ○ 免震改修・制振改修工事 ○ 土工事及び地業工事 	<p>撤去の範囲 (8.21.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示(図面番号:) 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ○ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 () <p>既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置</p> <p>本工事の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分 設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 () <p>撤去範囲 ・ 図示(図面番号:)</p>													
<p>8の2 耐震改修工事 撤去工事</p> <p>1 既存部分の撤去等 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)</p> <p>2 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)</p>	<p>撤去の範囲 (8.21.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示(図面番号:) ○ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 () <p>既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置</p> <p>本工事の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分 設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 () <p>撤去範囲 ・ 図示(図面番号:)</p>													
	<p>既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋の切断</th> <th>範囲</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 () ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 () ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td> <td>・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>はつりだした鉄筋の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 () <p>はつりだした鉄骨の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> 発泡スチロール等で養生する。 () 	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 () ・ 適用なし		・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 () ・ 適用なし		○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ()		
鉄筋の切断	範囲	適用												
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 () ・ 適用なし													
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 () ・ 適用なし													
○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ()													

	<p>(既存部分の処理)</p> <p>3 既存構造体コンクリート面の目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)</p>	<p>既存構造体コンクリート面の目荒らし 目荒らし程度</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。 図示(図面番号:) 																															
<p>8の3 耐震改修工事 鉄筋工事</p>	<p>1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)</p>	<p>材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ SD295</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	種別	径(mm)	○ SD295	D16以下	・ SD345	D19以上	・ SD390	()	・ ()	()																					
	種別	径(mm)																															
	○ SD295	D16以下																															
	・ SD345	D19以上																															
・ SD390	()																																
・ ()	()																																
<p>2 溶接金網 (8.2.2)</p>	<p>網目の形状、寸法及び鉄線の径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>網目の形状、寸法</th> <th>鉄線の径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150×150</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table>	網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)	150×150	6.0																												
網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)																																
150×150	6.0																																
<p>3 加工 (8.3.2)</p>	<p>90°未満の折曲げの内法直径 ・ 図示(図面番号:)</p>																																
<p>4 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重ね継手</td> <td>○ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>・ D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 改修標準仕様書(8.3.4)(3)(7)による ・ 図示(図面番号:) <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号:) <p>先組み工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 柱・梁主筋の継手を同一箇所()に設ける <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 改修標準仕様書(表8.3.4)による ・ (表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示(図面番号:) ・ 図示(図面番号:) <p>機械式定着工法 適用箇所() 種類()</p> <p>帯筋組立の形、継手及び定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示(図面番号:) <p>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ・ () mm</p>		径	部位	重ね継手	○ D16以下		ガス圧接	・ D19以上																								
	径	部位																															
重ね継手	○ D16以下																																
ガス圧接	・ D19以上																																
<p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) (表8.3.6)</p>	<p>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ・ () mm</p>																																
<p>6 各部配筋 (8.3.8)</p>	<p>○ 図示(図面番号:)</p>																																
<p>7 ガス圧接 (8.3.8)</p>	<p>圧接完了後の試験</p> <p>超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない</p>																																
<p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレスの設置工事等)</p>	<p>割裂補強筋の適用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>本数・ピッチ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ スパイラル筋</td> <td rowspan="2">・ 鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td rowspan="2">・ R235</td> <td>・ 6Φ</td> <td>スパイラルの径(mm)</td> <td rowspan="2">・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 9Φ</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ はしご筋</td> <td rowspan="2">・ 鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)</td> <td rowspan="2">・ 295</td> <td>・ 10</td> <td>壁内方向筋</td> <td rowspan="2">・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>壁面外方向筋</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所	・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼	・ R235	・ 6Φ	スパイラルの径(mm)	・ 図示(図面番号:)	・ 9Φ	()	・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・ 295	・ 10	壁内方向筋	・ 図示(図面番号:)	()	壁面外方向筋										
種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所																												
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼	・ R235	・ 6Φ	スパイラルの径(mm)	・ 図示(図面番号:)																												
			・ 9Φ	()																													
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・ 295	・ 10	壁内方向筋	・ 図示(図面番号:)																												
			()	壁面外方向筋																													
<p>8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7)</p>	<p>○ 図示(図面番号:)</p>																																
<p>9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 機械式継手種類() 適用箇所() 性能() 鉄筋相互のあき() mm 施工完了後の継手部の試験() 不合格となった継手部への措置等() <ul style="list-style-type: none"> 溶接継手工法() 適用箇所() 性能() 鉄筋相互のあき() mm 溶接完了後の溶接部の試験() 不合格となった溶接部への措置等() 																																
<p>8の4 耐震改修工事</p>	<p>(コンクリート工事一般事項)</p> <p>1 コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)</p> <p>(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)</p> <p>2 構造体コンクリートの仕上げ (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)</p>	<p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ I類 ・ II類 <p>普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c[N/mm²]</th> <th>適用範囲</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 24</td> <td>EVビット</td> <td>○ 2.3t/m³程度</td> <td>S18</td> </tr> <tr> <td>○ (21)</td> <td>土間</td> <td>()</td> <td>S18</td> </tr> <tr> <td>○ (18)</td> <td>捨てコン</td> <td>()</td> <td>S15</td> </tr> </tbody> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c[N/mm²]</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 36</td> <td>・ 1種</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 2種</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> <p>合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ○ C種 <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ a種 ○ b種 ・ c種 	設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ	○ 24	EVビット	○ 2.3t/m ³ 程度	S18	○ (21)	土間	()	S18	○ (18)	捨てコン	()	S15	設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ	・ 36	・ 1種	()	()	()	・ ()	・ 2種	()	()	()
設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ																														
○ 24	EVビット	○ 2.3t/m ³ 程度	S18																														
○ (21)	土間	()	S18																														
○ (18)	捨てコン	()	S15																														
設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ																													
・ 36	・ 1種	()	()	()																													
・ ()	・ 2種	()	()	()																													

<p>(コンクリート)</p> <p>3 コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3)</p>	<p>セメントの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントA種 ・ シリカセメントA種 ・ フライアッシュセメントA種 () ・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種 適用箇所() <p>骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AL(コンクリート中のアルカリ総量を規制) ○ A(安全と認められる骨材を使用) <p>なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H(普通エコセメントを使用するコンクリートに限る) 																							
<p>4 混和材料 (8.2.5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 混和剤 混和剤の種類 ○ 改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による ・ 図示(図面番号:) <ul style="list-style-type: none"> ・ 混和材 混和材の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による ・ 図示(図面番号:) 																							
<p>5 調管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)</p>	<p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3N/mm² ・ 6N/mm² ・ () 																							
<p>6 養生 (8.7.7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間() 																							
<p>7 型枠 (8.2.7) (8.7.8)</p>	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 複合合板(厚さ ○ 12mm ・ ()) <p>スリーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材種() 規格() <p>型枠存置期間及び取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間() 																							
<p>8 量中コンクリート (8.10.2)</p>	<p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 6N/mm² ・ () 																							
<p>9 無筋コンクリート (8.11.1)</p>	<p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通コンクリート ・ () <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 18N/mm² ・ () <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 15cm ・ 18cm ・ () 																							
<p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>10 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)</p>	<p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()
補強工法	打設工法	部位																						
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																						
<p>(8.23.6)</p>	<p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発泡プラスチック保温材料等を埋込む () <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示(図面番号:) <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示(図面番号:) ・ 60mm ・ () 																							
<p>11 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示(図面番号:) 																							

8 の 5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー)	種類 ① あと施工アンカーの材料 (表8.2.4) (表8.2.2) ② あと施工アンカーの施工 (表8.12.4) (表8.12.6) (表8.12.7)	種類 ① 金属系 セットの方式 (本体打込み式 (改良型 従来型) 径及び埋込み長さ 引張耐力 せん断耐力 接合筋の種類・径・長さ) ② 接着系 アンカーの種類 接着剤の品質 径及び埋込み長さ 引張耐力 せん断耐力 アンカー筋の種類 アンカー筋の新設壁内への定着長さ あと施工アンカーの性能確認試験 穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ① 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 はつり出しによる。 あと施工アンカーの施工確認試験 ① 実施する ② 実施しない 試験方法 ① 引張試験機による引張試験 1ロットの単位 ① 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ② 1ロットに対し3本 (無作為) 確認強度 (M16:10.3KN D10:7.4KN) 場所打ちコンクリート壁の増設工事) シアコネクター 種類 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径 [mm] D10 長さ [mm] 増打壁厚-40 形込み深さ [mm] 5d (d: シアコネクターの径) 以上 間隔 [mm] 500×500 シアコネクターとセパレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない
	場所打ちコンクリート壁の増設工事) シアコネクター	場所打ちコンクリート壁の増設部と既設部とのシアコネクターの種類 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径 [mm] D10 長さ [mm] 増打壁厚-40 形込み深さ [mm] 5d (d: シアコネクターの径) 以上 間隔 [mm] 500×500 シアコネクターとセパレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない	

8 の 6 耐震改修工事 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場 (表8.1.5)	① 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (表8.1.6)	③ 鋼材 (表8.2.8)	④ 高力ボルト (表8.2.9) (表8.14.2) (表8.14.7)	⑤ 溶接材料 (表8.2.10)	6 仮組 (表8.13.10)	⑦ 溶接作業を行う技能資格者 (表8.15.3)	8 溶接の準備 (表8.15.4)	9 溶接施工 (表8.15.7)	⑩ 溶接部の試験 (表8.15.12)
	② 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (表8.1.6)	③ 鋼材 (表8.2.8)	④ 高力ボルト (表8.2.9) (表8.14.2) (表8.14.7)	⑤ 溶接材料 (表8.2.10)	6 仮組 (表8.13.10)	⑦ 溶接作業を行う技能資格者 (表8.15.3)	8 溶接の準備 (表8.15.4)	9 溶接施工 (表8.15.7)	⑩ 溶接部の試験 (表8.15.12)	

8 の 7 耐震改修工事 グラウト工事	① 鉄骨の錆止め塗装 (表8.17.2) (表8.17.4)	② 耐火被覆材の種類及び性能 (表8.18.2) (表8.18.3)	1.3 ブレース設置工事後の仕上げ (表8.22.9)	1.4 スタッッド (表8.2.11)
	(グラウト工事) ① モルタル及びグラウト材 (表8.2.6) (表8.2.5) (表8.2.10)	② 耐火被覆材の種類及び性能 (表8.18.2) (表8.18.3)	1.3 ブレース設置工事後の仕上げ (表8.22.9)	1.4 スタッッド (表8.2.11)

8の8 耐震改修工事 柱補強工事

8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事

8 の 10 その他工事	① 土工事 (表8.28.2) (表8.28.3)	② 地業工事 (表8.28.4)
	① 土工事 (表8.28.2) (表8.28.3)	② 地業工事 (表8.28.4)

9 環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の除去工事 (表9.1.1)	② 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.3)	③ 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.4)	④ 石綿含有成形板の除去 (表9.1.5)	⑤ 石綿含有仕上塗材の除去 (表9.1.6)
	① 石綿含有建材の除去工事 (表9.1.1)	② 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.3)	③ 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.4)	④ 石綿含有成形板の除去 (表9.1.5)	⑤ 石綿含有仕上塗材の除去 (表9.1.6)

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4	処理作業中	負圧・除じん装置の排気出口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点
・	測定 5	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外 (敷地境界)	計 点
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート撤去後 1 週間以降	処理作業室内	計 点
・	測定 8	処理作業後シート撤去後 1 週間以降	調査対象室外部の付近	計 点

測定方法			
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

① 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.3)	② 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.4)	③ 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.5)	④ 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.6)
① 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.3)	② 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.4)	③ 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.5)	④ 石綿含有吹付け材の除去 (表9.1.6)

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

改修特記仕様書 (6)

scale

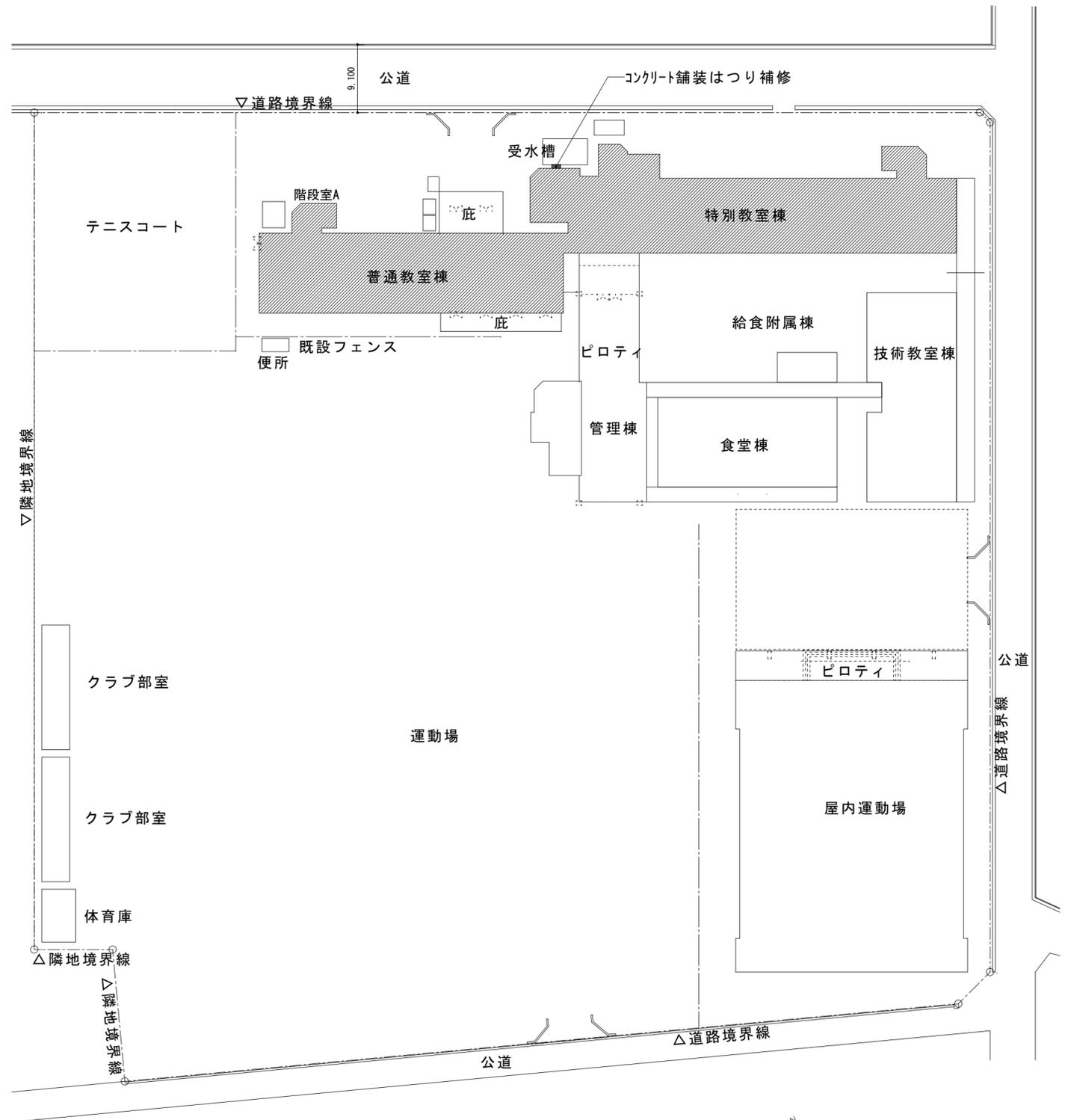
date

NO. 原図 : A2

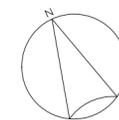
A-06



案内図 S=1:5,000



配置図 S=1:500



改修対象建築物を示す

景 設 計 室 三重県津市河芸町西千里 1510番地 1 Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp	津市立東橋内中学校長寿命化改修工事	一級建築士 第312324号	竹内 裕子	配置図・案内図	scale S = 1:5,000 S = 1:500	NO. 原図: A2
					date	A-07

■外部仕上表

部 位	(改修前) 仕 様	(改修後) 仕 様
普通教室棟 屋上	平場:アスファルト防水 + 均しモルタル厚20 + 豆砂利コンクリート厚80 伸縮目地アスファルトコーキング(アスベスト含有 撤去) ルーフドレン100φ 6ヶ所(撤去)	平場:樹脂モルタル薄塗(勾配調整) ウレタン塗膜防水(X-1) 遮熱仕様(フッ素) 伸縮目地部 目地テープ設置 SUS脱気筒 改修ドレンアルミドレンキャップ付6ヶ所 新設
	立上り:アスファルト防水(撤去) + 保護コンクリート(撤去) + 見付・立上りモルタル (撤去)	立上り:撤去跡ケレン清掃 樹脂モルタル平滑処理 ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素)
	笠木:防水モルタル金ゴテ(一部撤去)	笠木:一部モルタル金ゴテ新設 ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素)
庇1(北昇降口上部)	平場:均しモルタル金ゴテ NS防水(撤去) ルーフドレン100φ 錆鉄製 2箇所(撤去)	平場:撤去跡ケレン清掃 樹脂モルタル平滑処理 ウレタン塗膜防水(X-1) 遮熱仕様(フッ素) SUS脱気筒 改修ドレンアルミドレンキャップ付2ヶ所 新設
	立上り・笠木:防水モルタル金ゴテ	立上り・笠木:樹脂モルタル平滑処理 ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素)
庇2(南昇降口上部)	平場:防水均しモルタル金ゴテ ルーフドレン75φ 錆鉄製 3箇所(撤去)	平場:樹脂モルタル平滑処理 ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素) 改修ドレンアルミドレンキャップ付3ヶ所 新設
	立上り・笠木:防水モルタル金ゴテ	立上り・笠木:樹脂モルタル平滑処理 ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素)
縦樋(普通教室棟)	SGP(配管炭素鋼鋼管亜鉛メッキ)100φ OP塗(撤去)	硬質塩化ビニル管(カラー)100φ
縦樋(庇1、庇2)	庇1:硬質塩化ビニル管100φ (撤去) 庇2:SGP(配管炭素鋼鋼管亜鉛メッキ)75φ OP塗(撤去)	庇1:硬質塩化ビニル管(カラー)100φ 庇2:硬質塩化ビニル管(カラー)75φ
外壁・柱型・袖壁・梁型	モルタル刷毛引き + アクリルリシン吹付	下地調整 C-1 複層塗材E 吹付 (塗分け2色程度)
軒 裏	合板型枠コンクリート打放し + アクリルリシン吹付	下地調整 C-1 外装薄塗材E 吹付
根廻り	モルタル金ゴテ H=450	水洗い
小庇(庇1、庇2 以外の庇部)	防水モルタル金ゴテ	水洗い 自閉樹脂塗膜防水(軽歩行用)

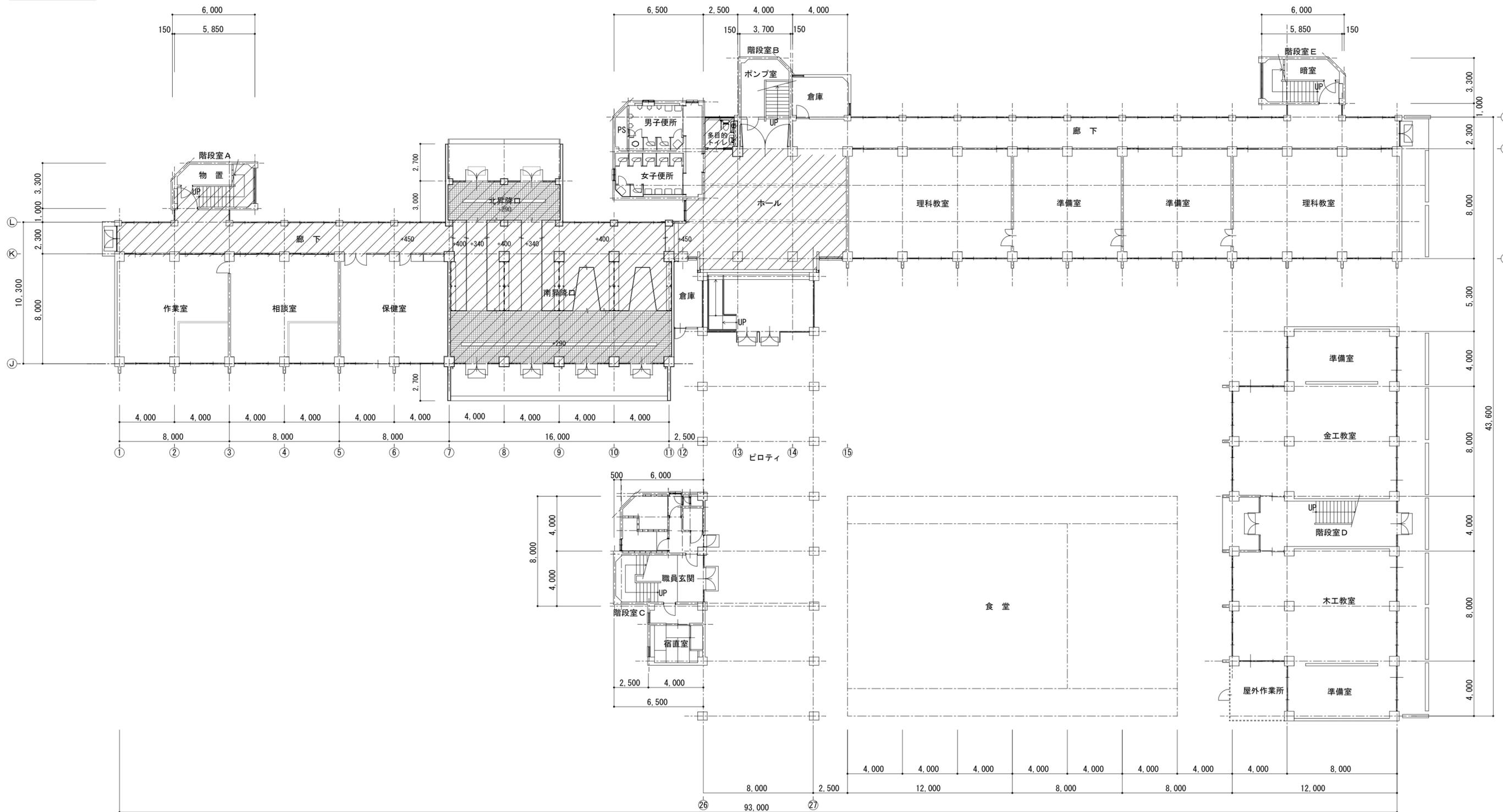
■内部仕上表

階	室 名	(改修前) 仕 様							(改修後) 仕 様									
		床	巾木	壁(梁型)	廻り縁	カーテンBOX	CH(mm)	天井	備考	床	巾木	壁(梁型)	廻り縁	カーテンBOX	CH(mm)	天井	備考	
共通	階段室A	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	モルタル金ゴテ H=100 VP塗	モルタル金ゴテVP塗 (モルタル金ゴテVP塗)	塩ビ製(撤去)	—	—	版下モルタル金ゴテVP塗 テーパーボード厚9.5 VP塗ステップル仕上(撤去)	天井テーパーボード(アスベスト含有)	—	下地調整RBの上 EP塗	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	塩ビ製	—	—	版下 下地調整RCの上 EP塗 P.B.厚9.5張り EP塗	手摺笠木 一部木製取替	
	廊 下	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX(一部撤去) モルタル下地厚30 色モルタル金ゴテ	ラワンH=100 OP塗(一部撤去)	モルタル金ゴテVP塗 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	—	—	2,700 2,750 2,810	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	揭示板	コンクリート直押E ビニル床タイル厚2、一部屋外用覆層ビニル床シート厚2.5 新設	下地調整RBの上 EP塗 一部木製巾木EP塗 新設	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	—	—	—	下地調整RCの上 EP塗	揭示クロス張替	
1階	北昇降口	モルタル下地厚40 クリンカータイル150口貼	人造石研出しH=150	モルタル金ゴテVP塗	塩ビ製	—	2,860	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	揭示板(取外し再設置)	—	—	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	—	—	—	下地調整RCの上 EP塗	揭示クロス張替	
	南昇降口	モルタル下地厚40 クリンカータイル150口貼 モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX(一部撤去) モルタル下地厚30 色モルタル金ゴテ	人造石研出しH=150 ラワンH=100 OP塗(撤去)	モルタル金ゴテVP塗	塩ビ製	—	2,750 2,810 2,860	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	下足入 揭示板(取外し再設置)	コンクリート直押E ビニル床タイル厚2、一部屋外用覆層ビニル床シート厚2.5 新設	—	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	—	—	—	下地調整RCの上 EP塗	下足入下地調整RBの上EP塗 揭示クロス張替え	
	ホール	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗(一部撤去)	モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	揭示板(移設)	—	—	—	—	—	—	一部 有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗新設 ボーダー部無孔	揭示クロス張替	
	多目的トイレ	モルタル下地厚30 ビニル床シート厚2.5	ソフト巾木H=300	モルタル下地(間仕切壁P.B.厚12.5下地)メラミン不燃化粧合板貼り厚3	塩ビ製	—	2,700	化粧石膏ボード厚9.5張り(一部撤去 LGS共)	—	—	—	—	—	—	—	一部 化粧石膏ボード厚9.5張り新設	—	
	昇降機(EV)廻り	—	—	—	—	—	—	—	—	—	モルタル下地厚30 ビニル床タイル厚2	ソフト巾木H=100	LGS下地強化石膏ボード厚21二重張 片面EP塗 1h耐火(FP060NP-0075)	塩ビ製	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	地下ビット(ベントナイト 先付シート防水)
2階	廊 下	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗	モルタル金ゴテVP塗 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	—	—	下地調整RBの上 EP塗	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	—	—	—	下地調整RCの上 EP塗	—	
	普通(合同)教室・国際教室	モルタル下地 ナラフローリングブロックOSWAX	ラワンH=100 OP塗	モルタル金ゴテVP塗 (プaster塗) 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	塩ビ製	ラワンOS塗	3,020	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	揭示部:合板厚6下地布張 ロッカー	—	下地調整RBの上 EP塗	下地調整RBの上EP塗(下地調整RBの上EP塗)	—	下地調整RB水性OS塗	—	下地調整RCの上 EP塗	揭示クロス張替 ロッカー下地調整RB EP塗	
	ホール	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗(一部撤去)	モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 (一部撤去) ボーダー部無孔	揭示板(一部移設)	—	一部木製巾木EP塗 新設	手洗いコーナー:LGS下地耐水P.B.厚12.5メラミン不燃化粧板張り厚3 耐水P.B.厚12.5EP塗	—	—	—	一部 有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗新設 ボーダー部無孔	揭示クロス張替 ステンレス長尺シンク	
	(改修前)手洗い ↓ (改修後)多目的トイレ	人造石研ぎ出し(撤去)	—	腰壁:人造石研ぎ出し(撤去) モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔 (撤去 木下地共)	人造石研出し流し(撤去)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昇降機(EV)廻り	—	—	—	—	—	—	—	—	モルタル下地厚30 トイレ用防滑性ノーワックスビニル床シート厚2.5	ソフト巾木H=300	モルタル下地、間仕切壁耐水P.B.厚12.5下地 メラミン不燃化粧板張り厚3	塩ビ製	—	2,700	化粧石膏ボード厚9.5張	ビクトサイン	
3階	廊 下	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗	モルタル金ゴテVP塗 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	—	—	下地調整RBの上 EP塗	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	—	—	—	下地調整RCの上 EP塗	—	
	普通(合同)教室・特別支援学級	モルタル下地 ナラフローリングブロックOSWAX	ラワンH=100 OP塗	モルタル金ゴテVP塗 (プaster塗) 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	塩ビ製	ラワンOS塗	3,020	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	揭示部:合板厚6下地布張	—	下地調整RBの上 EP塗	下地調整RBの上EP塗(下地調整RBの上EP塗)	—	下地調整RC水性OS塗	—	下地調整RCの上 EP塗	揭示クロス張替 ロッカー下地調整RB EP塗	
	ホール	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗(一部撤去)	モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 (一部撤去) ボーダー部無孔	揭示板(一部移設)	—	一部木製巾木EP塗 新設	手洗いコーナー:LGS下地耐水P.B.厚12.5メラミン不燃化粧板張り厚3 耐水P.B.厚12.5EP塗	—	—	—	一部 有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗新設 ボーダー部無孔	揭示クロス張替 ステンレス長尺シンク	
	(改修前)手洗い ↓ (改修後)多目的トイレ	人造石研ぎ出し(撤去)	—	腰壁:人造石研ぎ出し(撤去) モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔 (撤去 木下地共)	人造石研出し流し(撤去)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昇降機(EV)廻り	—	—	—	—	—	—	—	—	モルタル下地厚30 トイレ用防滑性ノーワックスビニル床シート厚2	ソフト巾木H=300	モルタル下地、間仕切壁耐水P.B.厚12.5下地 メラミン不燃化粧板張り厚3	塩ビ製	—	2,700	化粧石膏ボード厚9.5張	ビクトサイン	
4階	廊 下	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗	モルタル金ゴテVP塗 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	—	—	下地調整RBの上 EP塗	特記以外下地調整RBの上 EP塗 特記下地調整RAの上 EP塗	—	—	—	下地調整RCの上 EP塗	—	
	普通(多目的)教室・特別支援学級	モルタル下地 ナラフローリングブロックOSWAX	ラワンH=100 OP塗	モルタル金ゴテVP塗 (プaster塗) 間仕切壁:一部品合板厚6目透しVP塗	塩ビ製	ラワンOS塗	3,020	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	揭示部:合板厚6下地布張	—	下地調整RBの上 EP塗	下地調整RBの上EP塗(下地調整RBの上EP塗)	—	下地調整RC水性OS塗	—	下地調整RCの上 EP塗	揭示クロス張替 ロッカー下地調整RB EP塗	
	ホール	モルタル下地厚30 塩ビタイル厚2WAX	ラワンH=100 OP塗(一部撤去)	モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 (一部撤去) ボーダー部無孔	揭示板(一部移設)	—	一部木製巾木EP塗 新設	手洗いコーナー:LGS下地耐水P.B.厚12.5メラミン不燃化粧板張り厚3 耐水P.B.厚12.5EP塗	—	—	—	一部 有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗新設 ボーダー部無孔	揭示クロス張替 ステンレス長尺シンク	
	(改修前)手洗い ↓ (改修後)多目的トイレ	人造石研ぎ出し(撤去)	—	腰壁:人造石研ぎ出し(撤去) モルタル金ゴテVP塗	—	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔 (撤去)	人造石研出し流し(撤去)	—	—	—	—	—	—	—	(ボーダー部無孔)	—
	昇降機(EV)廻り	—	—	—	—	—	—	—	—	モルタル下地厚30 トイレ用防滑性ノーワックスビニル床シート厚2	ソフト巾木H=300	既設モルタル下地調整RB、間仕切壁耐水P.B.厚12.5下地 メラミン不燃化粧板張り厚3	塩ビ製	—	2,700	化粧石膏ボード厚9.5張	ビクトサイン	
昇降機(EV)廻り	—	—	—	—	—	—	—	—	モルタル下地厚30 ビニル床タイル厚2	ソフト巾木H=100	LGS下地強化石膏ボード厚21二重張 片面EP塗 1h耐火(FP060NP-0075)	塩ビ製	—	2,700	有孔石膏ボード厚9.5目透し張EP塗 ボーダー部無孔	—		

■特記事項

- ・仕様建材はF☆☆☆☆以上とすること。
- ・クロルピリホスは不使用とする。
- ・石膏ボード下地の出隅部にはコーナー補強金物設置のこと。
- ・特記なき限り仕様建材はJAS・JIS認定品とすること。

景 設 計 室	三重県津市河芸町西千里 1510番地 1 Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp	津市立東橋内中学校長寿命化改修工事	一級建築士 第312324号	竹内 裕子	改修前・後 外部仕上表・内部仕上表	scale	NO. 原因:A2
						date	

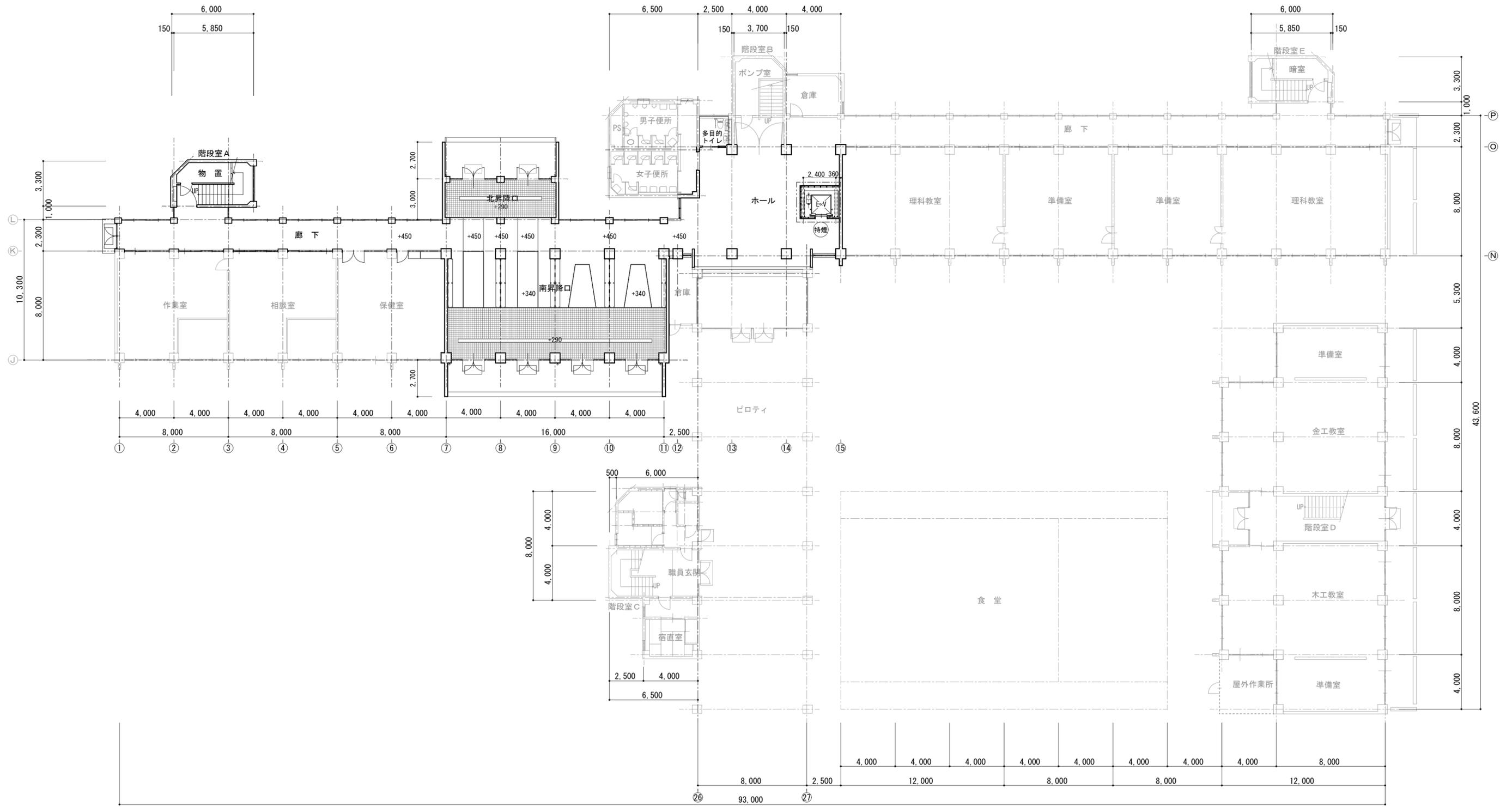


既設 1階平面図

■ 凡例

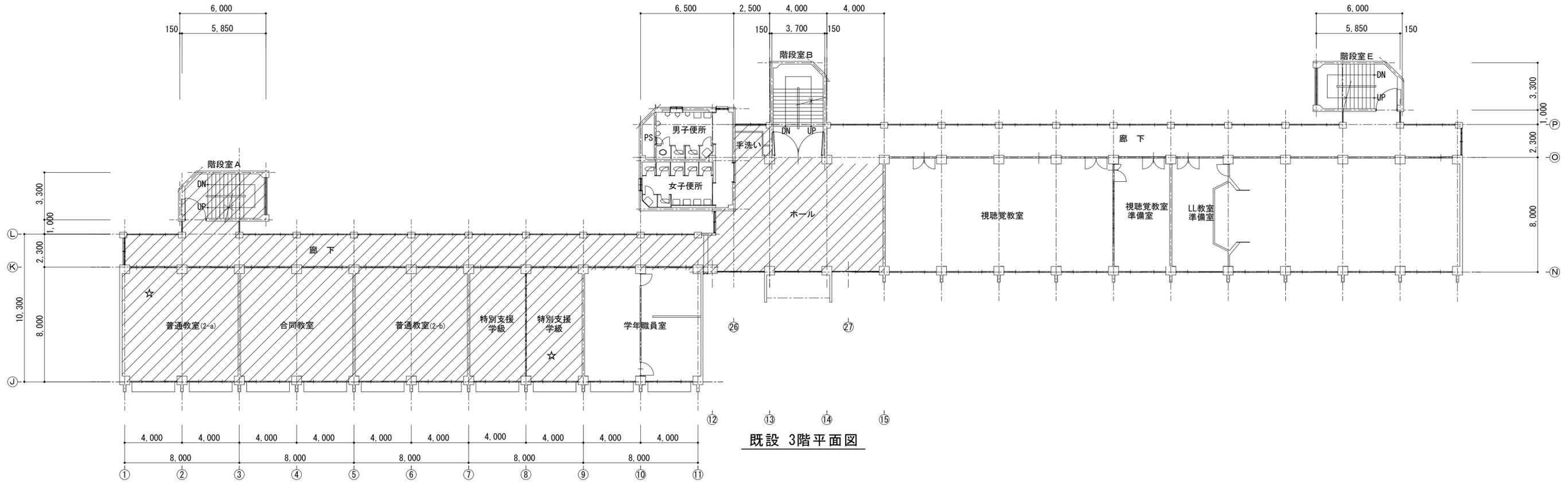
斜線部 : 改修範囲を示す

改修後

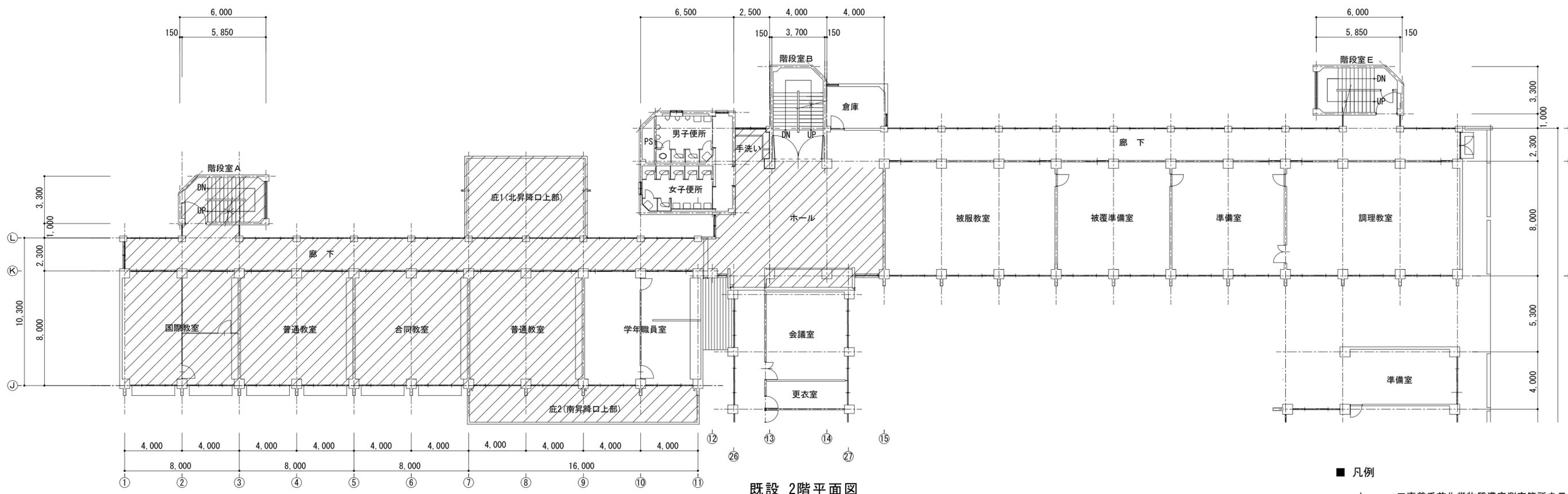


改修 1階平面図

- 凡例
- : 既設のままを示す
 - - - : 防火区画(新設)を示す
 - (特種) : 特定防火設備(煙感)を示す

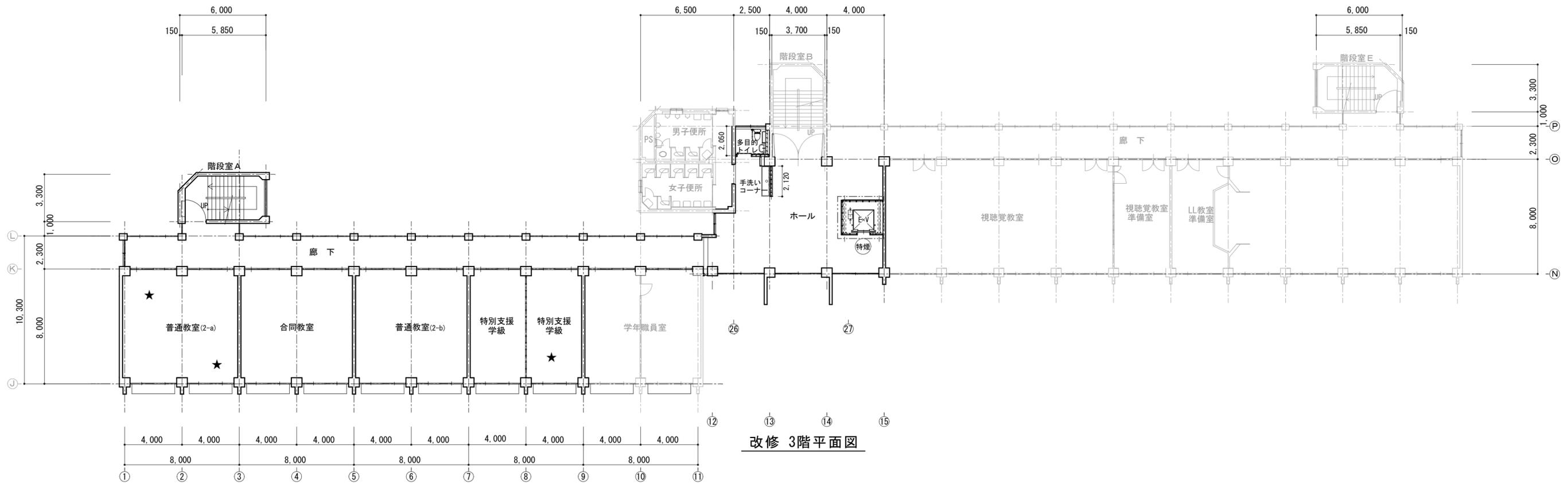


既設 3階平面図

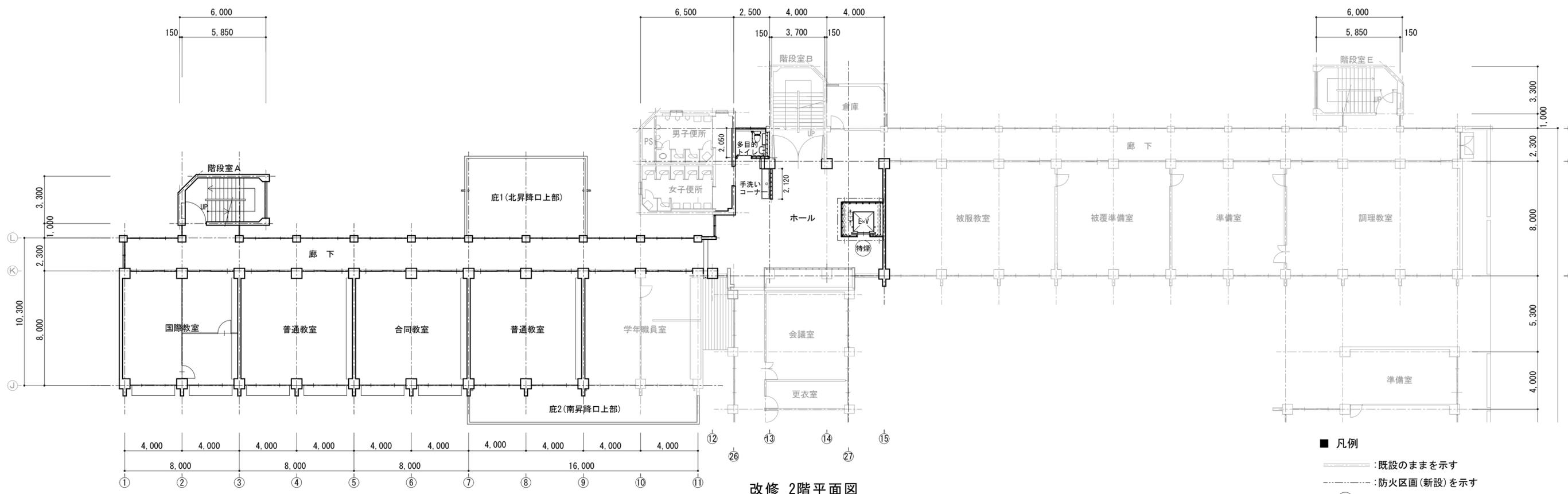


既設 2階平面図

- 凡例
- ☆ : 工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す
 - 斜線部 : 改修範囲を示す

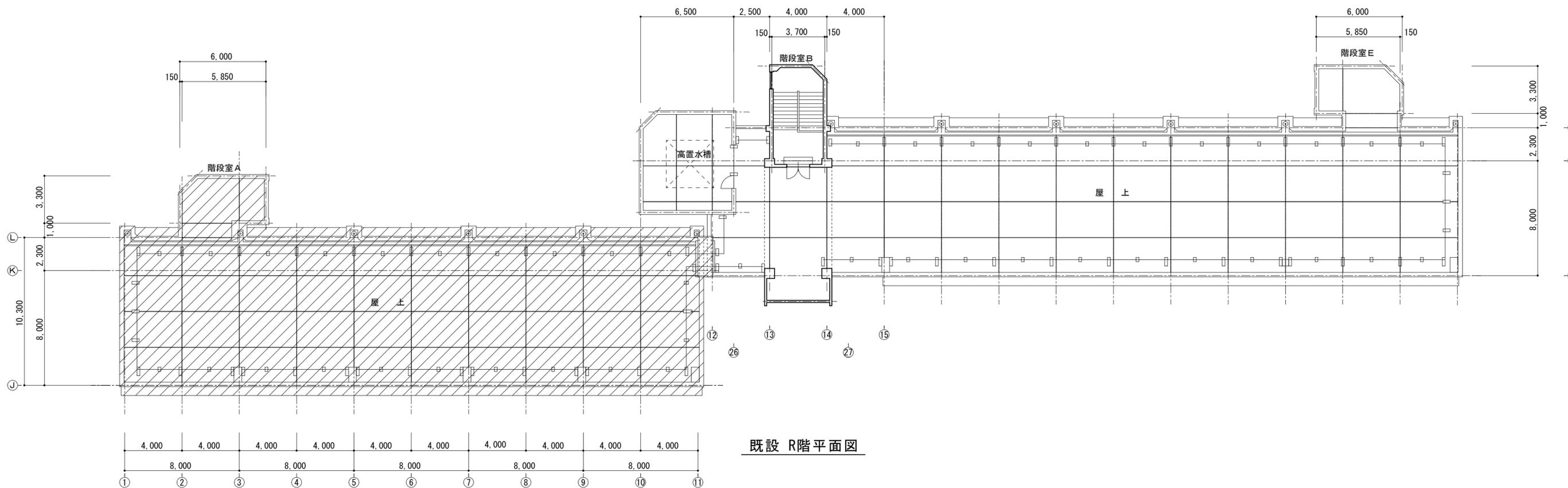


改修 3階平面図

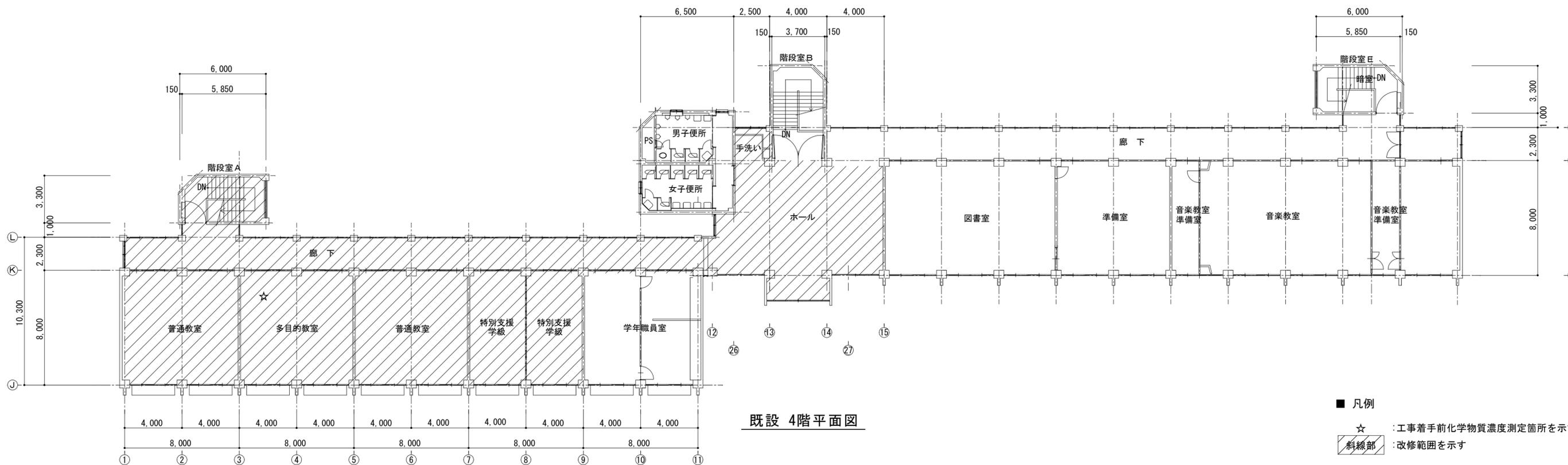


改修 2階平面図

- 凡例
- : 既設のままを示す
 - - - : 防火区画(新設)を示す
 - ⊙ : 特定防火設備(煙感)を示す
 - ★ : 工事完了時化学物質濃度測定箇所を示す



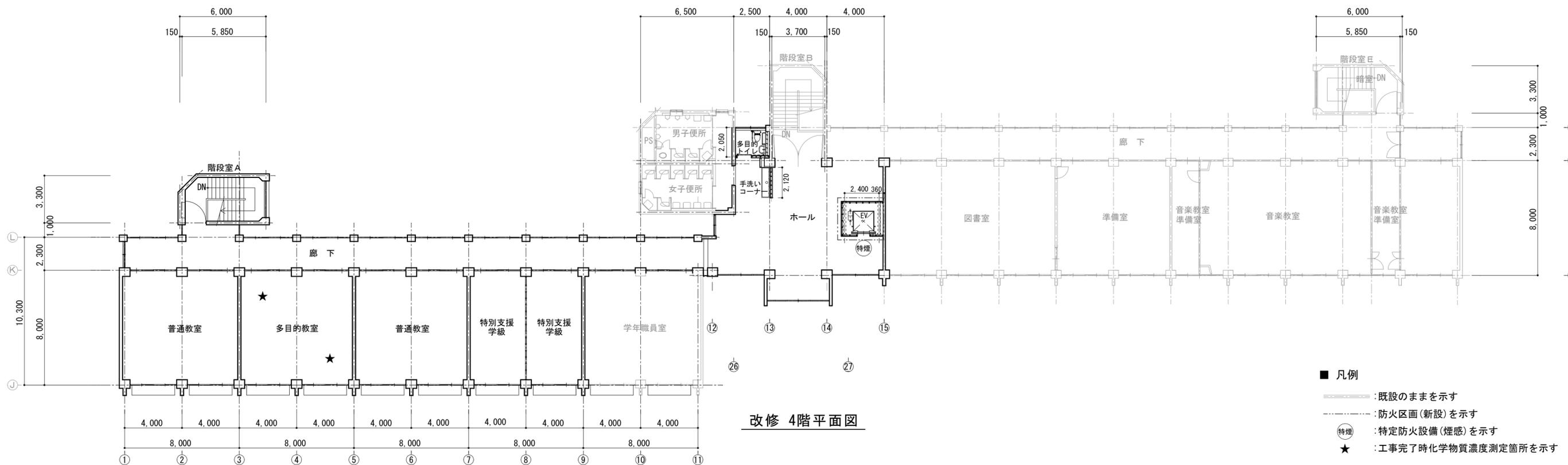
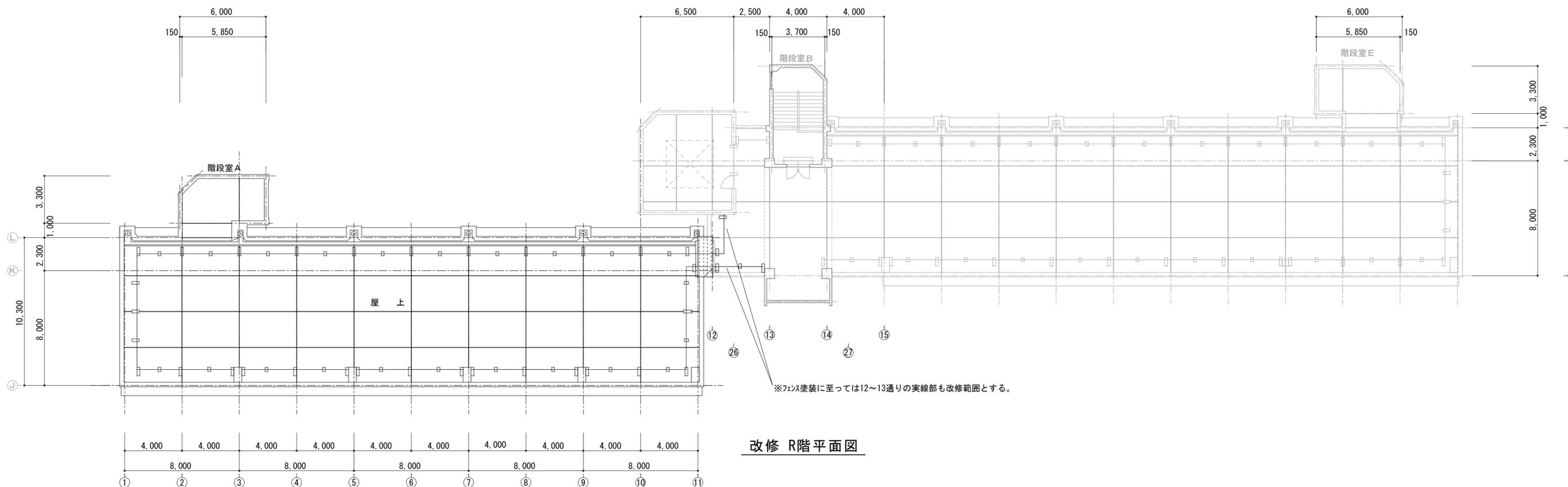
既設 R階平面図



既設 4階平面図

■ 凡例

- ☆ : 工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す
- 斜線部 : 改修範囲を示す



■ 防水改修仕様

部 位	(改修前) 仕 様	(改修後) 仕 様
R階 屋上 平場 (階段室A屋上含む)	アスファルト防水 + 均しモルタル厚20 + 豆砂利コンクリート厚80 伸縮目地 アスファルトコーキング(撤去)	水洗い + 樹脂モルタル薄塗(勾配調整) + ウレタン塗膜防水(X-1) 遮熱仕様(フッ素) 伸縮目地部 目地テープ設置 SUS脱気筒(1個/50m ² 程度)
R階 屋上 パラペット立上 R階 屋上 パラペット笠木部 (階段室A屋上含む)	立上り保護コンクリート、モルタル・既設防水層・見付モルタル(撤去) W350溝モルタル・既設防水層(撤去) ドレン・ドレンキャップ・目皿 6箇所(撤去) 防水モルタル笠木 一部撤去(図示)	立上り・溝・コの字部 撤去跡ケレン清掃 + 樹脂モルタル平滑処理 + ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素) 改修ドレン 6箇所新設 撤去部笠木 モルタル補修 ※浮き部補修(エポキシ樹脂注入)
EXP. J	PC板 厚60 アンカーボルト留 + シート防水 + アングル金物留(撤去)	水洗い + ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素) + アングル金物留 新設
フェンスPC基礎	P C基礎(大)200*230*600、(小)200*230*300 交互配置	水洗い + ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素) 周囲シーリング新設の上(X-2)
設備配管 置き式PC基礎	P C基礎140*110*100	ジャッキアップ 防振ゴム厚10 新設

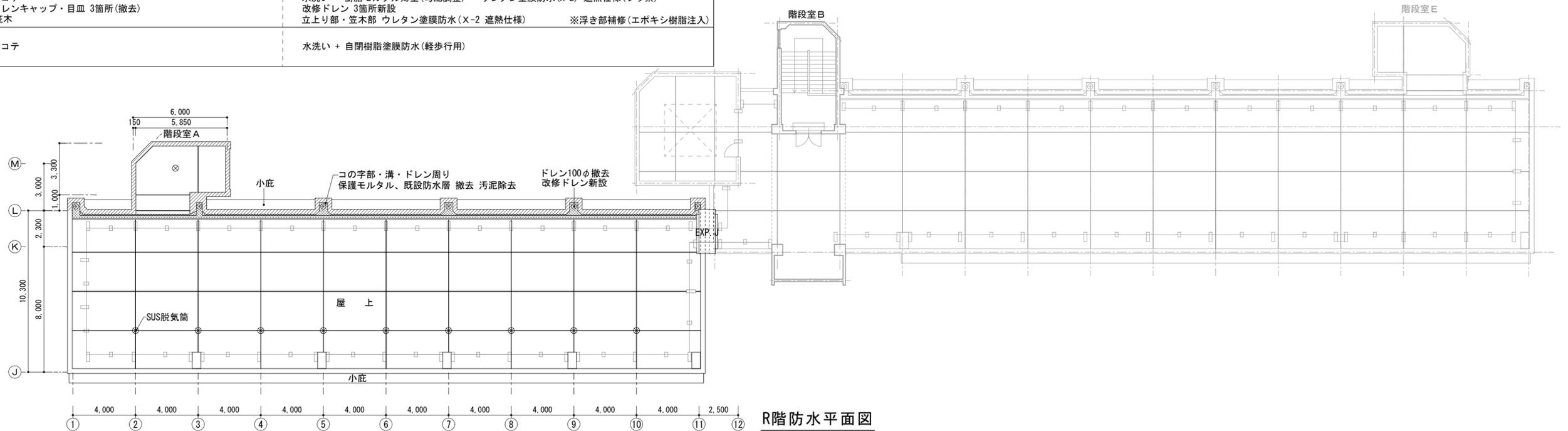
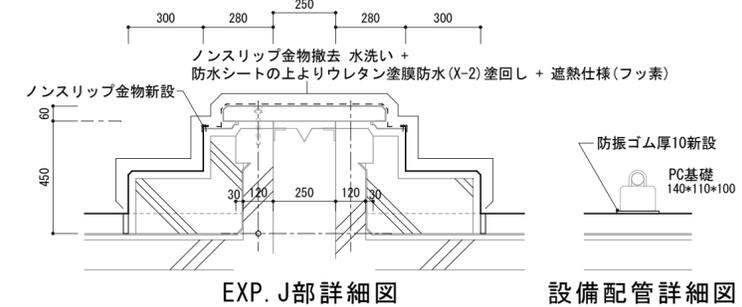
部 位	(改修前) 仕 様	(改修後) 仕 様
庇1(北昇降口屋根)	均しモルタル金コテ NS防水(撤去) ドレン周り・ドレンキャップ・目皿 2箇所(撤去) 防水モルタル笠木	撤去跡ケレン清掃 + 樹脂モルタル下地調整 + ウレタン塗膜防水(X-1) 遮熱仕様(フッ素) SUS脱気筒(1個/50m ² 程度) 立上り部・笠木部 ウレタン塗膜防水(X-2 遮熱仕様) 改修ドレン 2箇所新設 ※浮き部補修
庇2(南昇降口屋根)	防水モルタル金コテ ドレン周り・ドレンキャップ・目皿 3箇所(撤去) 防水モルタル笠木	水洗い + 樹脂モルタル薄塗(勾配調整) + ウレタン塗膜防水(X-2) 遮熱仕様(フッ素) 改修ドレン 3箇所新設 立上り部・笠木部 ウレタン塗膜防水(X-2 遮熱仕様) ※浮き部補修(エポキシ樹脂注入)
小庇(庇、1庇2以外の庇部)	防水モルタル金コテ	水洗い + 自閉樹脂塗膜防水(軽歩行用)

■ 凡例

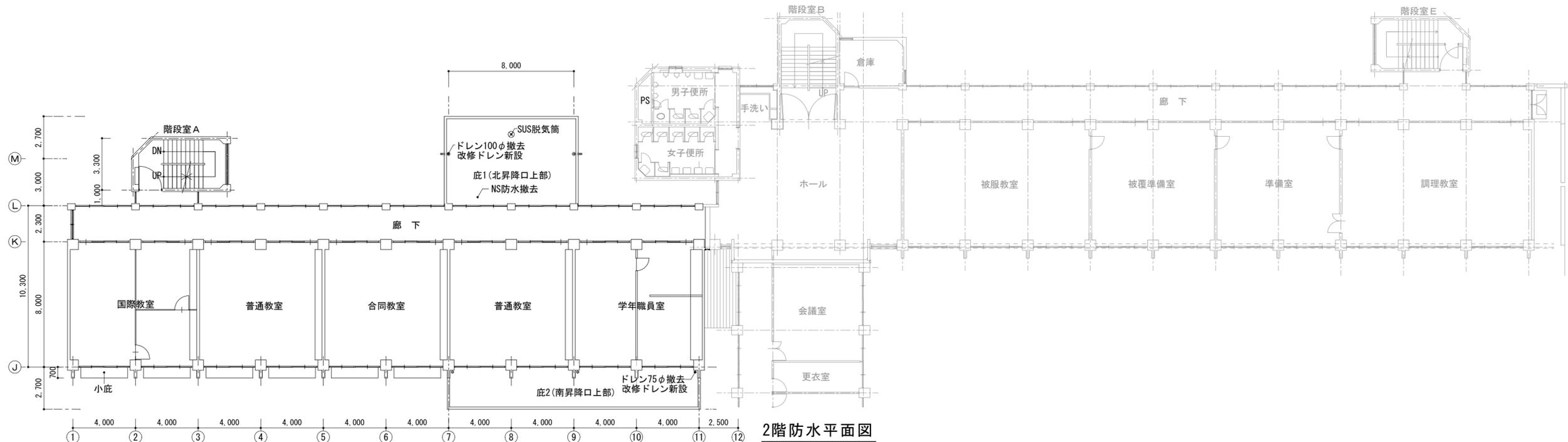
- : 防水工事対象外エリアを示す
- ▨: モルタル笠木撤去エリアを示す
- ▨: 溝・ドレン周り 保護モルタル・既設防水層撤去エリアを示す
- ⊗: SUS脱気筒位置を示す

■ 特記事項

- ・欠損箇所はエポキシ樹脂モルタル充填工法により補修すること。
- ・アスファルト防水の伸縮目地 アスファルトコーキングにアスベスト含有



R階防水平面図



2階防水平面図

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

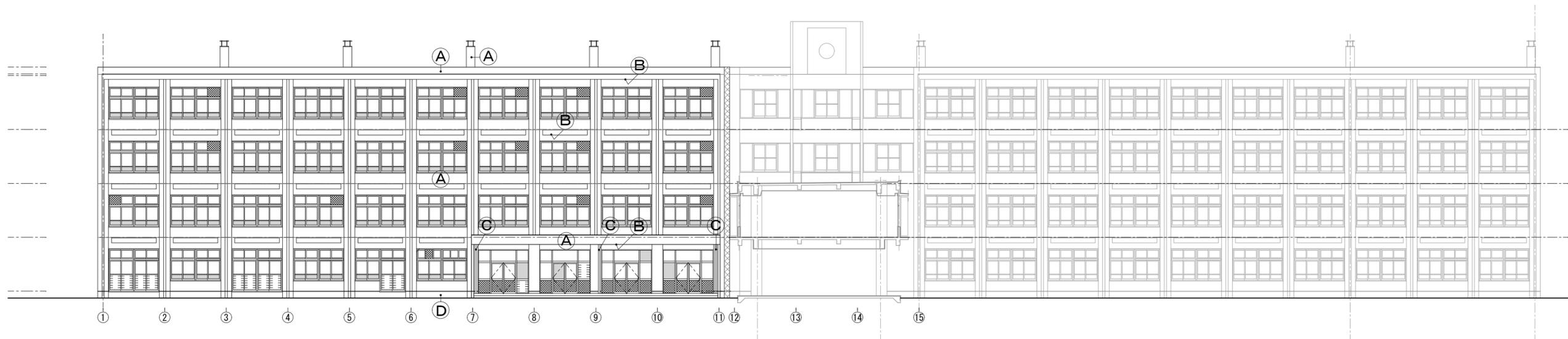
一級建築士 第312324号 竹内 裕子

防水平面図・防水改修仕様

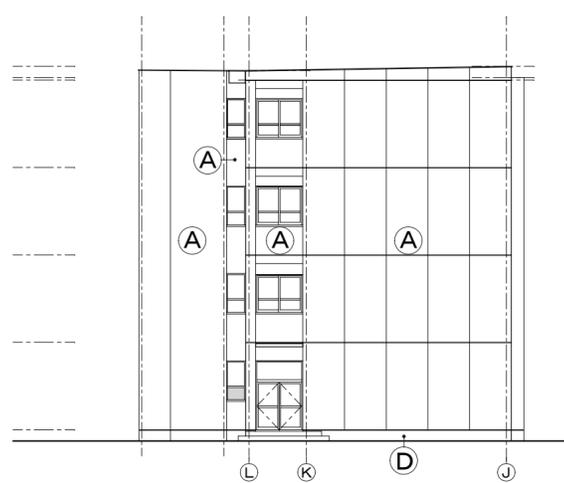
scale S = 1:200
S = 1:20

NO. 原図: A2

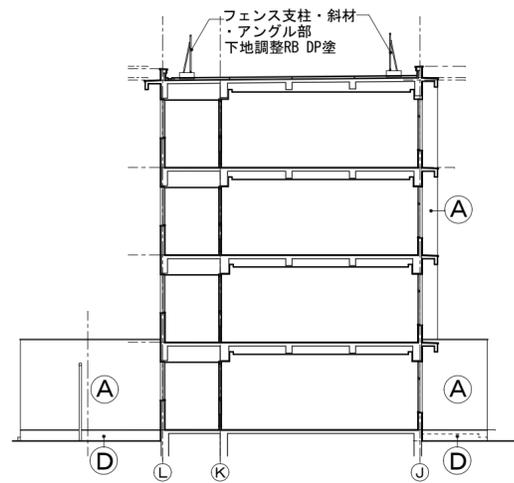
A-15



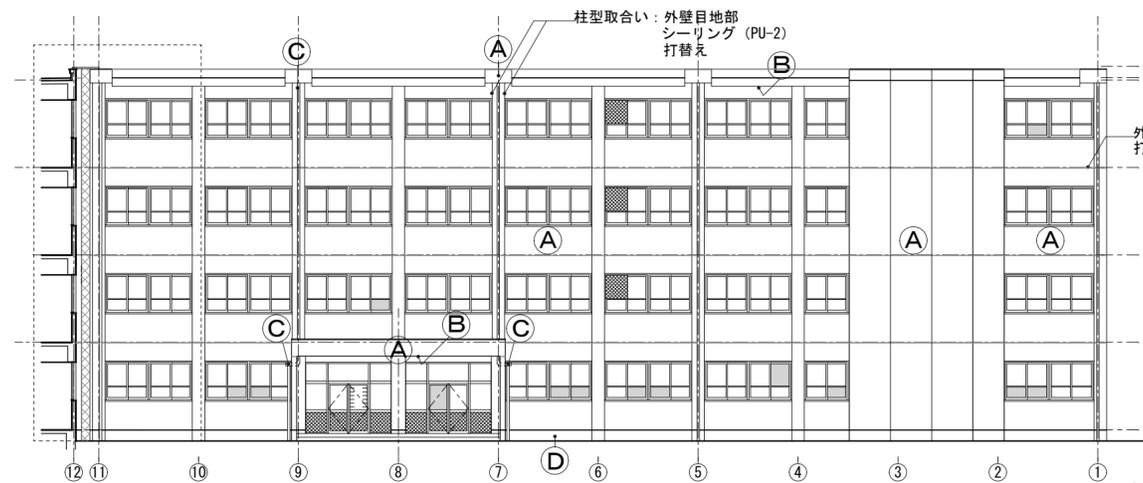
南立面図



西立面図1

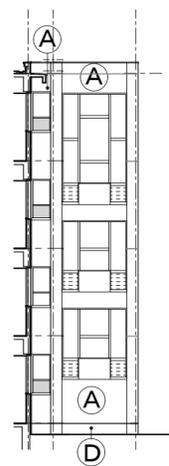


西立面図2

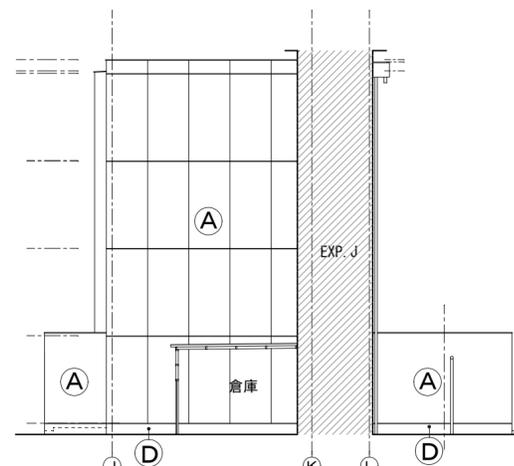


北立面図

- 凡例
- : 既設のままを示す(改修対象外エリア)
 - : アルミパネルを示す
 - : 網入りガラスを示す
 - : 型板ガラスを示す



東立面図1



東立面図2

■ 外壁改修仕様

記号	部位	(改修前)仕様	(改修後)仕様
Ⓐ	外壁・柱型・袖壁・梁型	モルタル刷毛引き + アクリルリシン吹付(撤去)	高圧水洗 + 下地調整 C-1 + 複数塗材E 吹付 柱型等 塗分け2色程度
Ⓑ	軒裏・庇裏	合板型枠コンクリート打放し + アクリルリシン吹付(撤去)	高圧水洗 + 下地調整 C-1 + 外装薄塗材E 吹付
Ⓒ	樋	SGP 100φ(撤去) (庇1:硬質塩ビ管 100φ(撤去)、庇2:SGP75φ(撤去))	硬質塩ビ管100φ(カラー) 支持金物 SUS@1000程度 (庇2:硬質塩ビ管 75φ(カラー) 支持金物 SUS 3ヶ所)
Ⓓ	根廻り	モルタル金コテ	水洗い

※特記

- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。(EXP. J及び仮設倉庫取り合いのシーリング打替えについても含む)
- ・外壁改修対象範囲内のアルミサッシ(パネル部を除く)は飛散防止フィルム貼とする。(仕様は建具表参照のこと)
- ・外壁目地部のシーリング撤去の上、シーリング(PU-2)新設のこと。
- ・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。(※脱着を行う設備は、設備図参照のこと)
- ・外部照明器具、露出の鋼製盤等については下地調整RBの上DP塗とする。

※外壁改修工事仕様

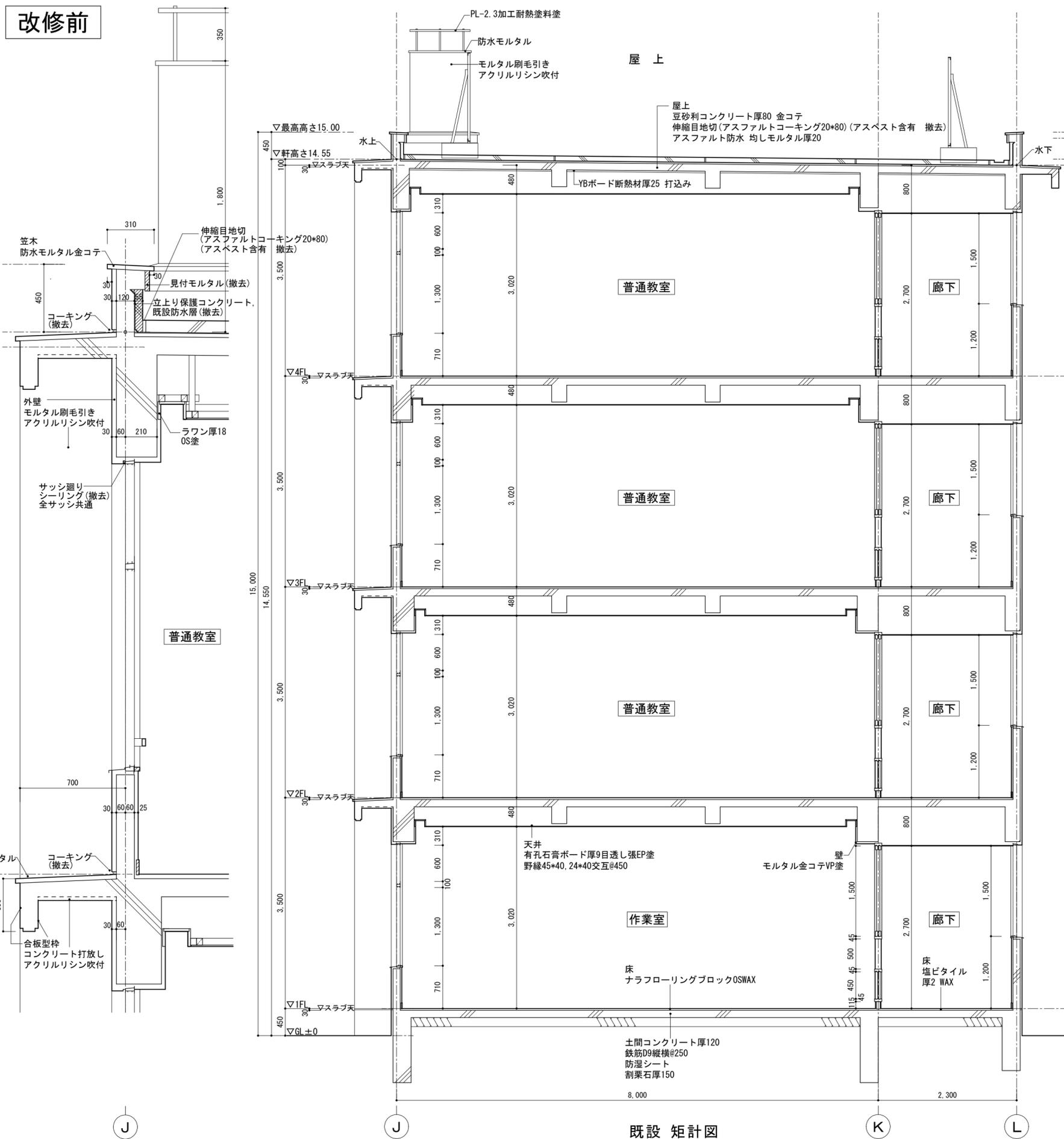
【施工数量調査】

- ・調査項目: クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
- ・調査方法: 打診、目視、クラックスケール等
- ・報告書: 2部(補修方法別に調査数量を集計すること)

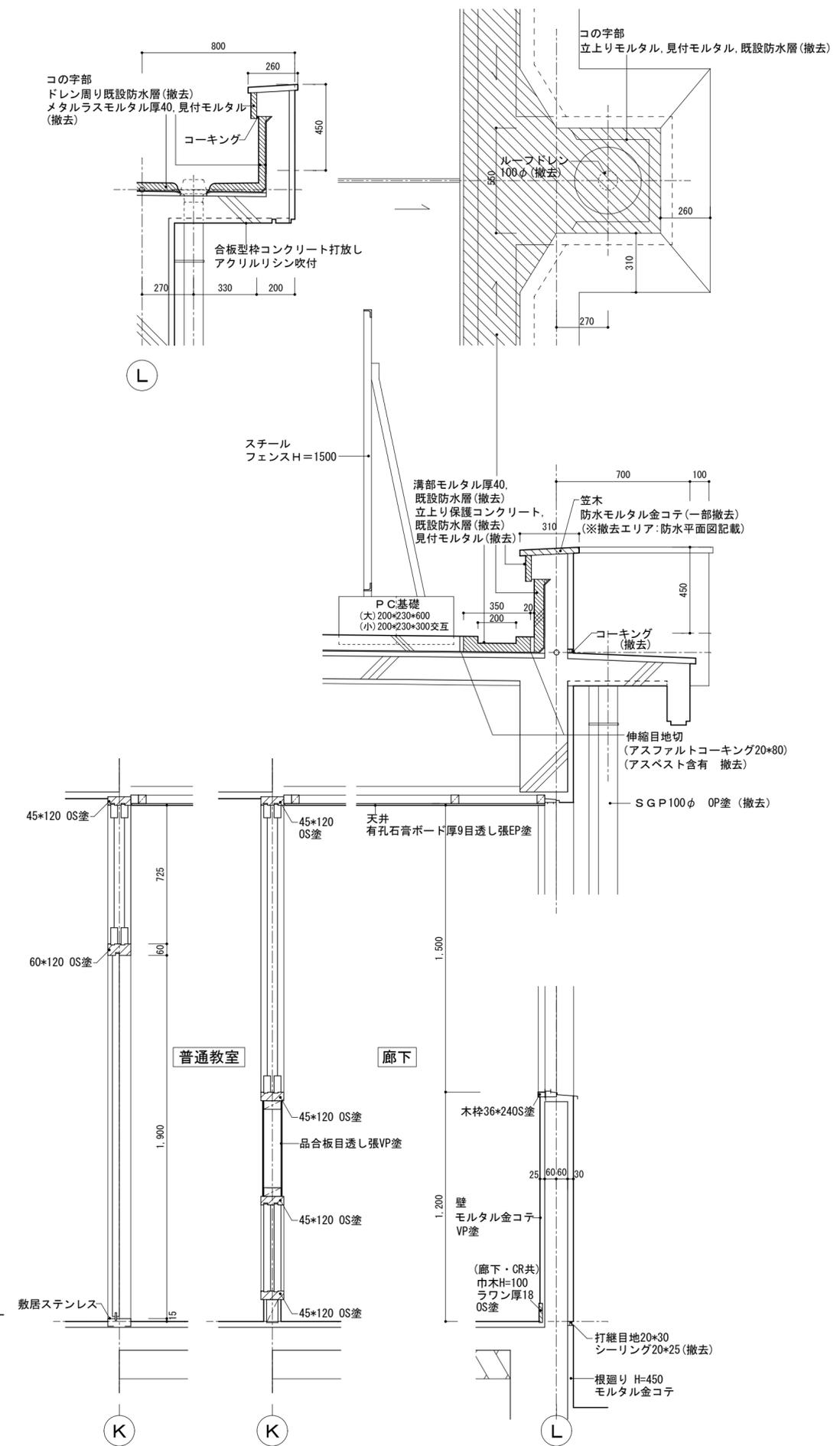
【外壁クラック補修仕様】

- ・1mm以上のヒビ割れ補修: Uカットシール充填工法
- ・1mm未満のヒビ割れ補修: 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- ・アンカーピーニング部のエポキシ樹脂注入工法: (一般部)16本/m²、25m¹/穴、(見上部)25本/m²、25m¹/穴(細幅部)5本/m、25m¹/穴
- ・欠損部改修工法: 鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

改修前



既設 矩計図



既設 矩計図

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

既設 矩計図

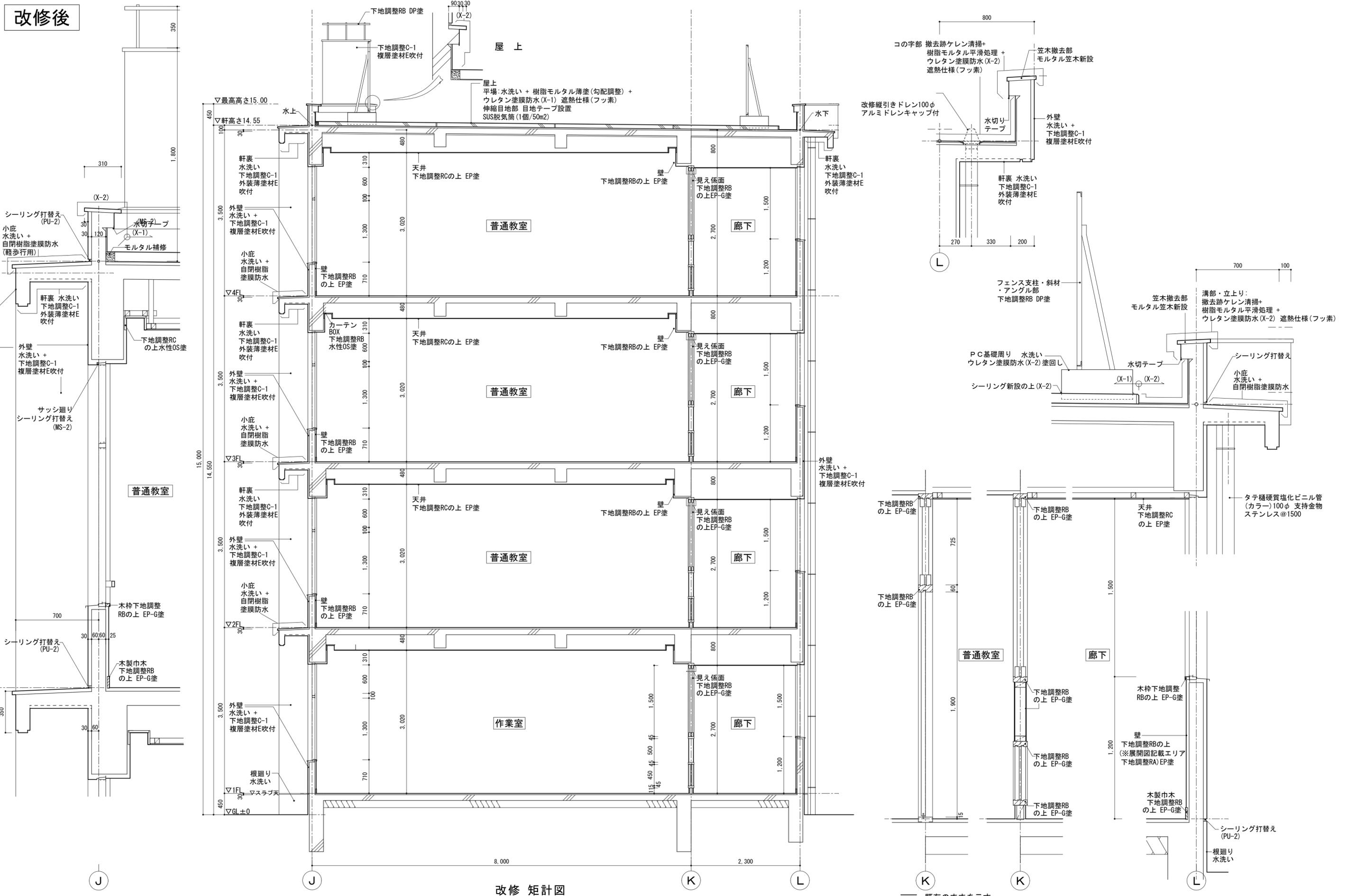
scale S = 1:50
S = 1:20

NO. 原図: A2

date

A-17

改修後

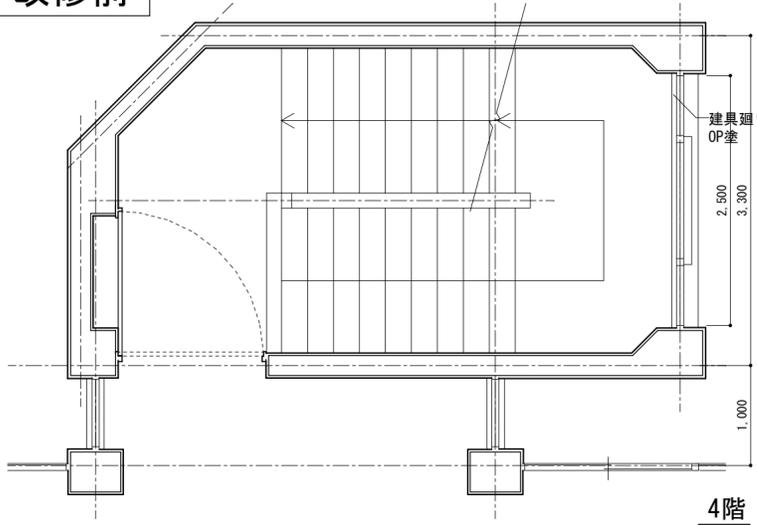


改修 矩計図

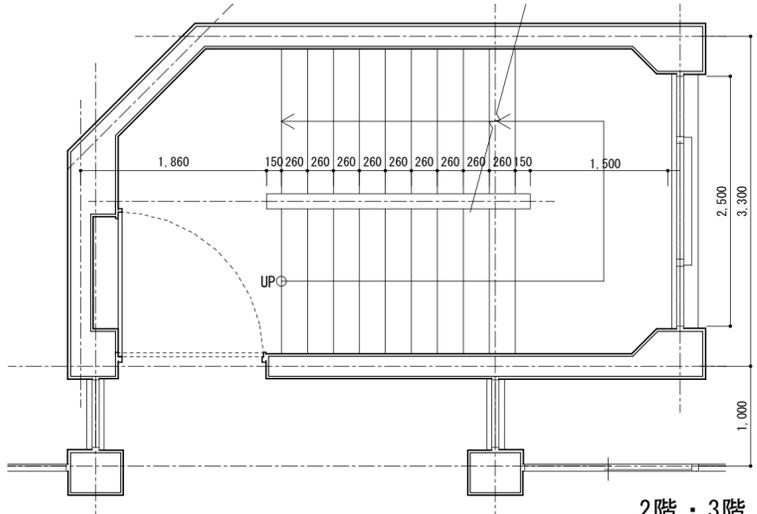
—: 既存のままを示す
 ※高さ関係、バラベツ・梁位置等は想定とする。必要に応じて現地調査を行い監督員に報告・調整を行うこと。

景 設 計 室 三重県津市河芸町西千里 1510番地 1 Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp	津市立東橋内中学校長寿命化改修工事	一級建築士 第312324号 竹内 裕子	改修 矩計図	scale S = 1:50	NO. 原因:A2
				date	

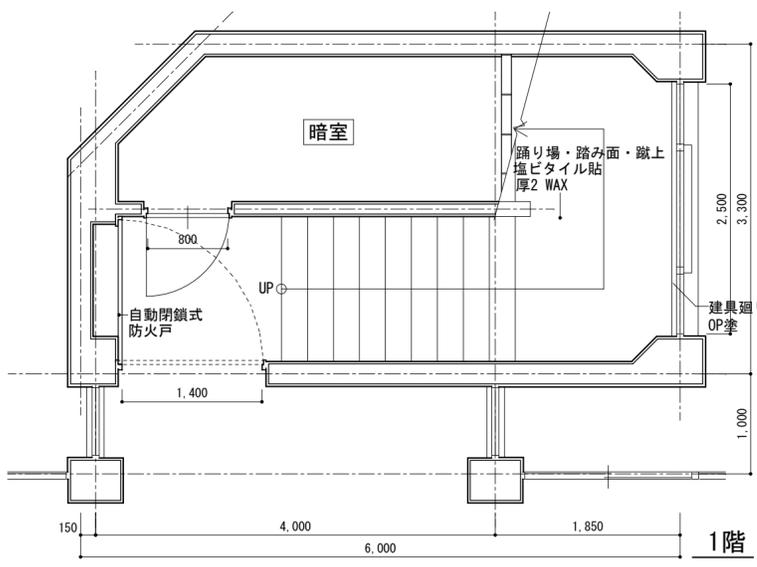
改修前



4階



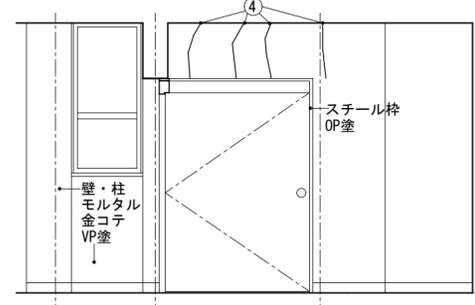
2階・3階



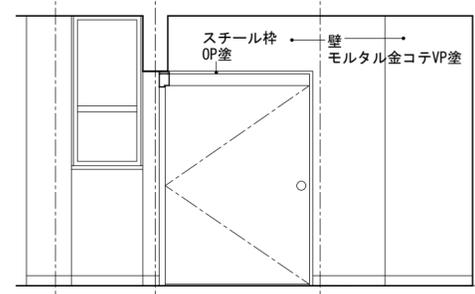
既設 階段室 A 平面詳細図

■欠損部・クラック調査結果

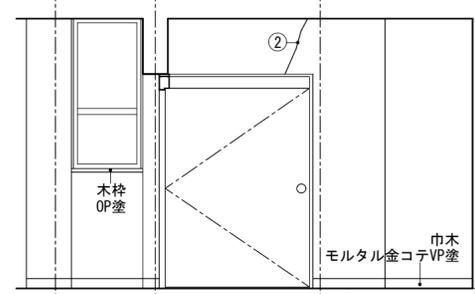
状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	①	0.55	1
		②	0.55	1
		③	0.80	1
		④	0.50	4
		⑤	0.55	1
クラック 1mm以上	Uカットシーリング充填工法			



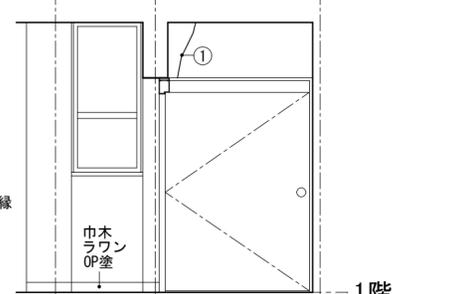
4階



3階

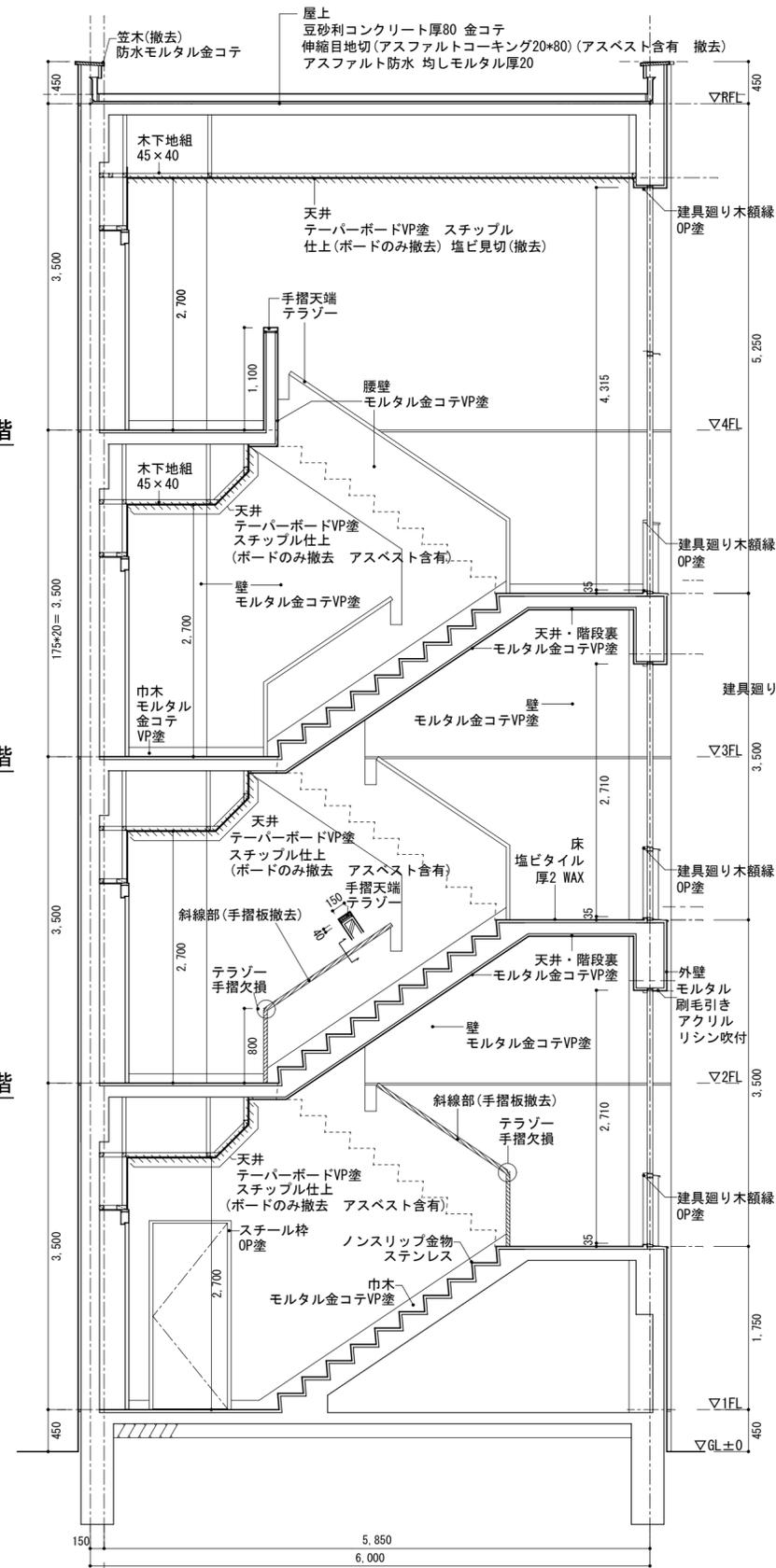


2階

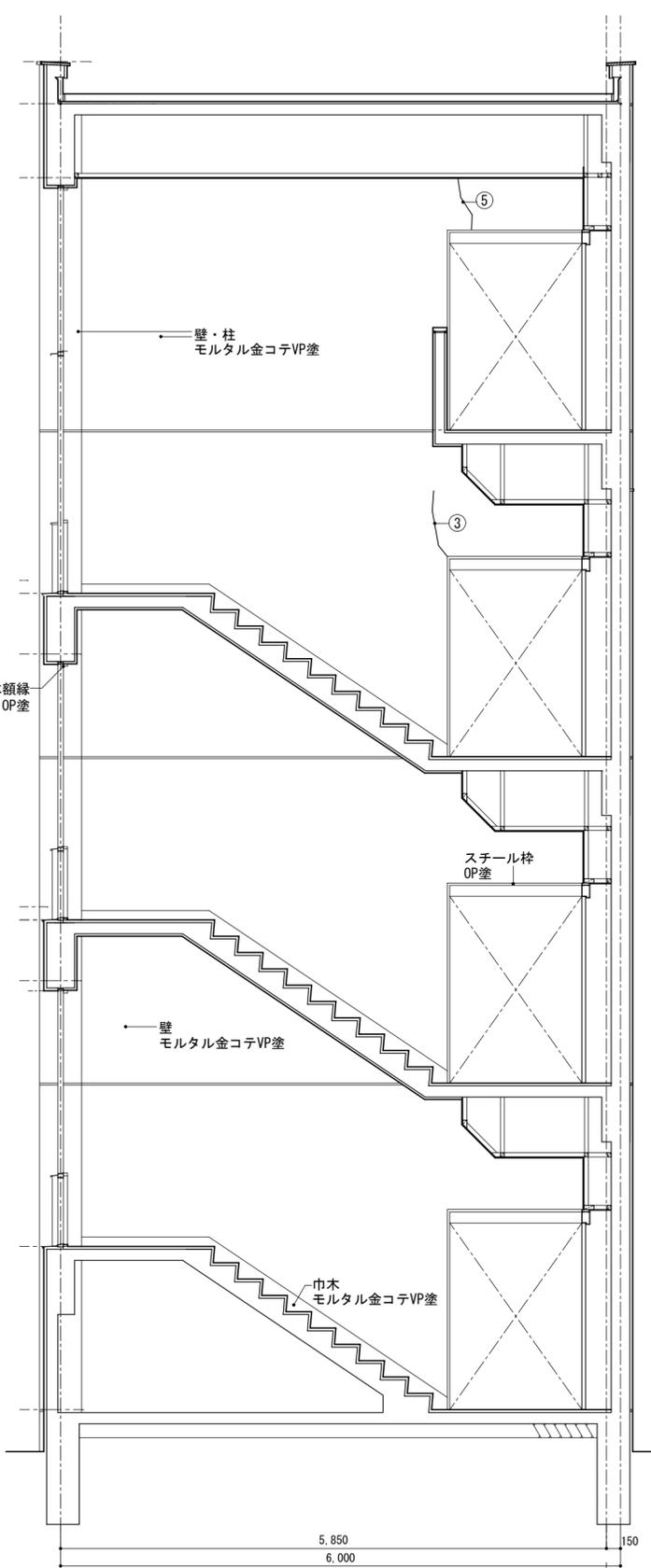


1階

既設 階段室 A 西面展開図



既設 階段室 A 矩計図

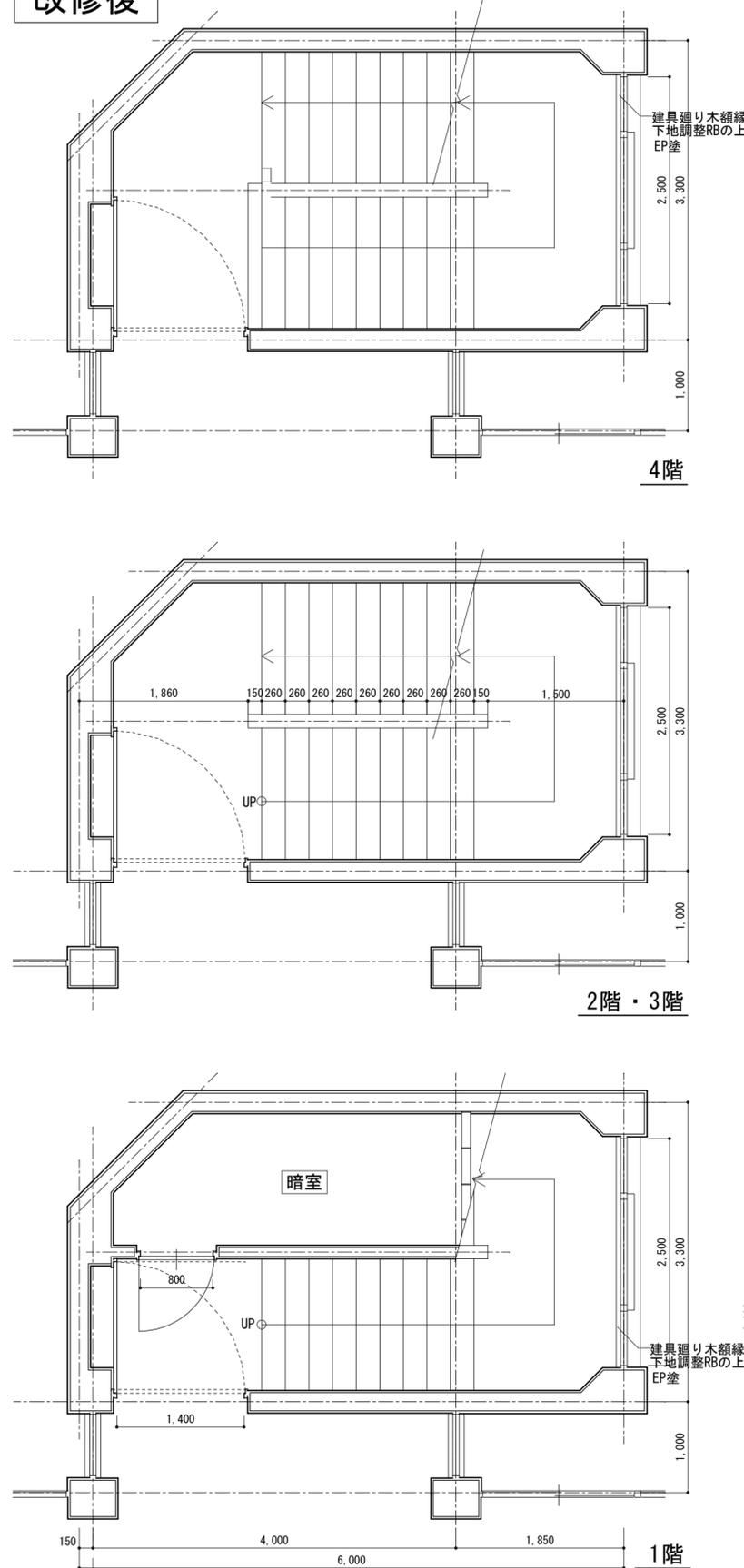


既設 階段室 A 南面展開図

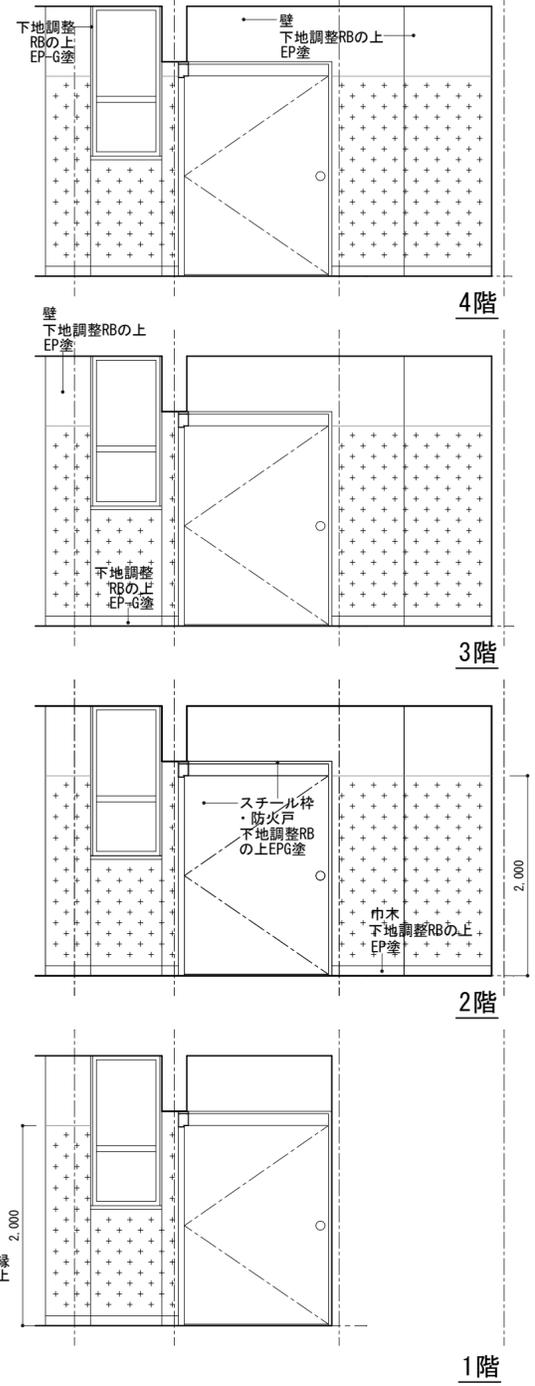
■特記・凡例
 // : 撤去を示す。
 ※天井仕上材テーパーボード(アスベスト含有)

※高さ関係、パラペット・梁位置等は想定とする。必要に応じて現地調査を行い監督員に報告・調整を行うこと。

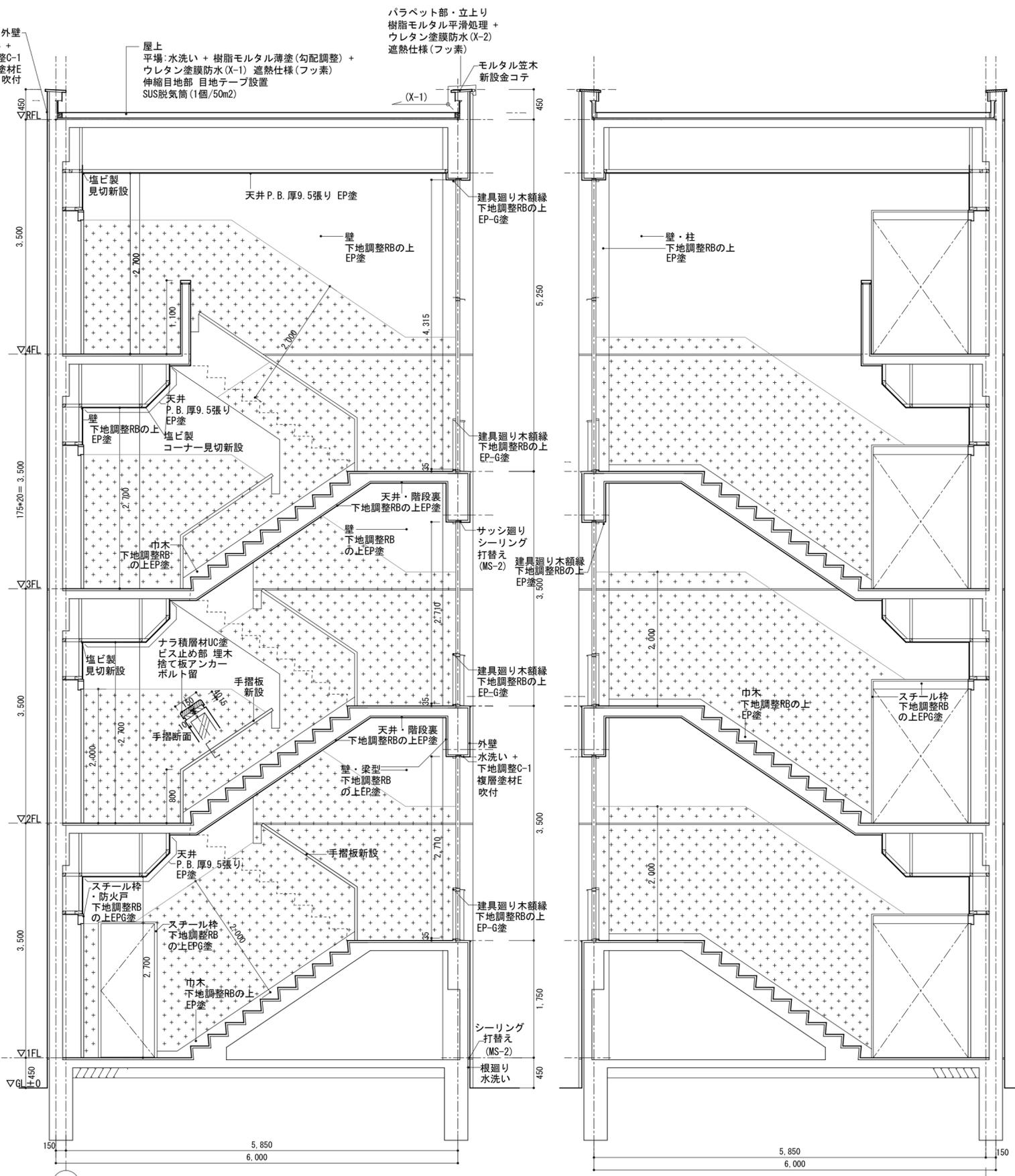
改修後



改修 階段室 A 平面詳細図



改修 階段室 A 西面展開図

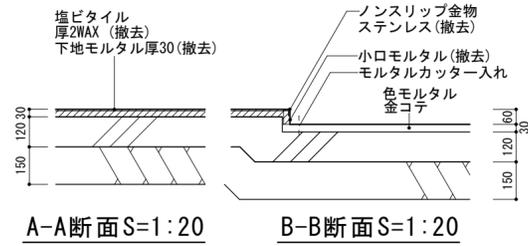


改修 階段室 A 矩計図

改修 階段室 A 南面展開図

■特記・凡例
 ++++部: 既設モルタル下地調整RAの上 EP塗エリアを示す
 ※高さ関係、パラベット・梁位置等は想定とする。必要に応じて現地調査を行い監督員に報告・調整を行うこと。
 ---: 既存のままを示す

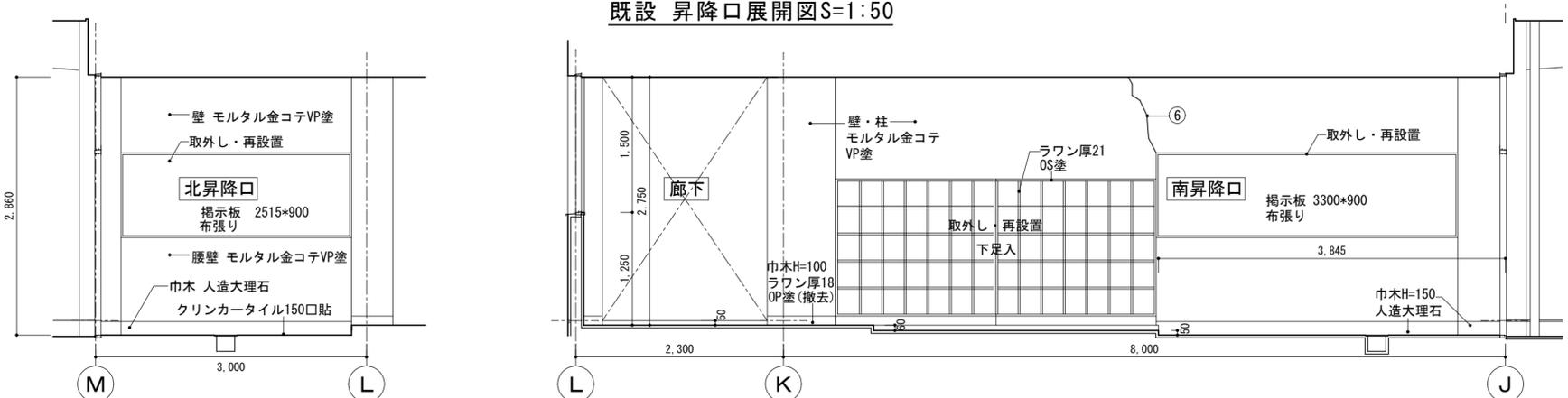
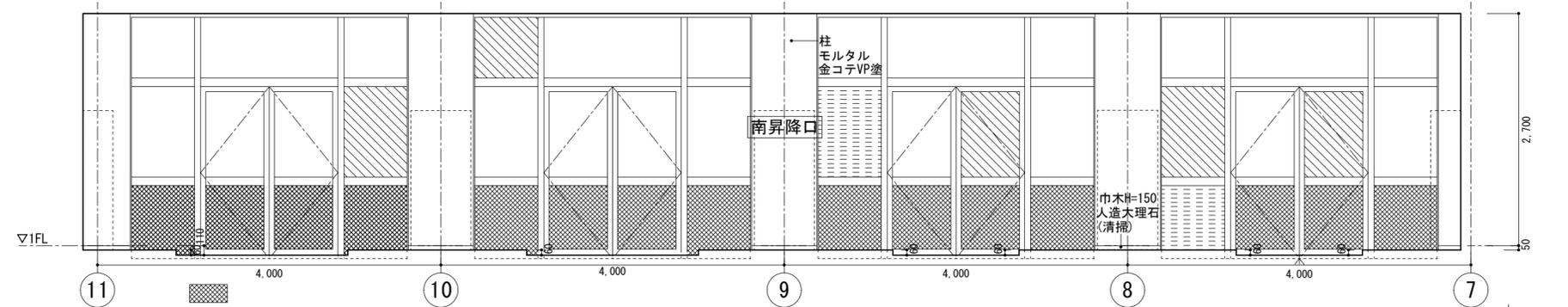
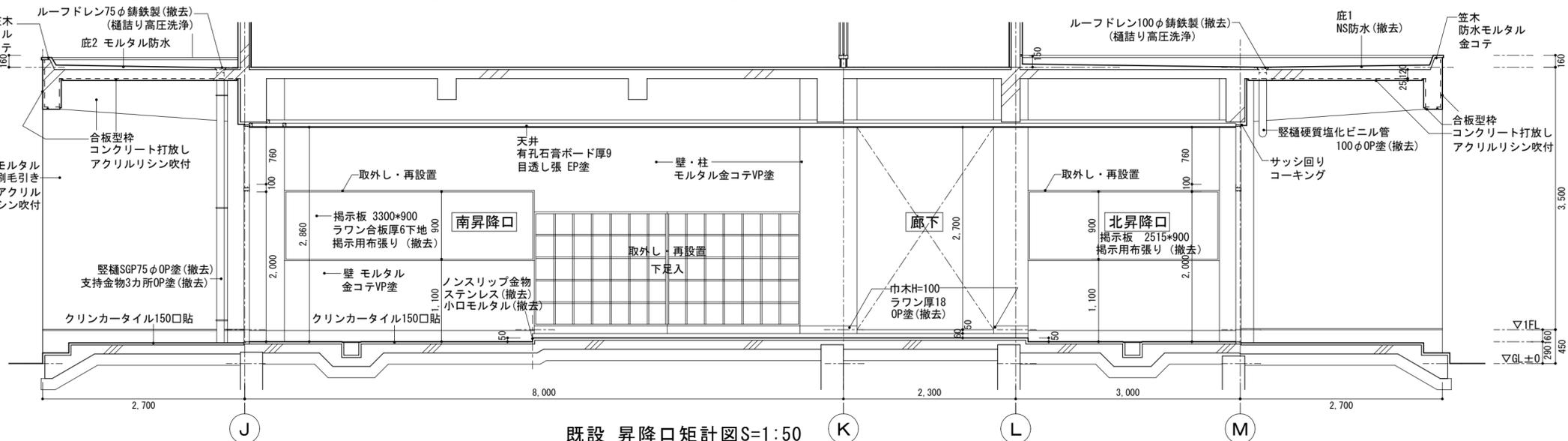
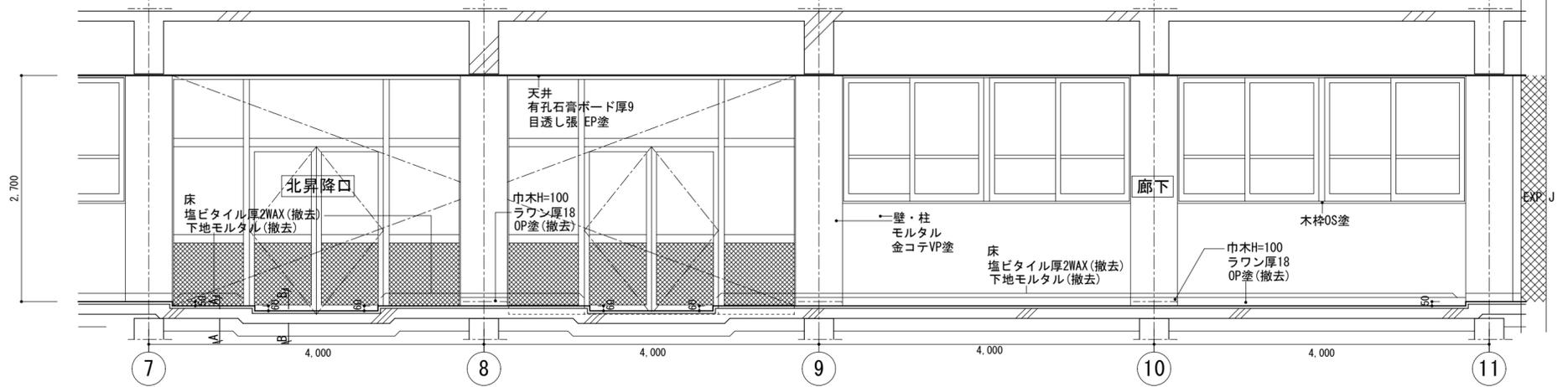
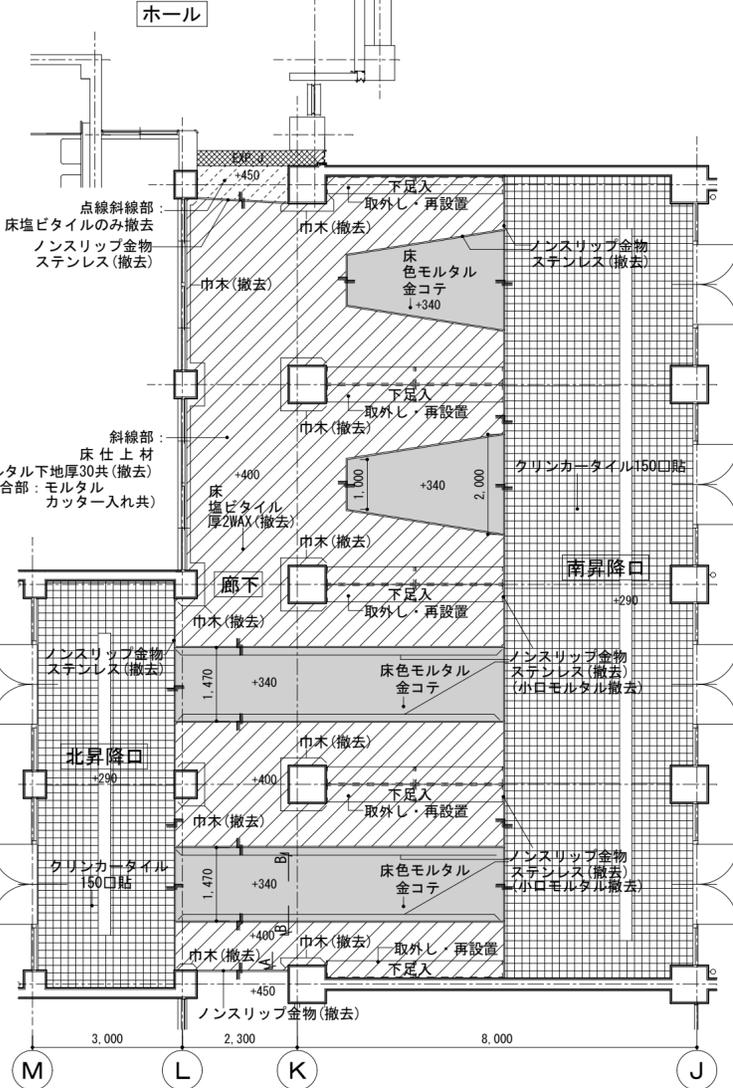
改修前



■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	⑥	0.800	1
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			

- 凡例
- 網子線: 網入りガラスを示す。
 - 斜線: アルミパネル部分を示す
 - 点線: スリガラス部分を示す



景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

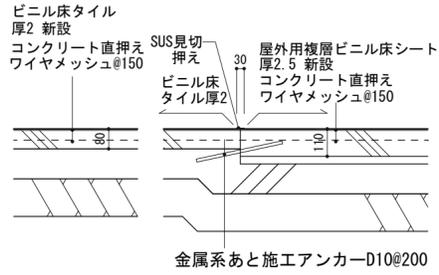
既設 昇降口矩計図・平面図・展開図

scale S = 1:50 S = 1:100 NO. 原図: A2

S = 1:20 date

A-21

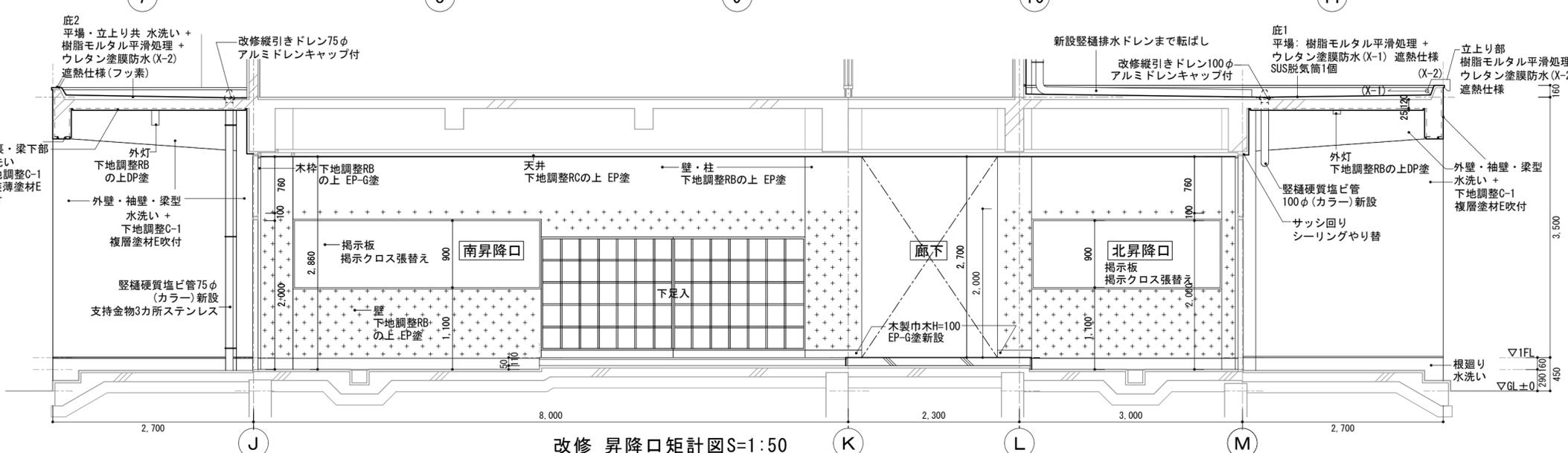
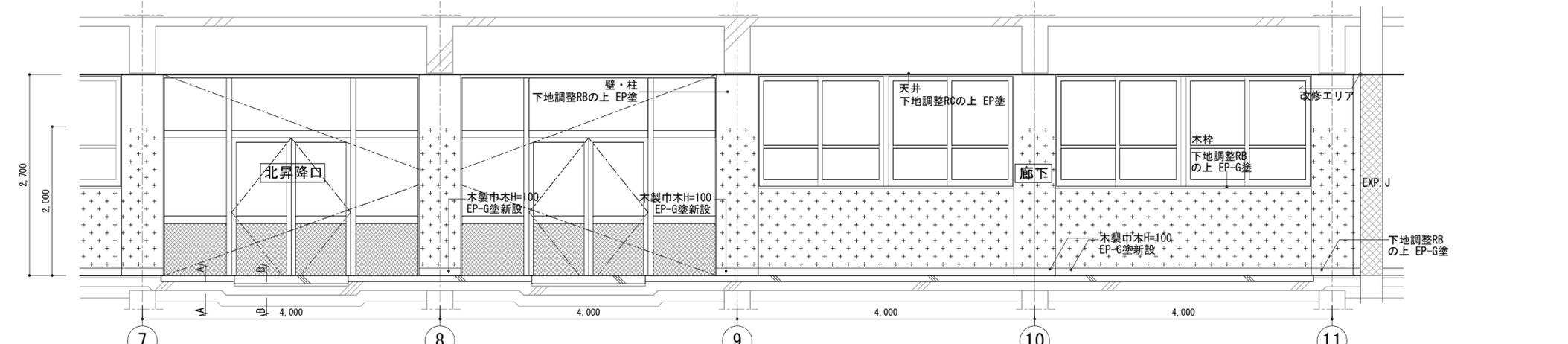
改修後



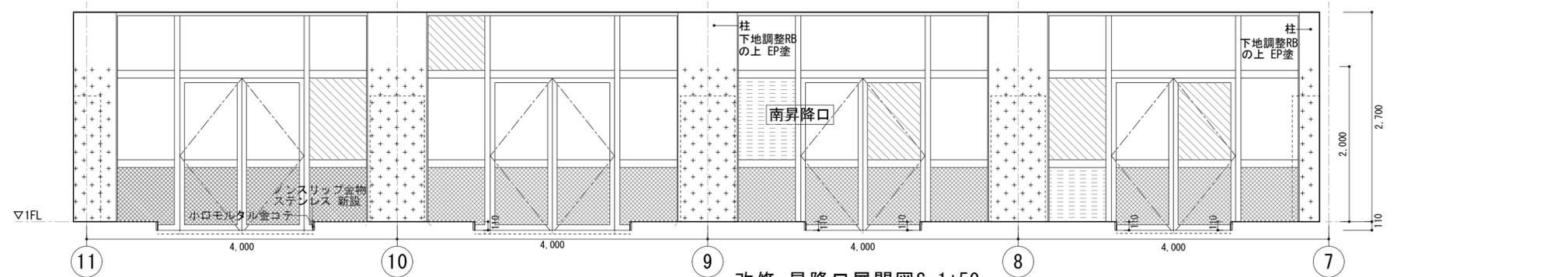
A-A断面 S=1:20

B-B断面 S=1:20

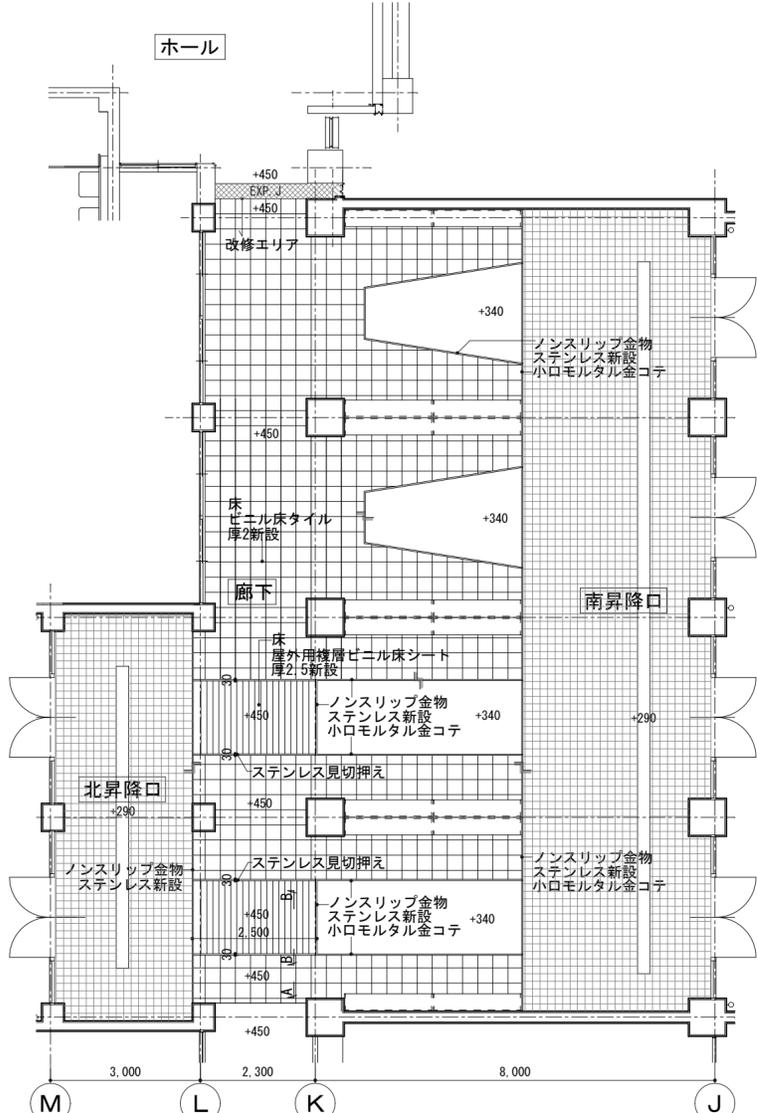
- 凡例
- : 網入りガラスを示す。
- : アルミパネル部分を示す
- : スリガラス部分を示す
- : 既設モルタル下地調整Rの上 EP塗エリア
- : ビニル床タイル厚2 新設
- : 屋外用複層ビニル床シート厚2.5 新設
- : 既存のままを示す



改修 昇降口矩計図 S=1:50



改修 昇降口展開図 S=1:50



改修 昇降口平面図 S=1:100

景設計室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

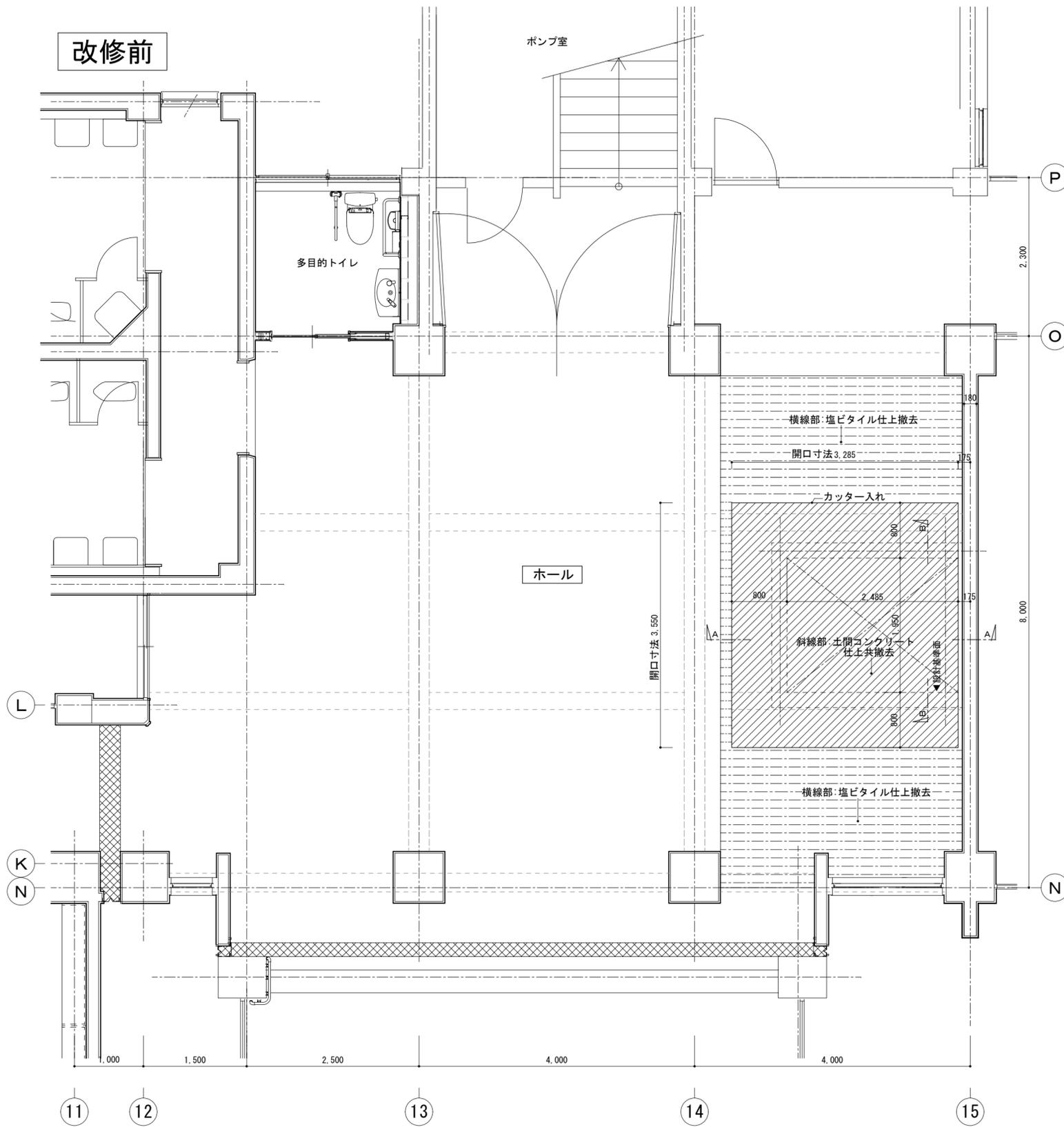
一級建築士 第312324号 竹内 裕子

改修 昇降口矩計図・平面図・展開図

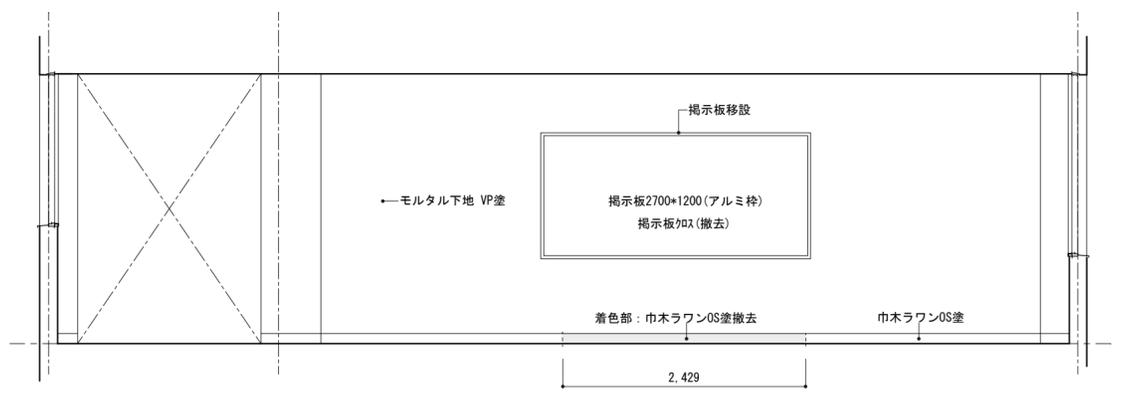
scale S = 1:50 S = 1:100 NO. 原図: A2
S = 1:20

date

A-22



ホール



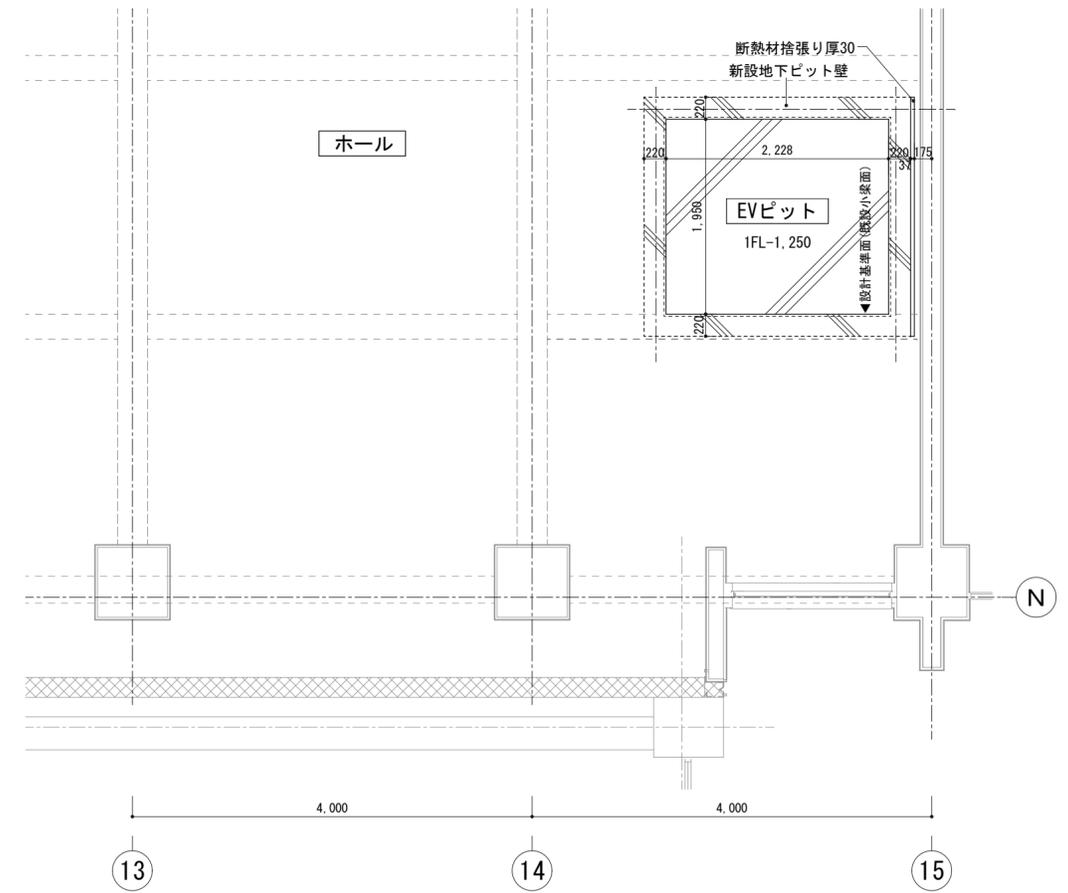
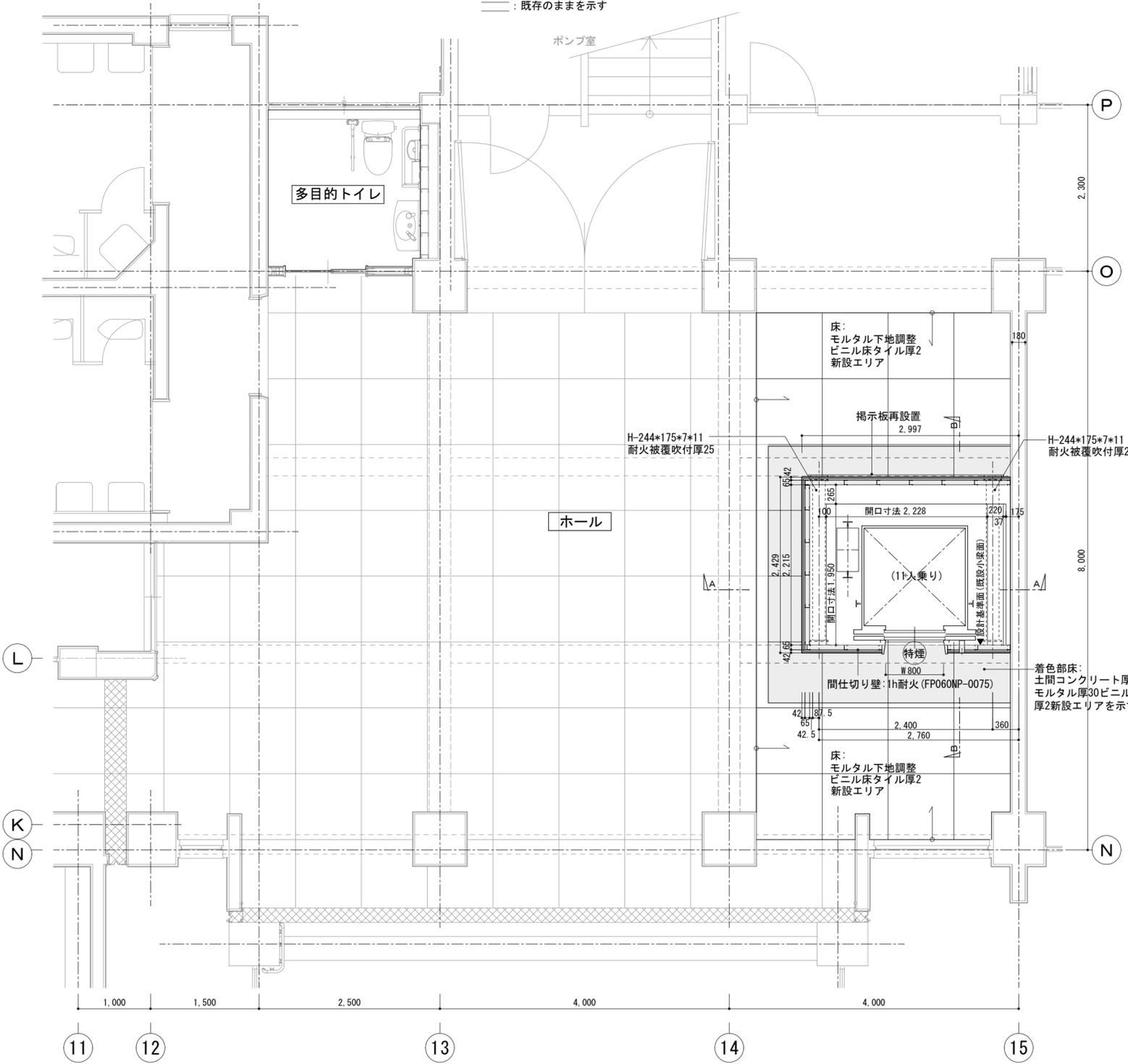
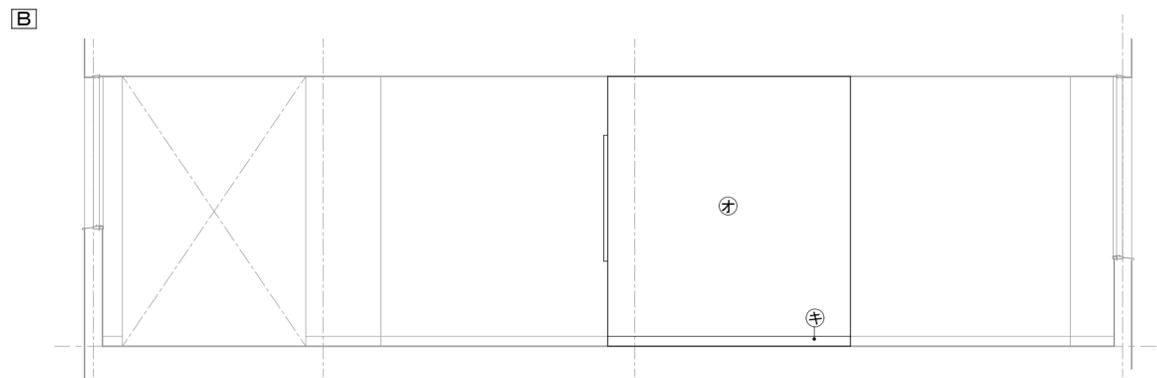
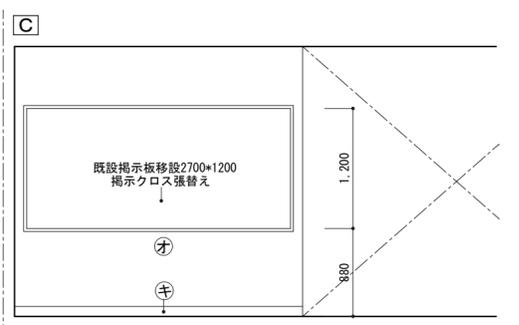
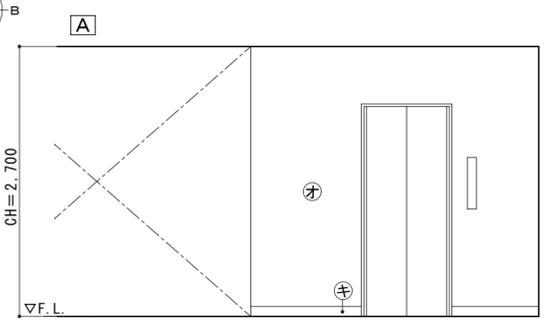
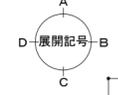
改修後

■仕上表

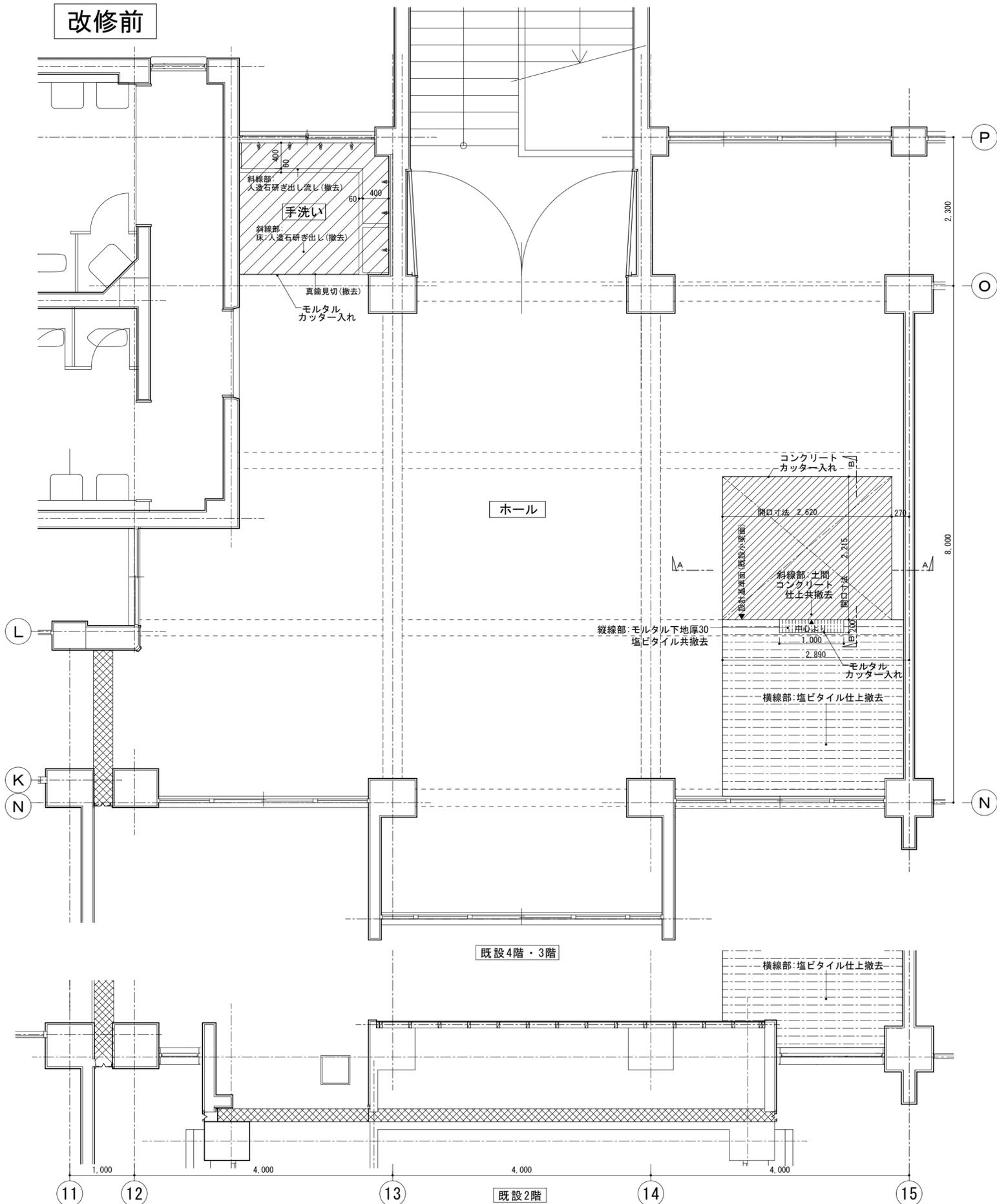
記号	仕様
㊦	耐水合板厚12下地 メラミン不燃化粧板張り厚3
㊧	耐水P.B.厚12.5下地 メラミン不燃化粧板張り厚3
㊨	モルタル下地 メラミン不燃化粧板張り厚3
㊩	耐水P.B.厚12.5下地 EP塗
㊪	強化石膏ボード厚21二重張 EP塗(防火区画)
㊫	既設モルタル下地調整RB EP塗
㊬	ソフト巾木 H=100
㊭	木製巾木 EPG塗 H=100

特煙：特定防火設備(煙感)を示す
 〓：既存のままを示す

ホール(EV周り)



改修前

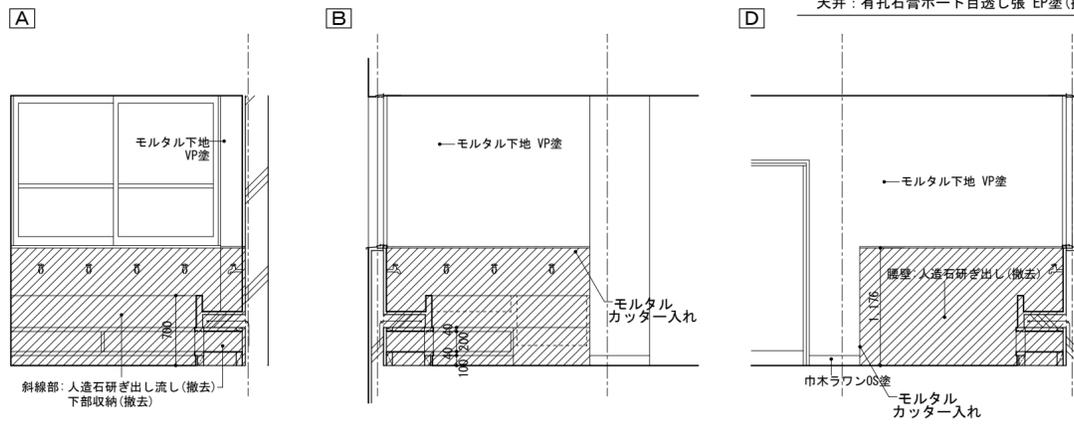


手洗い

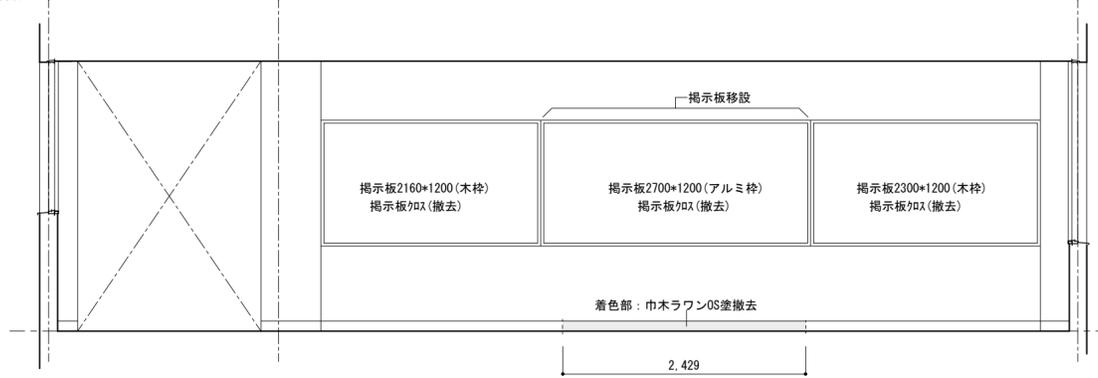


手洗い

部位	仕様
床	: 人造石研ぎ出し(撤去)
腰壁	: 人造石研ぎ出し(撤去)
壁	: モルタル下地 VP塗
天井	: 有孔石膏ボード目隠し張 EP塗(撤去)



ホール (4階)



ホール (3階)



ホール (2階)



景設計室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

既設 4階・3階・2階)ホール平面詳細図・展開図

scale S = 1: 50

NO. 原図: A2

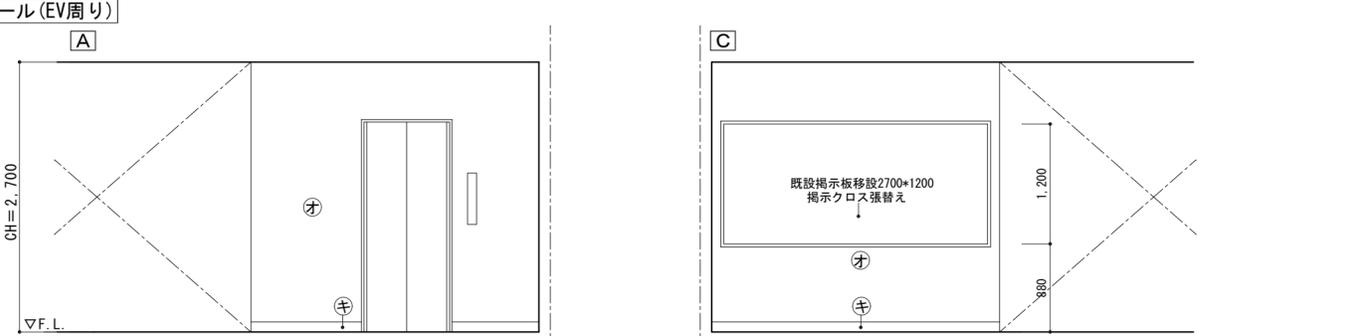
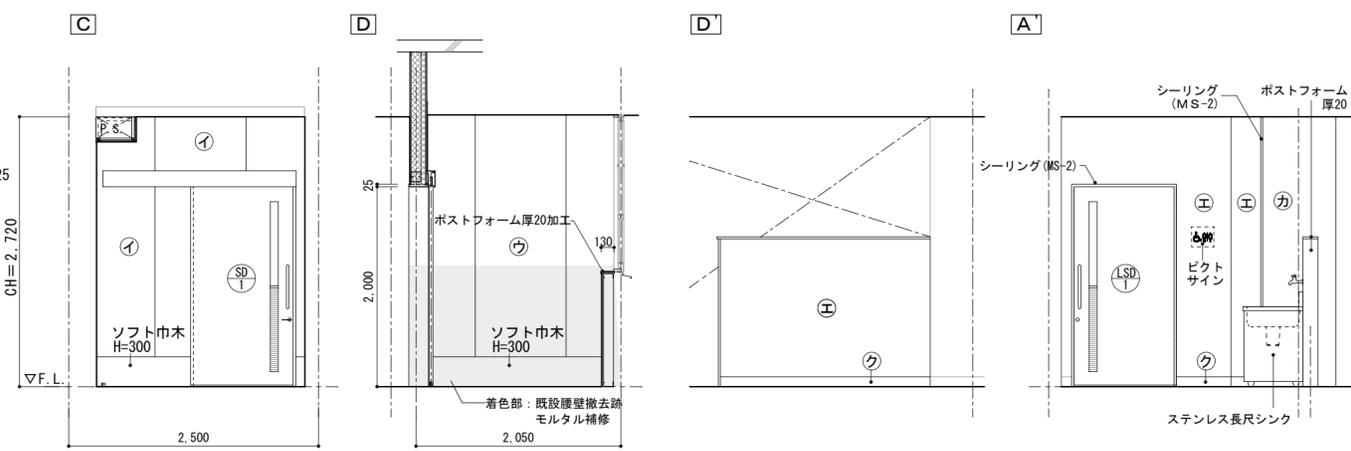
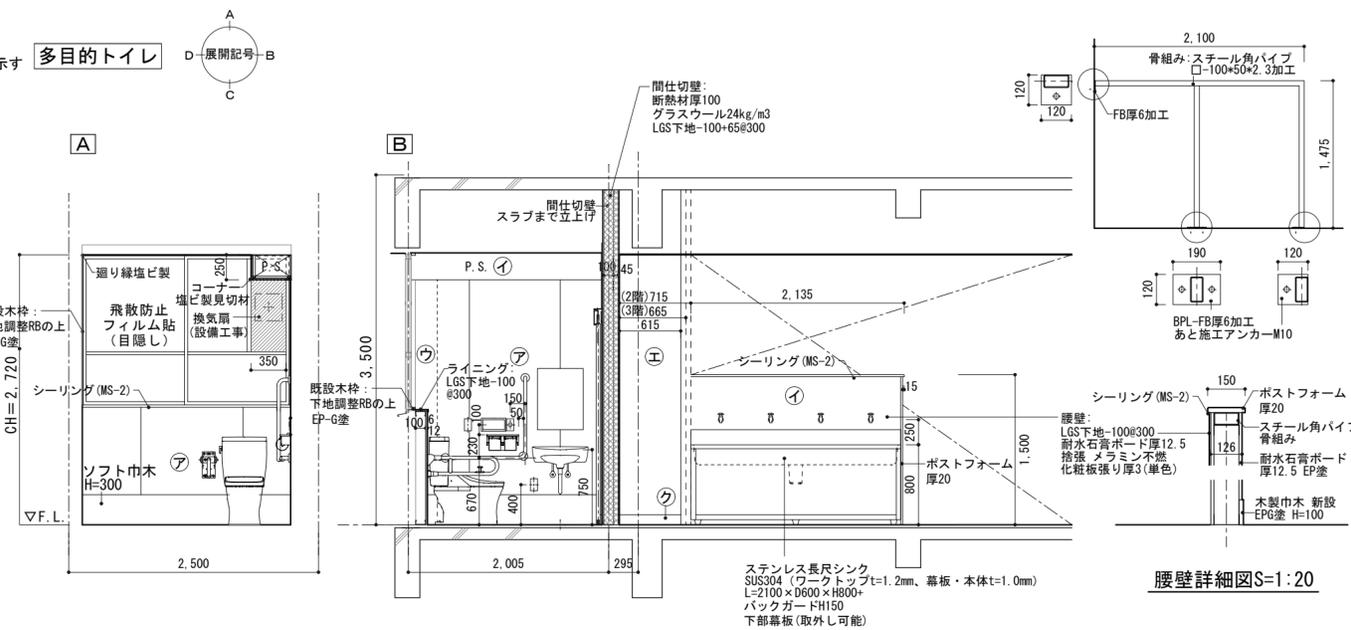
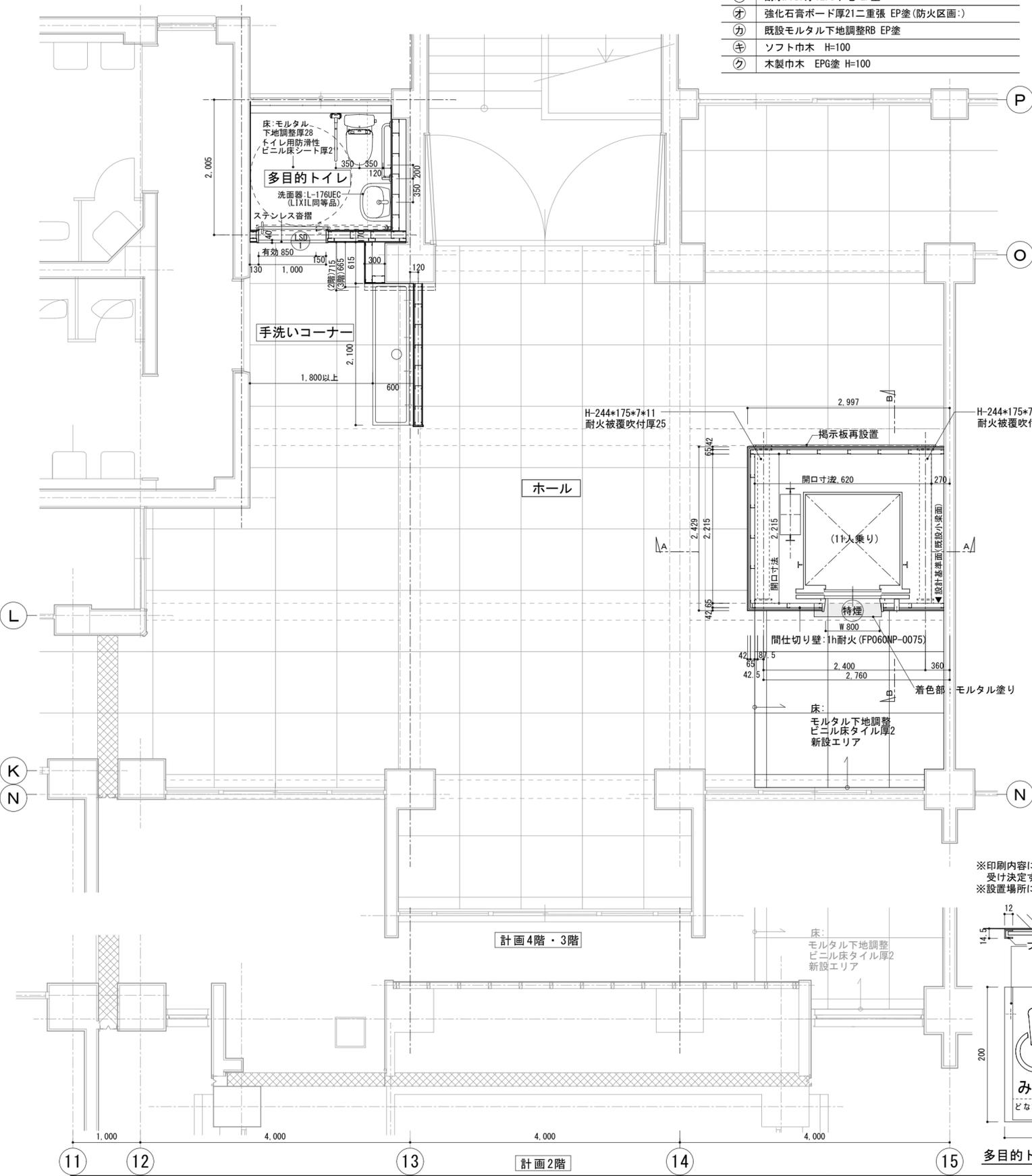
date

A-25

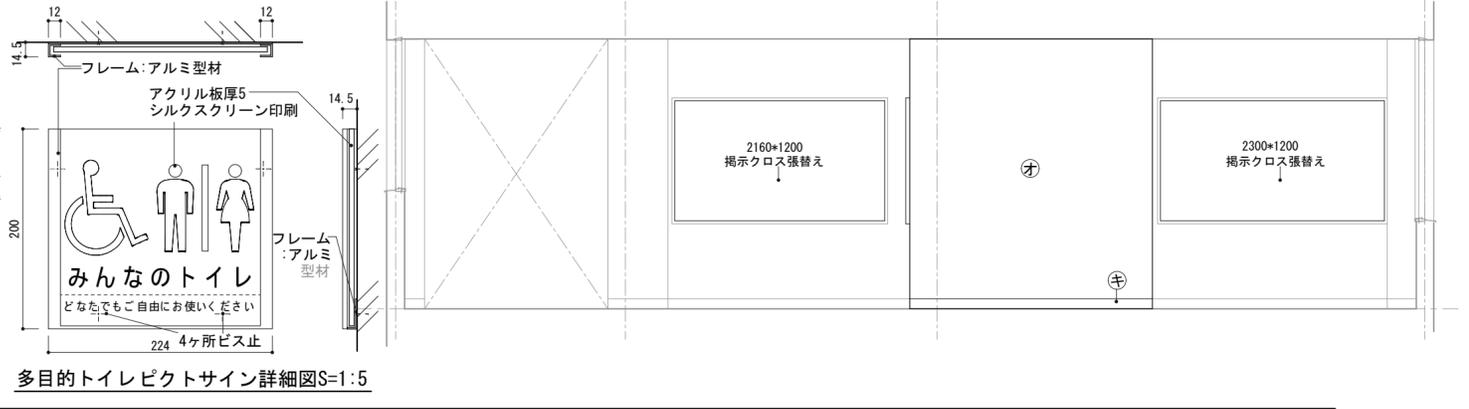
改修後

■仕上表 (特煙：特定防火設備(煙感)を示す □：既存のままを示す 多目的トイレ)

記号	仕様
㊦	耐水合板厚12下地 メラミン不燃化粧板張り厚3
㊧	耐水P.B.厚12.5下地 メラミン不燃化粧板張り厚3
㊨	モルタル下地 メラミン不燃化粧板張り厚3
㊩	耐水P.B.厚12.5下地 EP塗
㊪	強化石膏ボード厚21二重張 EP塗(防火区画:)
㊫	既設モルタル下地調整RB EP塗
㊬	ソフト巾木 H=100
㊭	木製巾木 EPG塗 H=100



※印刷内容について、施工図により監督員の承認を受け決定すること。
 ※設置場所においても監督員と協議の上決定すること。



景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
 Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

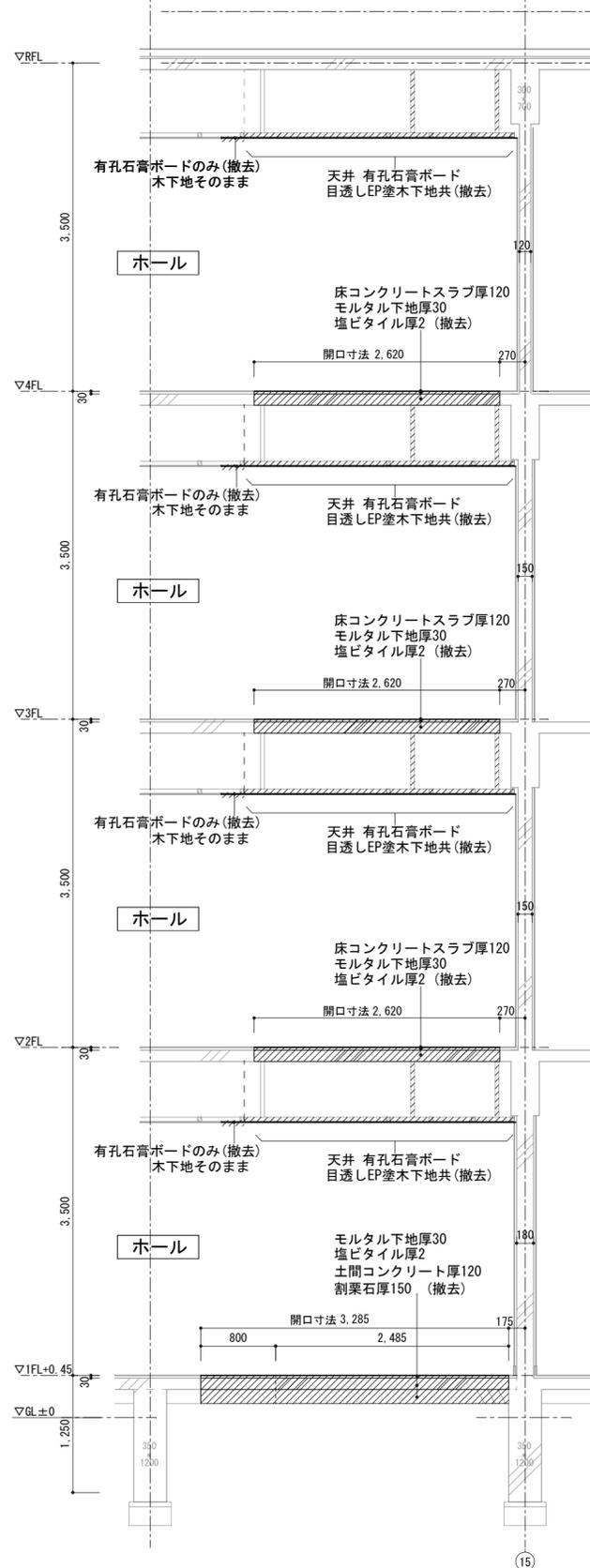
改修 4階(・3階・2階)ホール平面詳細図・展開図

scale S = 1: 50
 S = 1: 20 S = 1: 5
 date

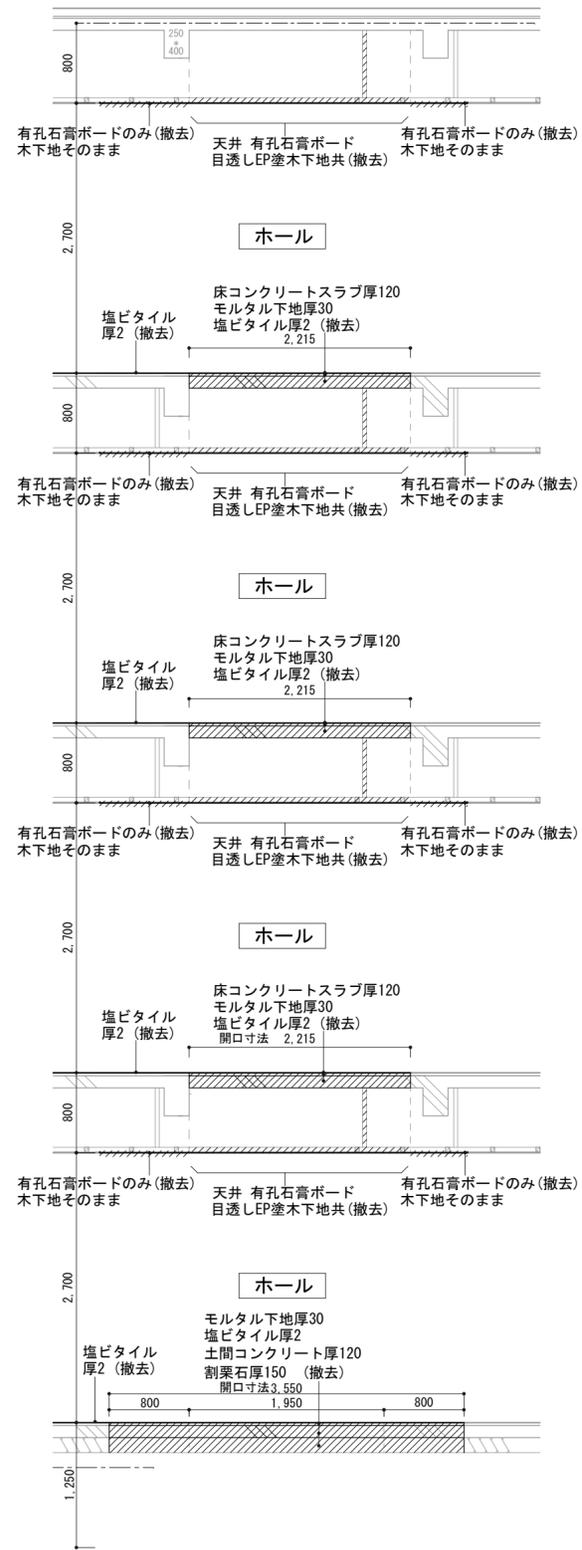
NO. 原図: A2

A-26

改修前

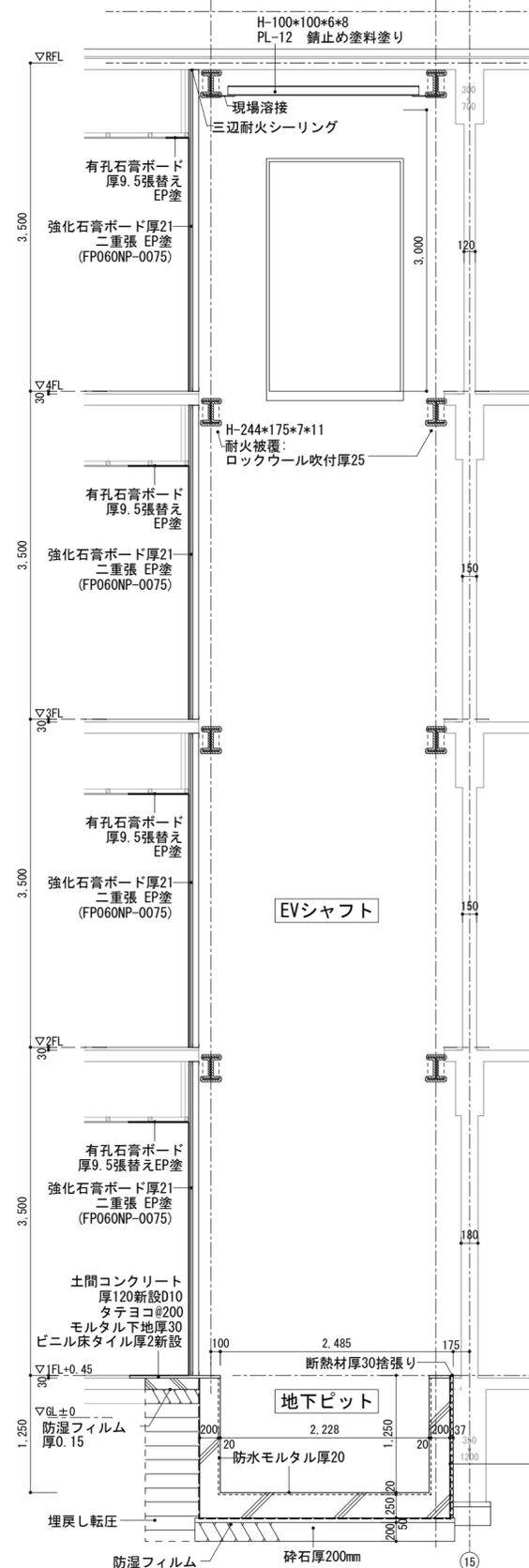


既設 A-A 断面詳細図

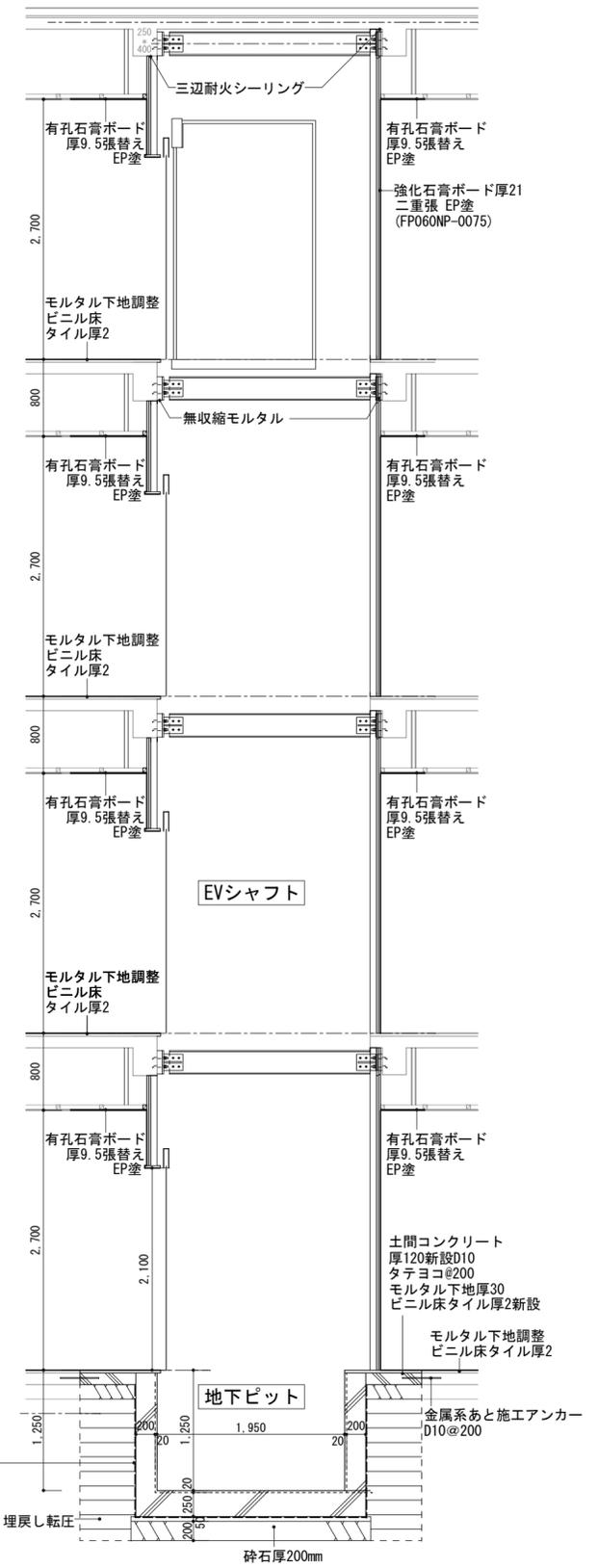


既設 B-B 断面詳細図

改修後



改修 A-A 断面詳細図



改修 B-B 断面詳細図

—: 既存のままを示す

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号

竹内 裕子

既設 EV断面詳細図・改修 EV断面詳細図

scale S = 1:50

NO. 原図: A2

date

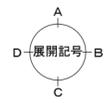
A-27

■仕上表

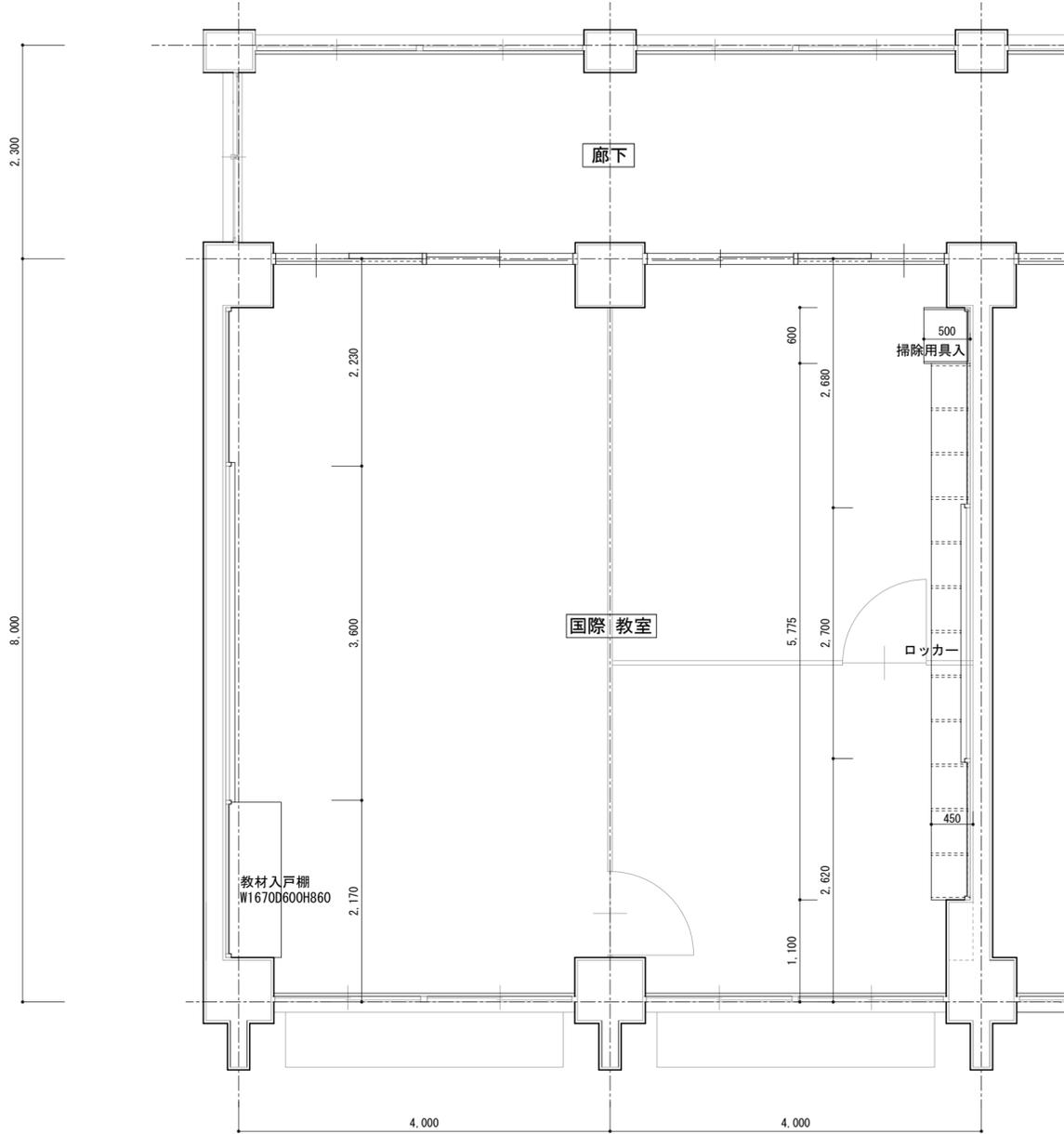
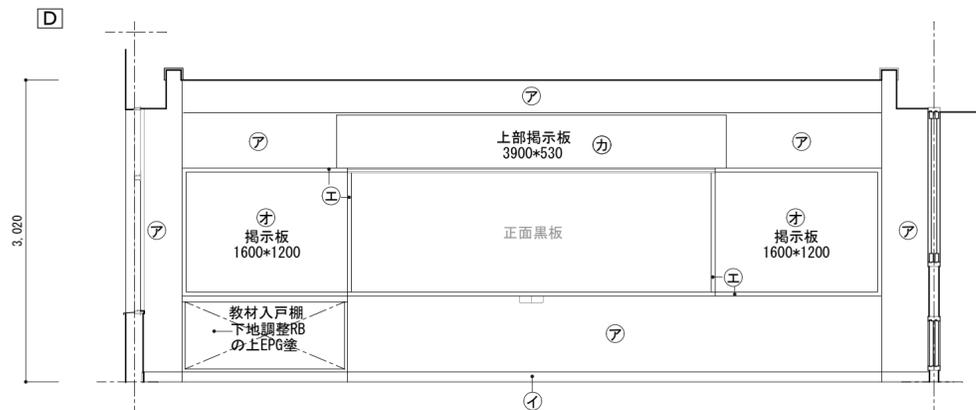
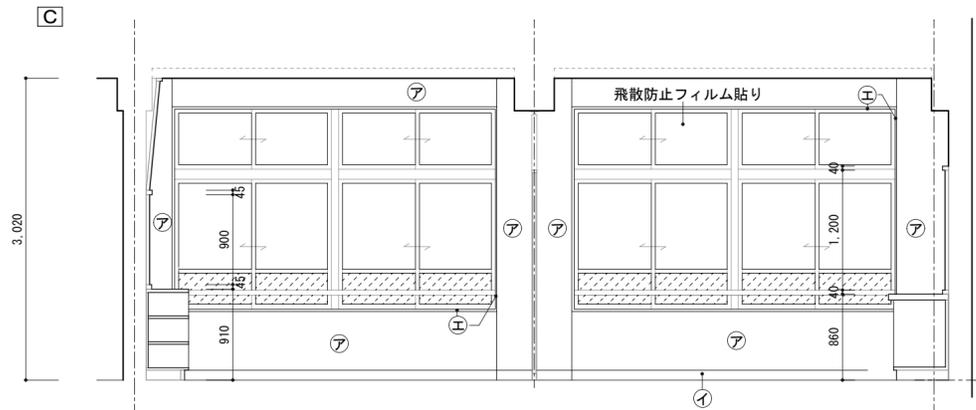
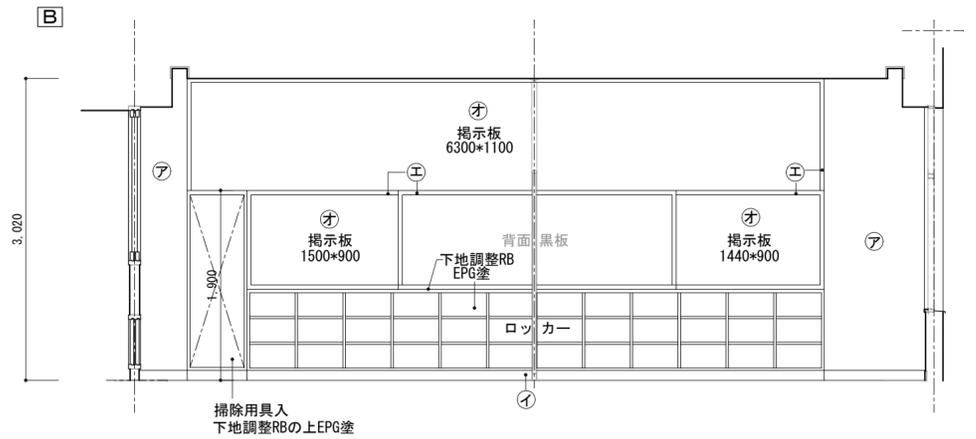
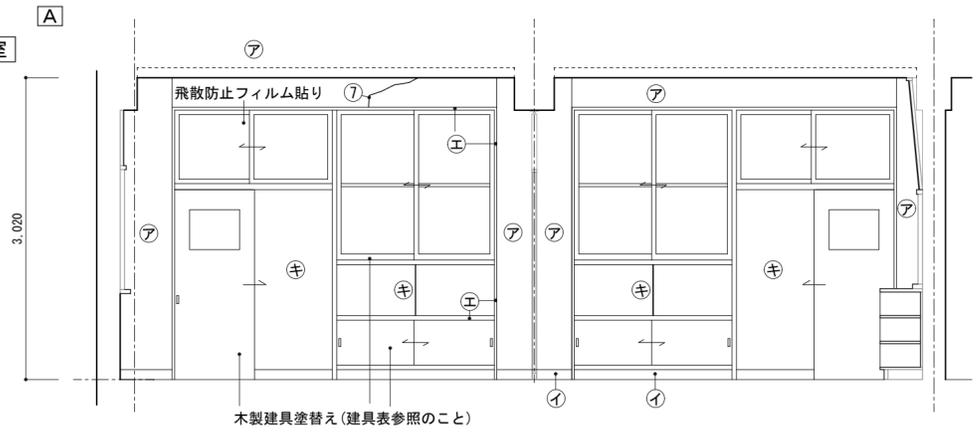
部位	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ボーダー部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	ウ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗 品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	既設合板下地調整RBの上 EPG塗 品合板厚6張替え EPG塗	キ ク

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	⑦	0.30 + 0.60	1
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			



国際教室



※特記・凡例

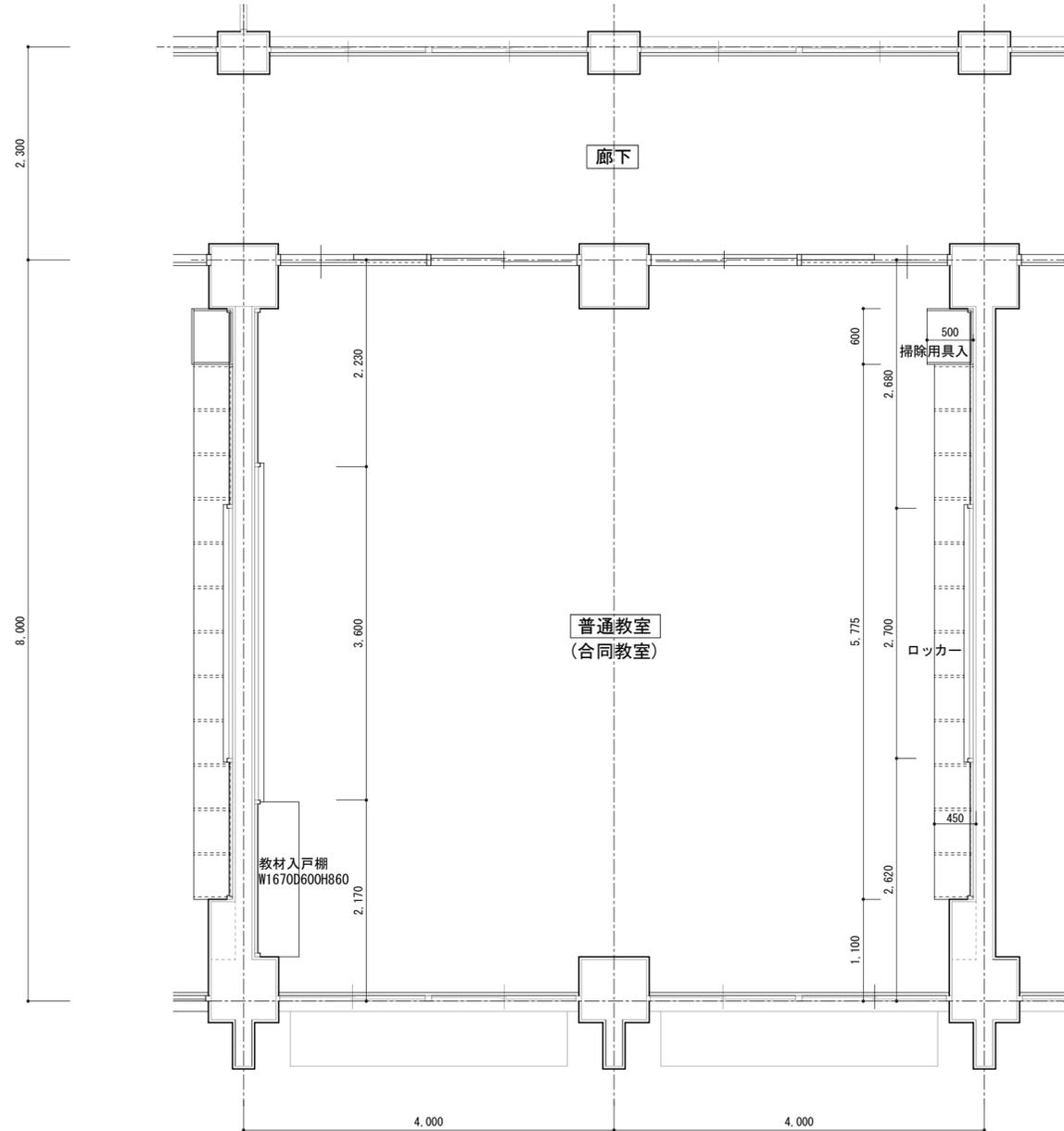
- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- スリガラス面を示す
- 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。

■仕上表

部位	(改修前)仕様	(改修後)仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ポーター部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	イ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	イ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	イ

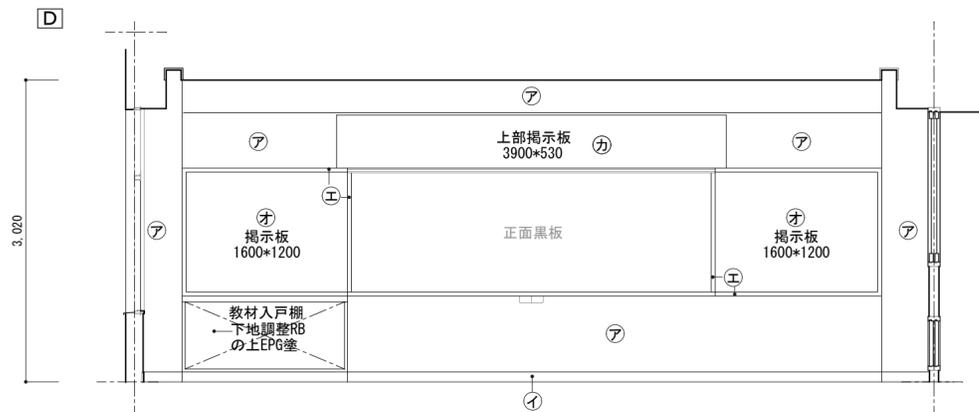
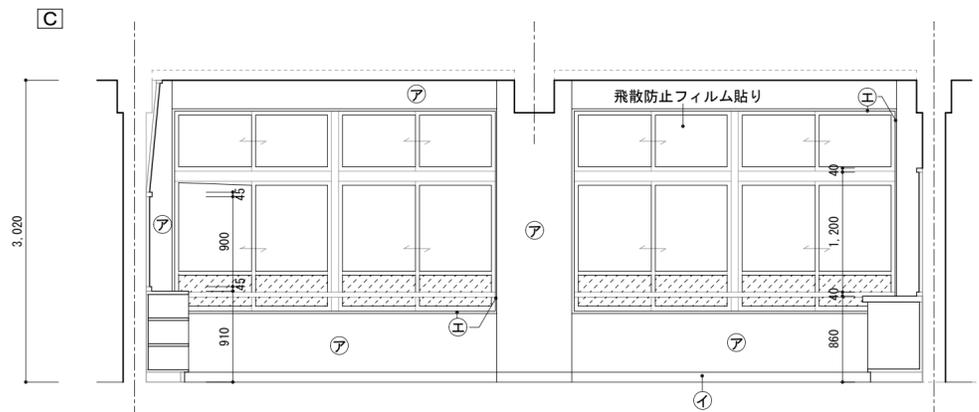
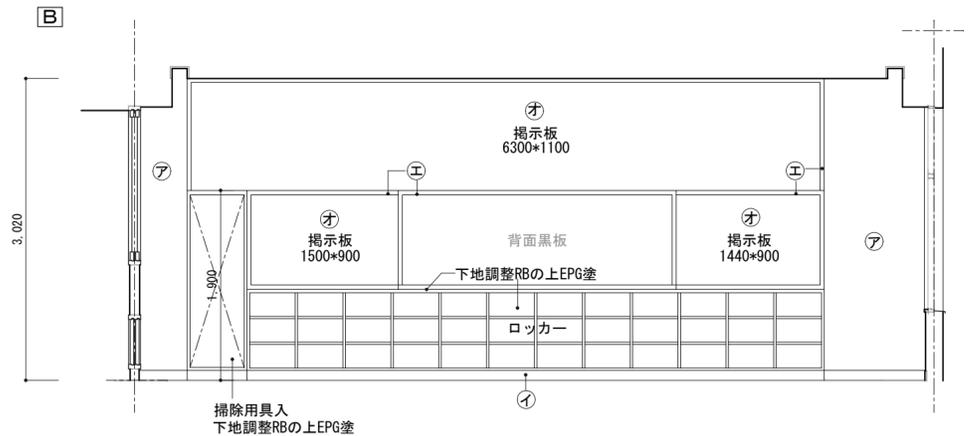
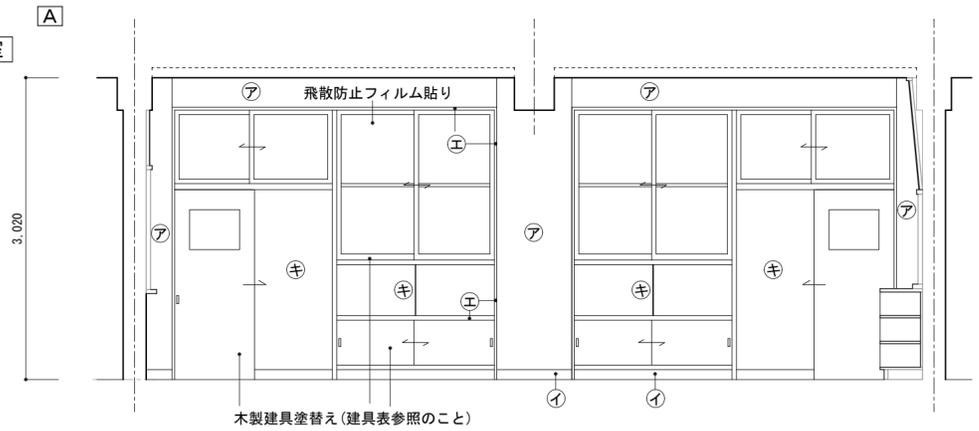


普通(合同)教室



※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。



■仕上表

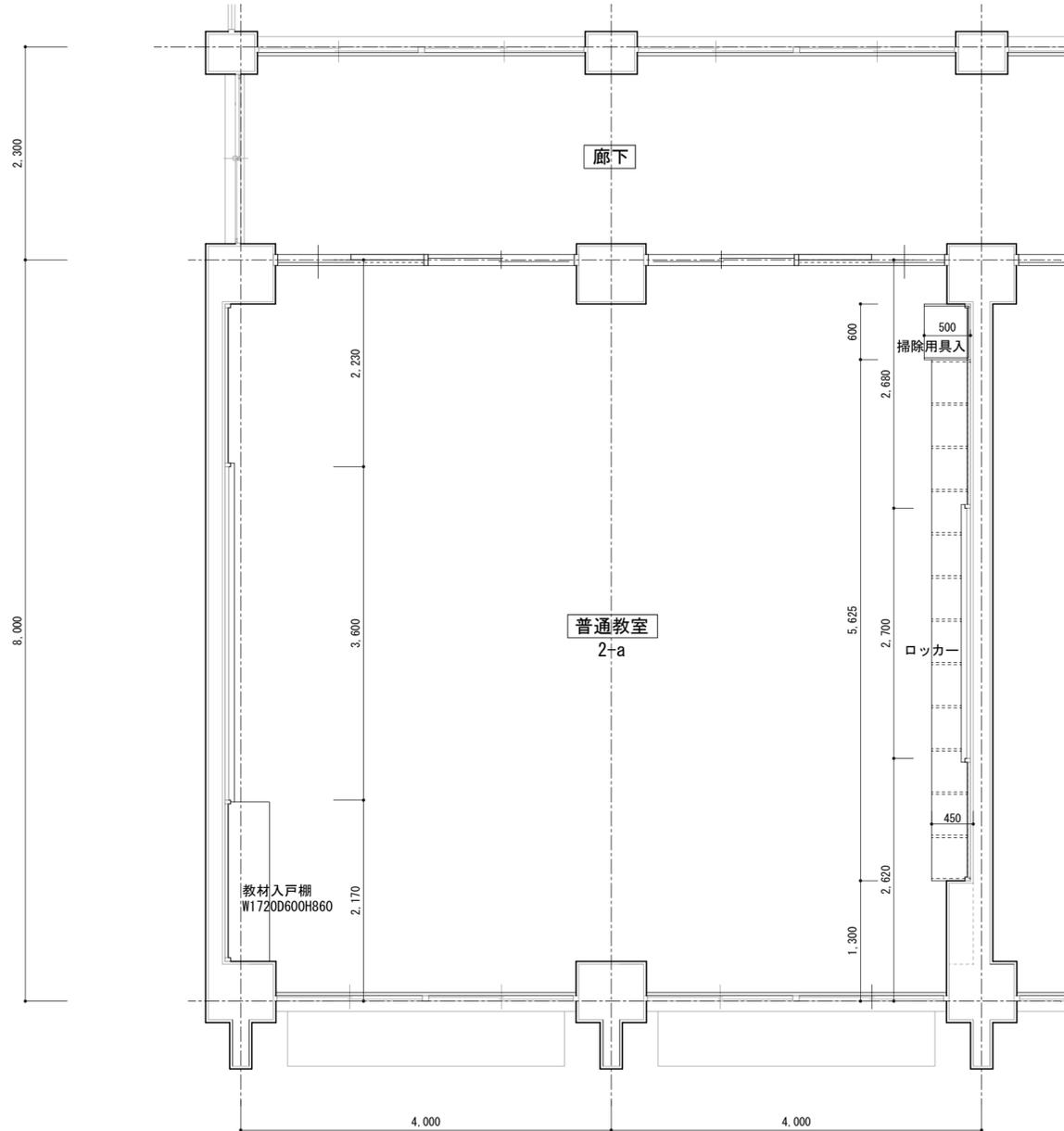
部位	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ボデー部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	ウ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	ク

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	⑧	0.60	1
		⑨	0.50	1
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			

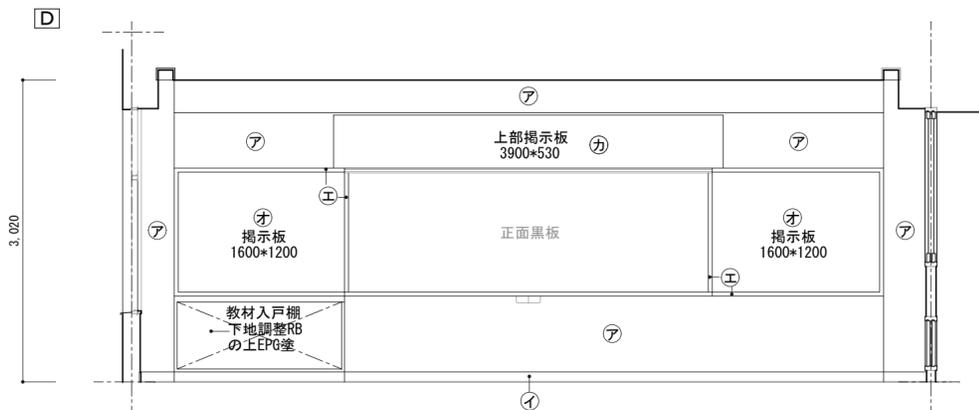
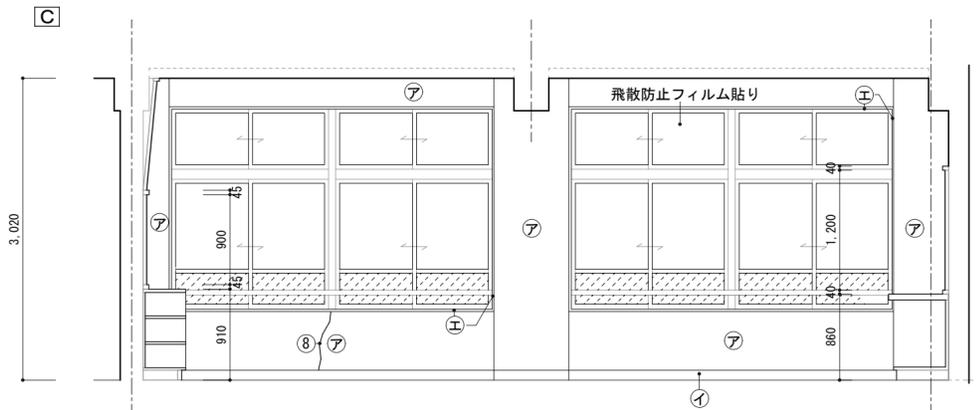
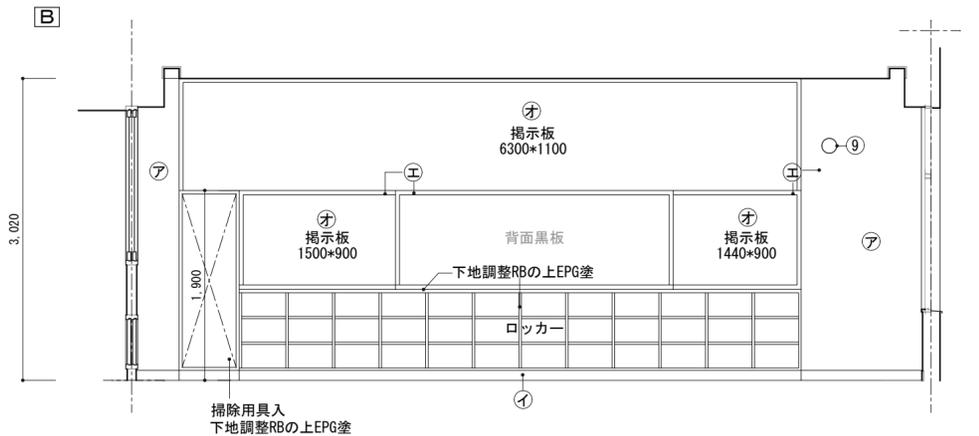
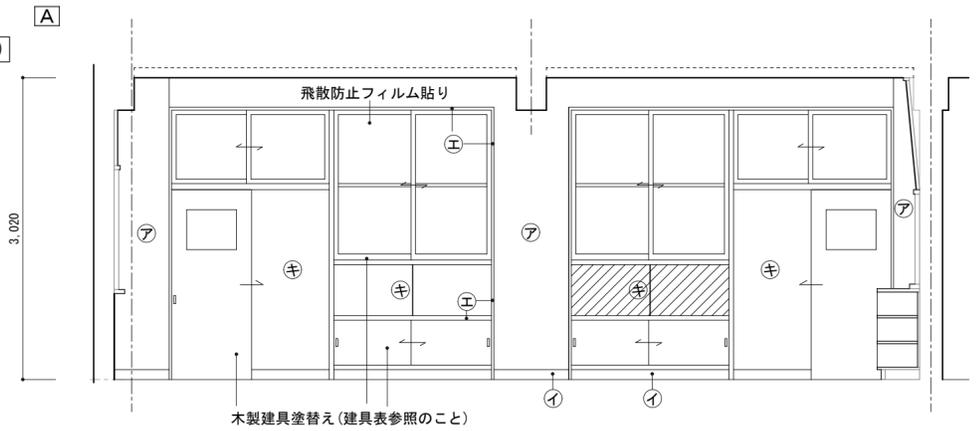


普通教室(2-a)



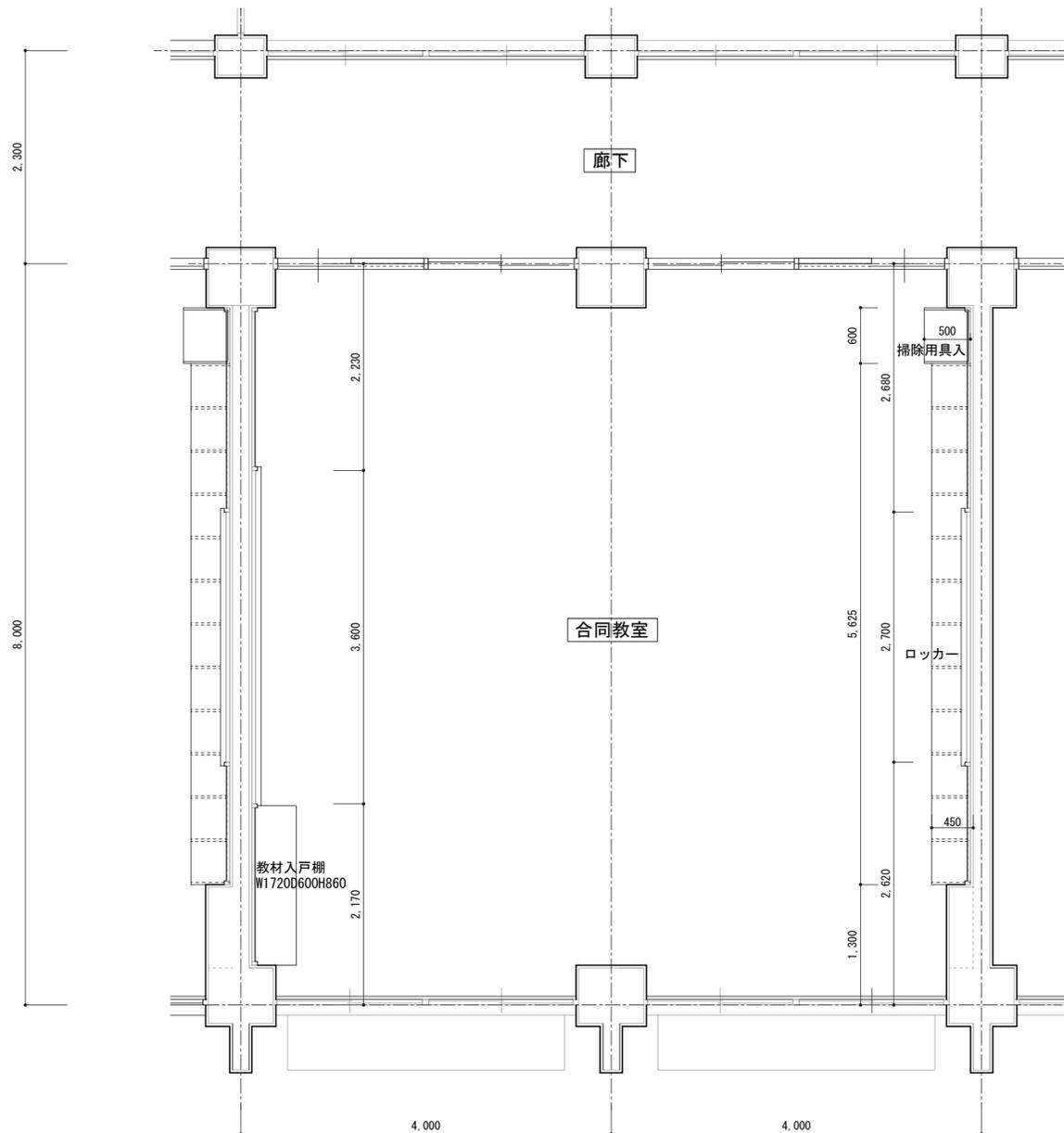
※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。



■仕上表

部 位	(改修前) 仕 様	(改修後) 仕 様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ポーター部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	ウ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木柵	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	ク

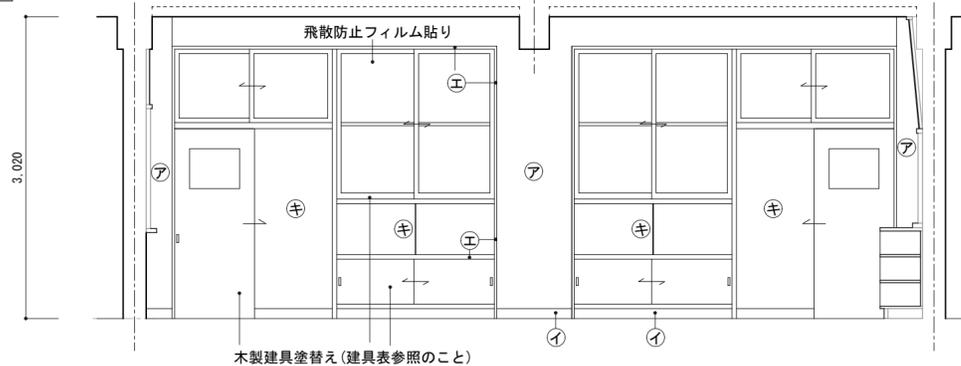


※特記・凡例

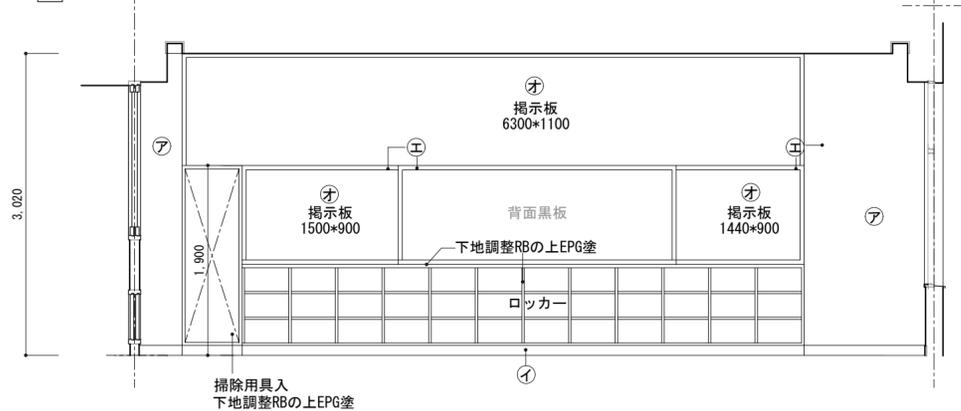
- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。

A
D-展開記号-B

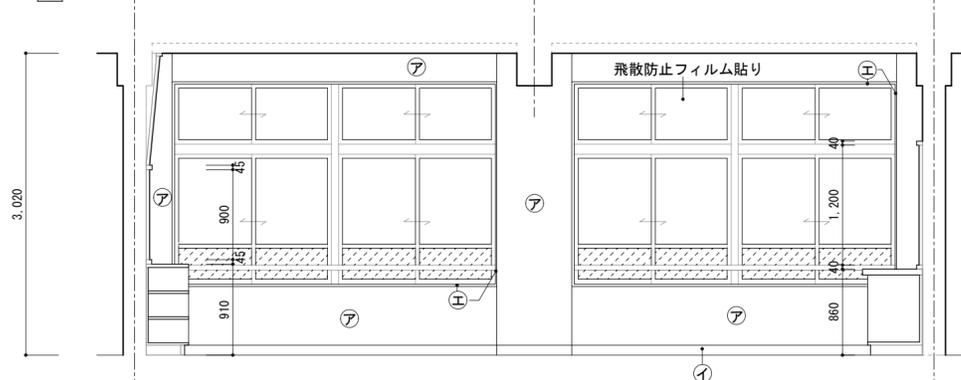
A
合同教室



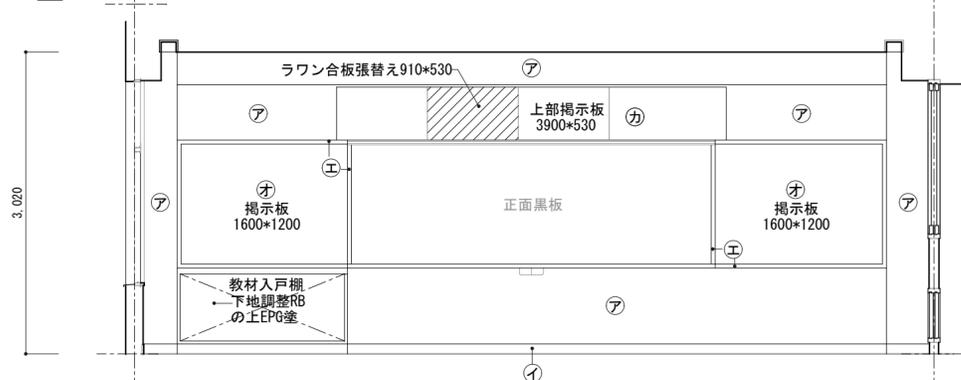
B



C



D

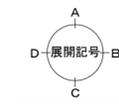


■仕上表

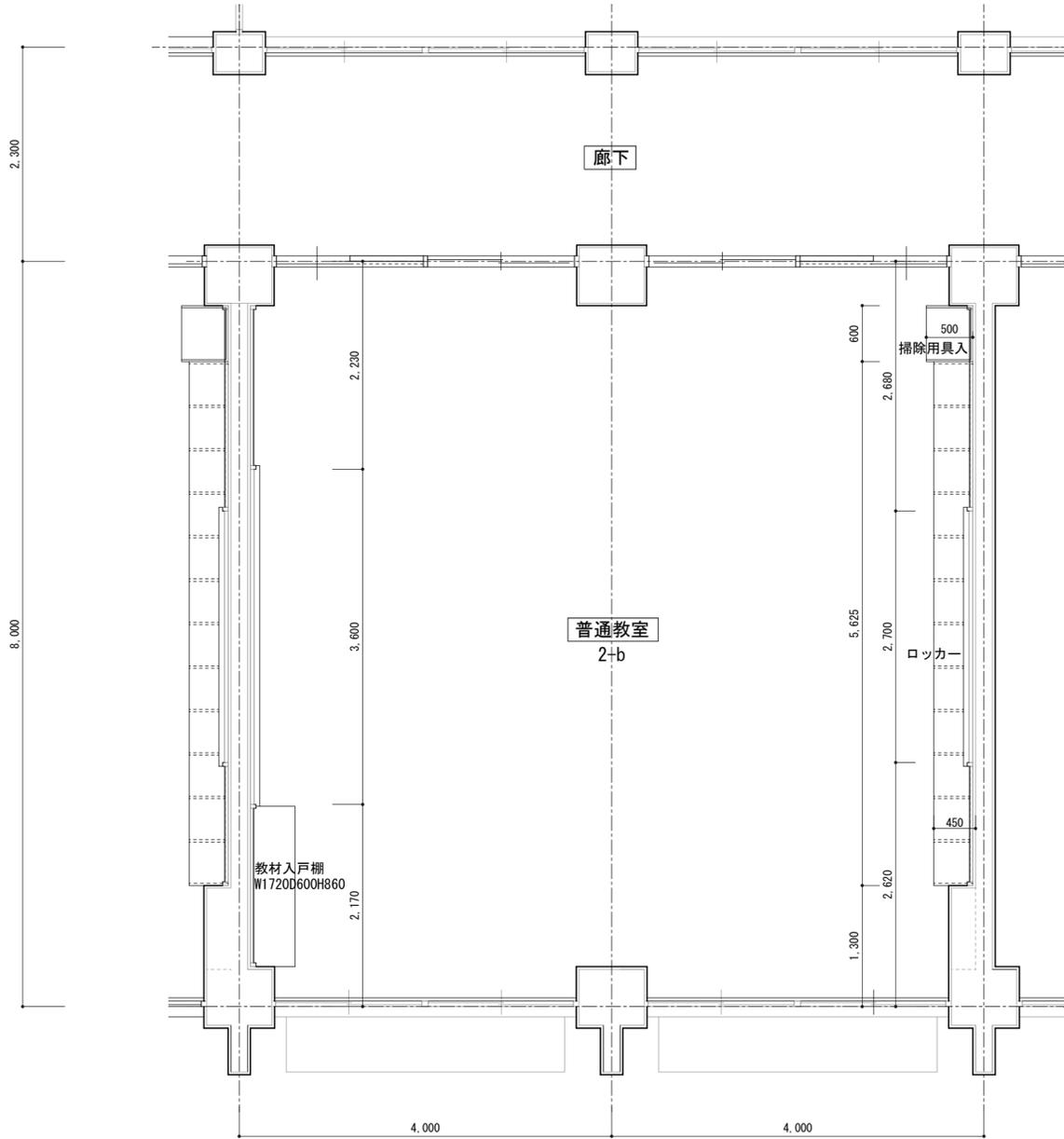
部位	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ボデー部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	ウ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	ク

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法	△	1.40 + 0.25	1

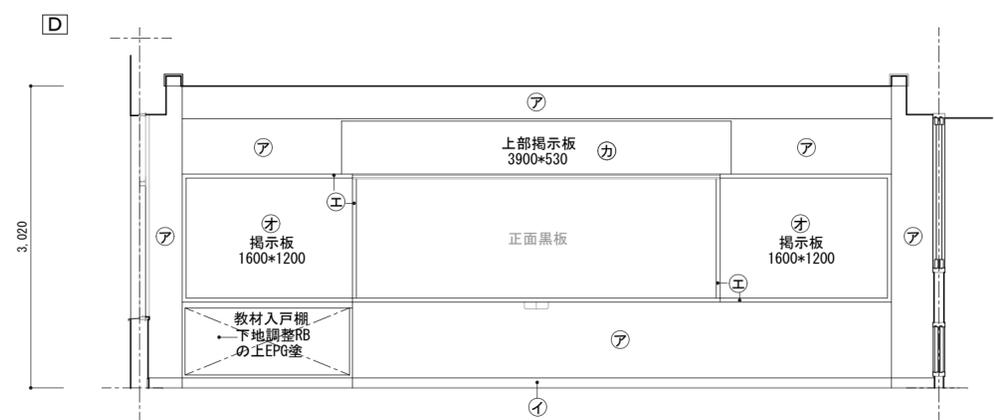
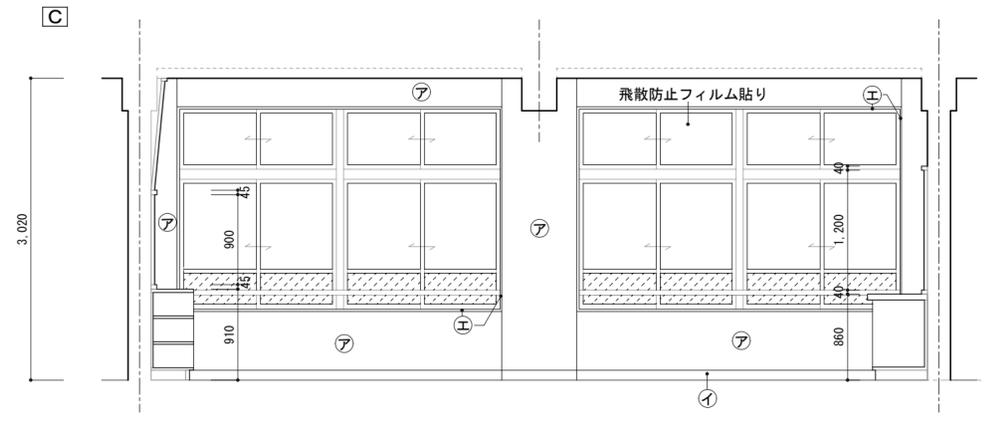
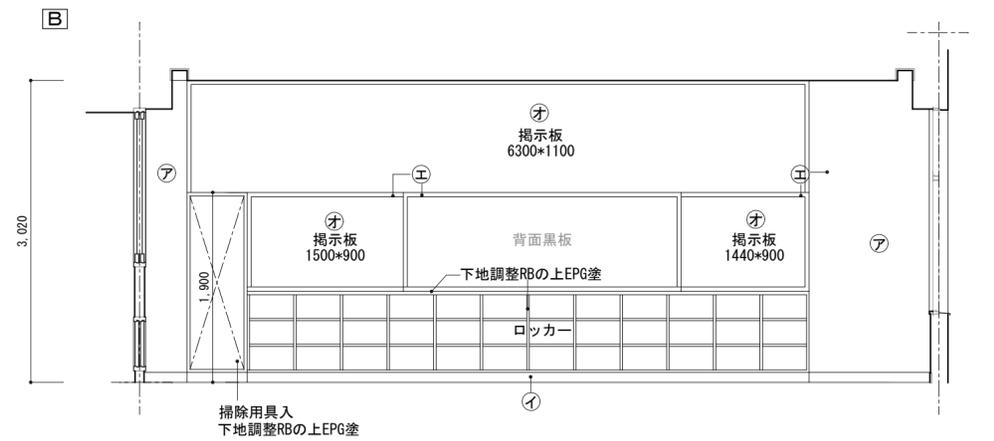
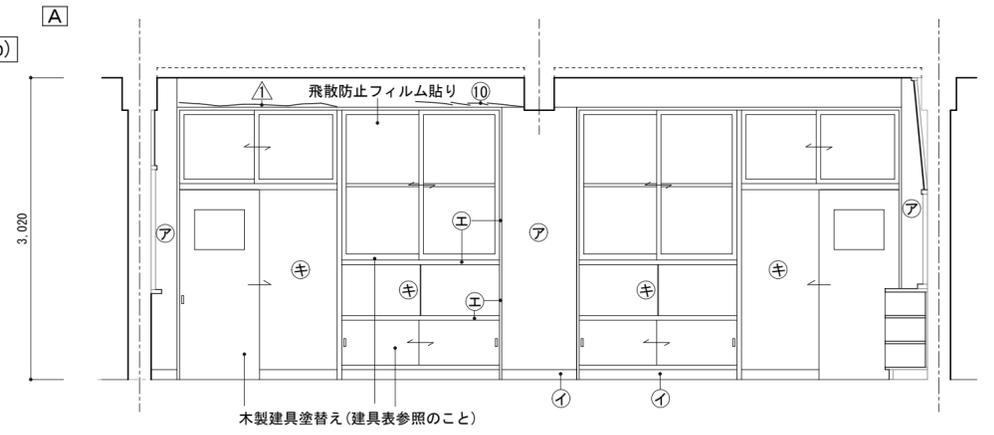


普通教室(2-b)



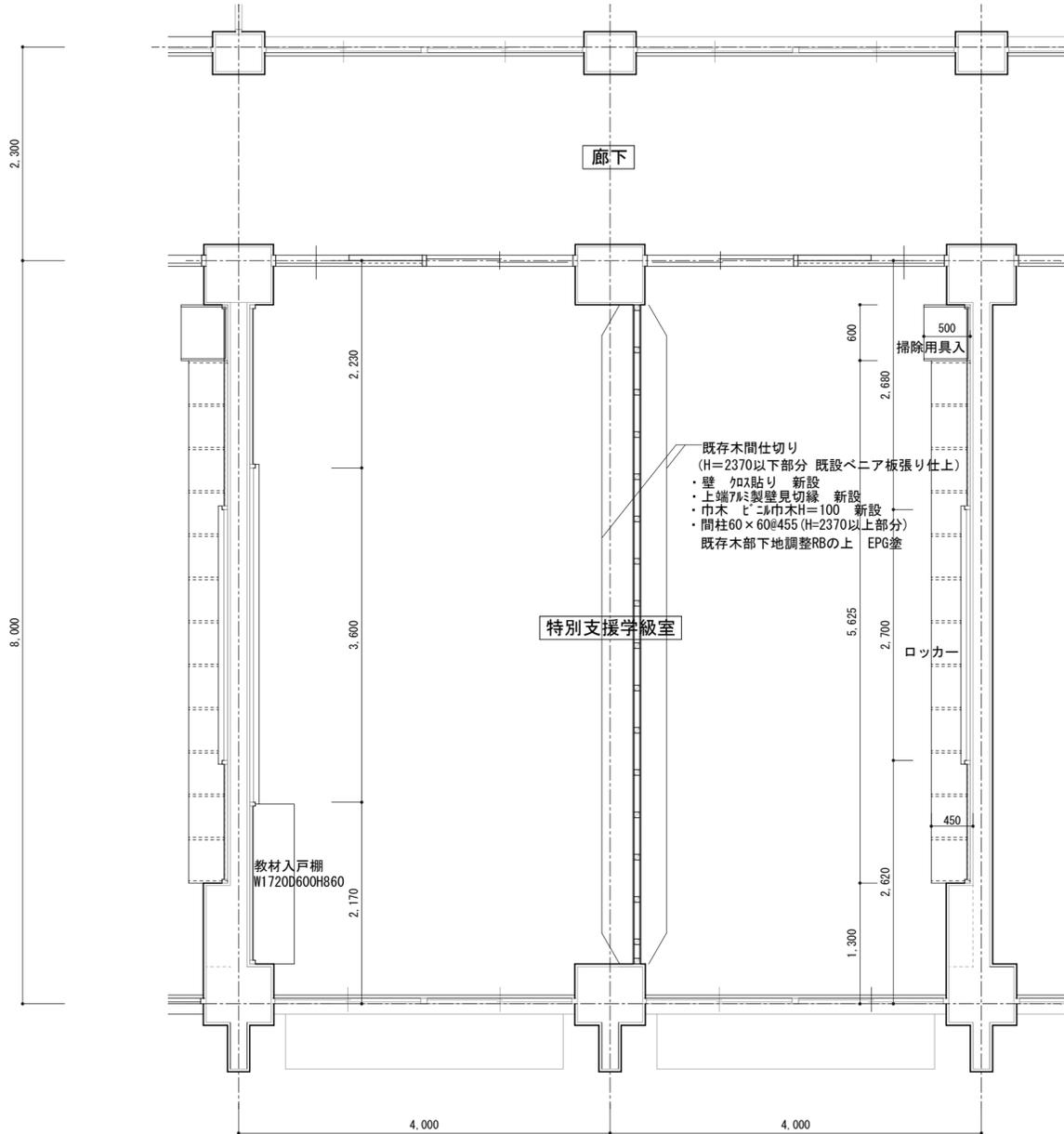
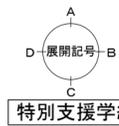
※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。



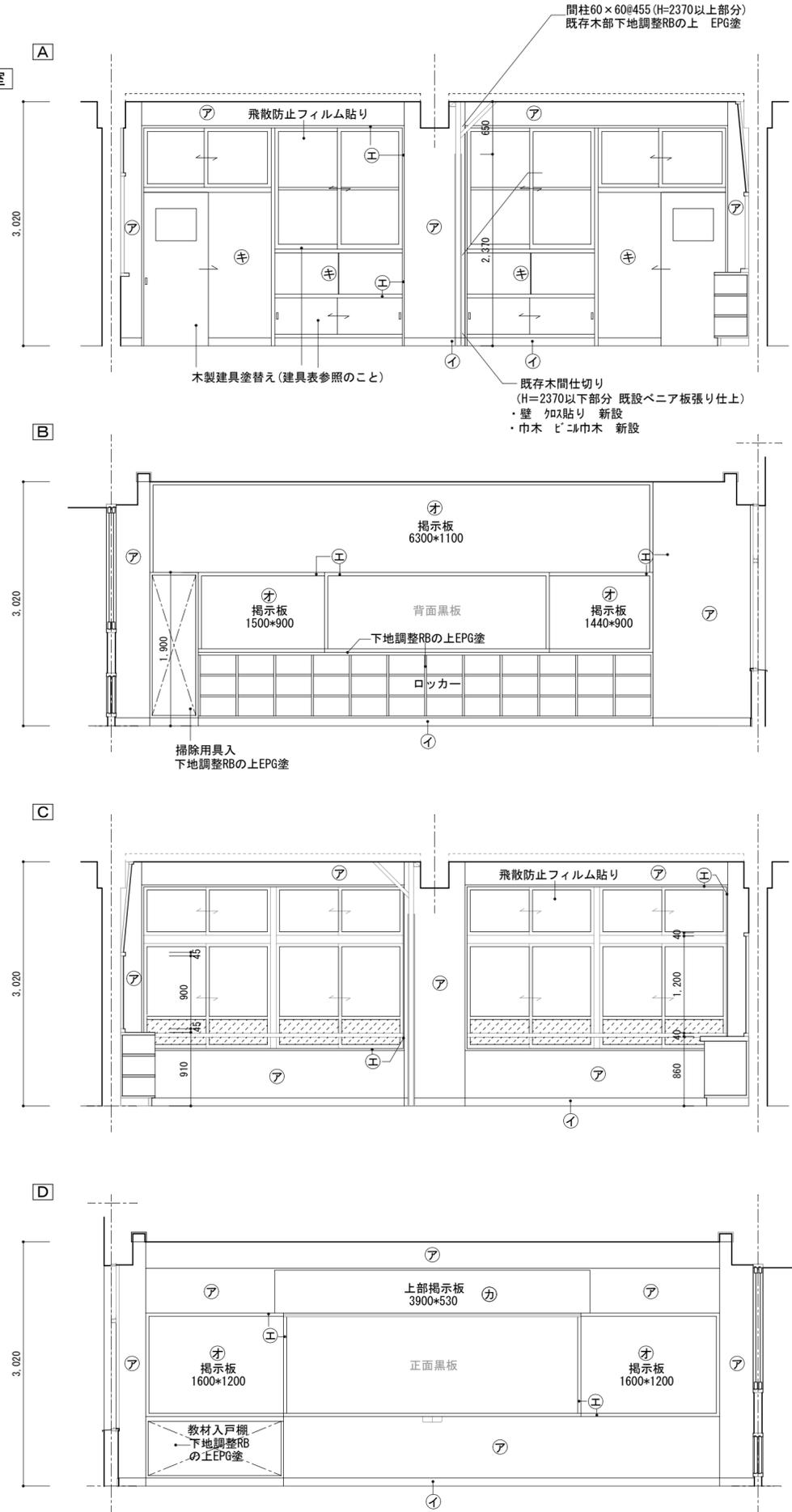
■仕上表

部位	(改修前)仕様	(改修後)仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ボ-ダー部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	イ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木柵	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ柵新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	キ



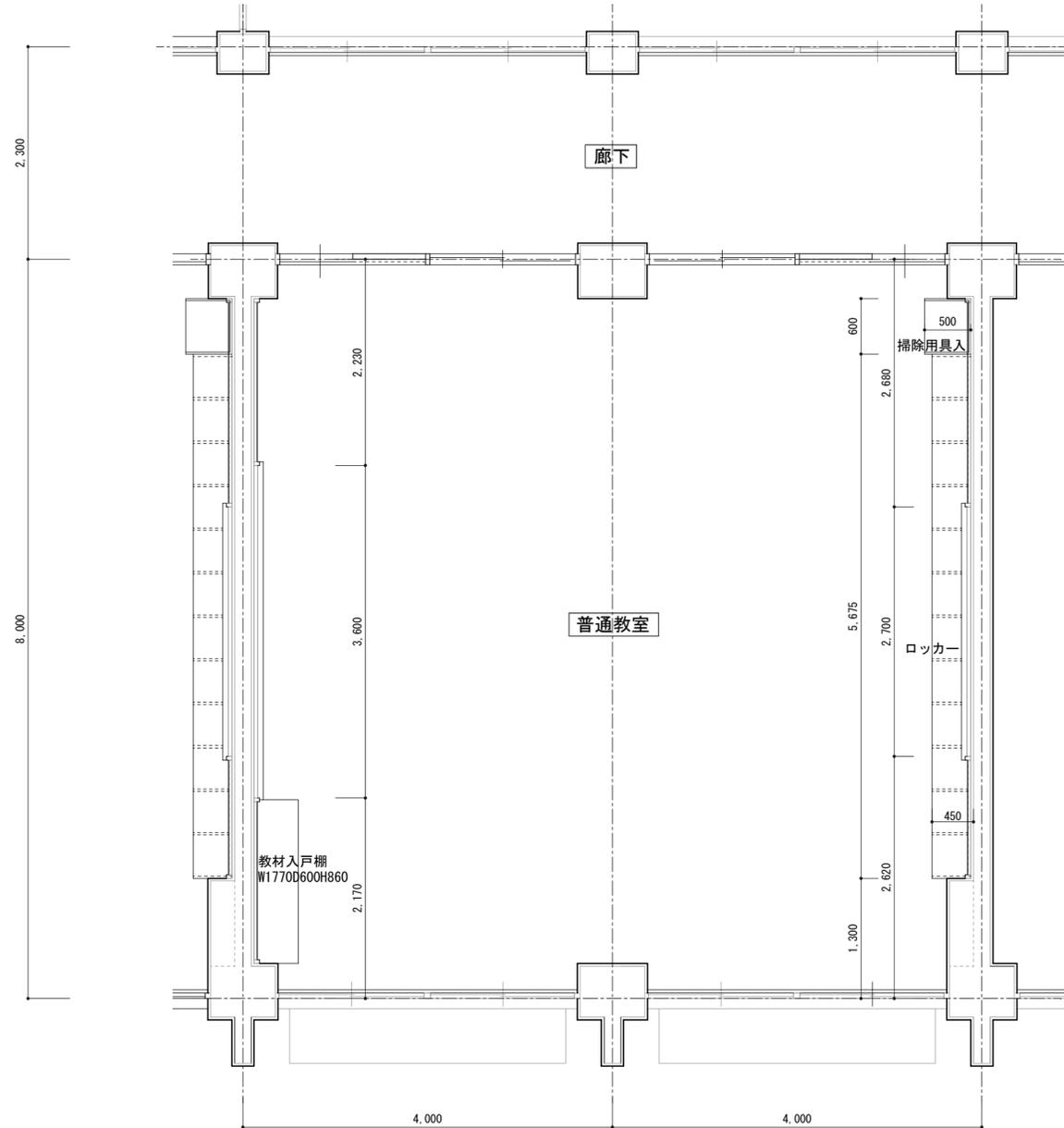
※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- スリガラス面を示す
- 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。



■仕上表

部位	(改修前)仕様	(改修後)仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ポスター部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	イ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	カ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	キ

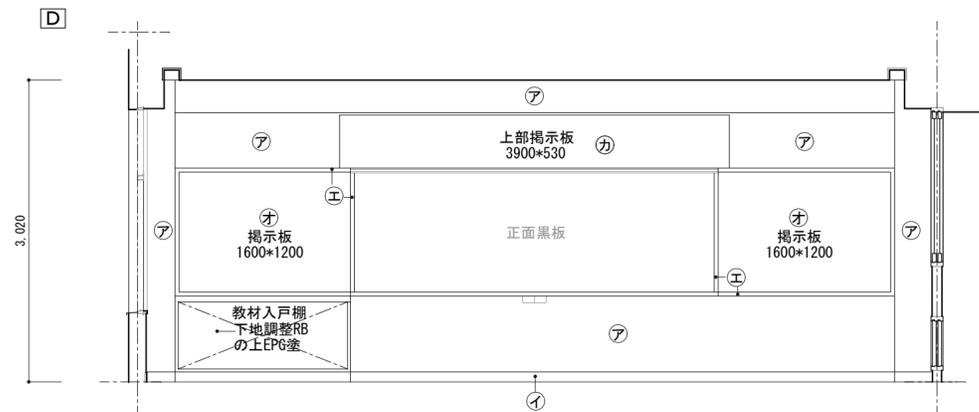
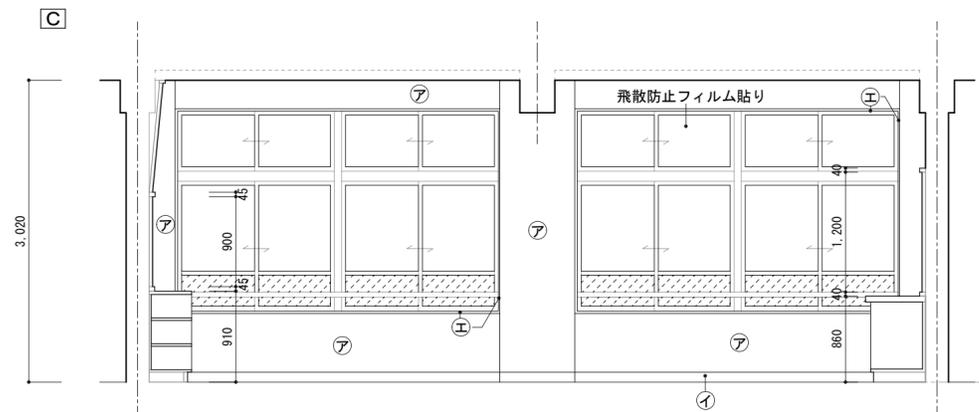
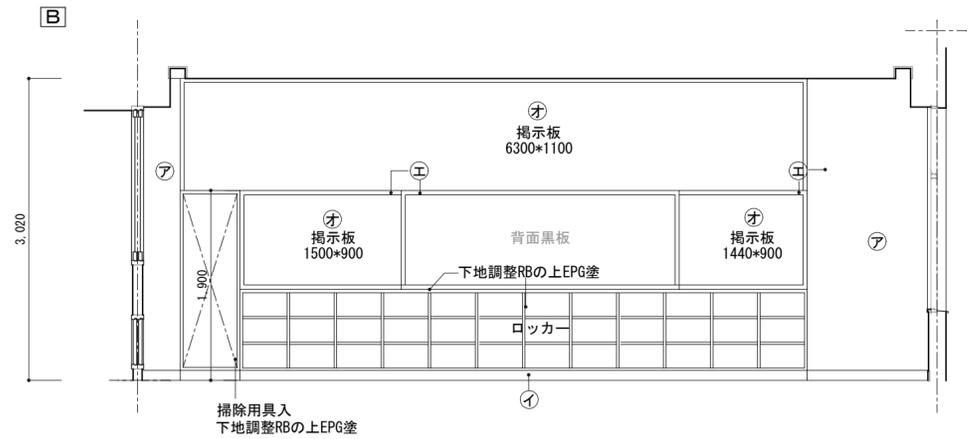
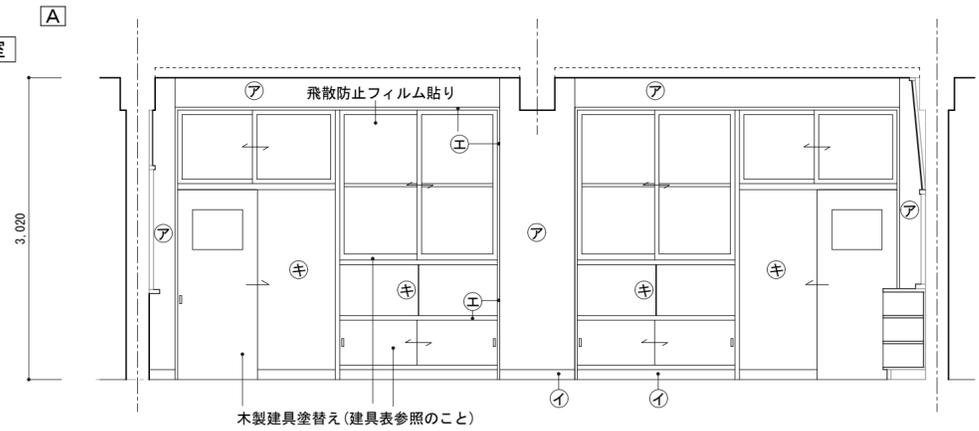


※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。



普通教室

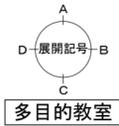


■仕上表

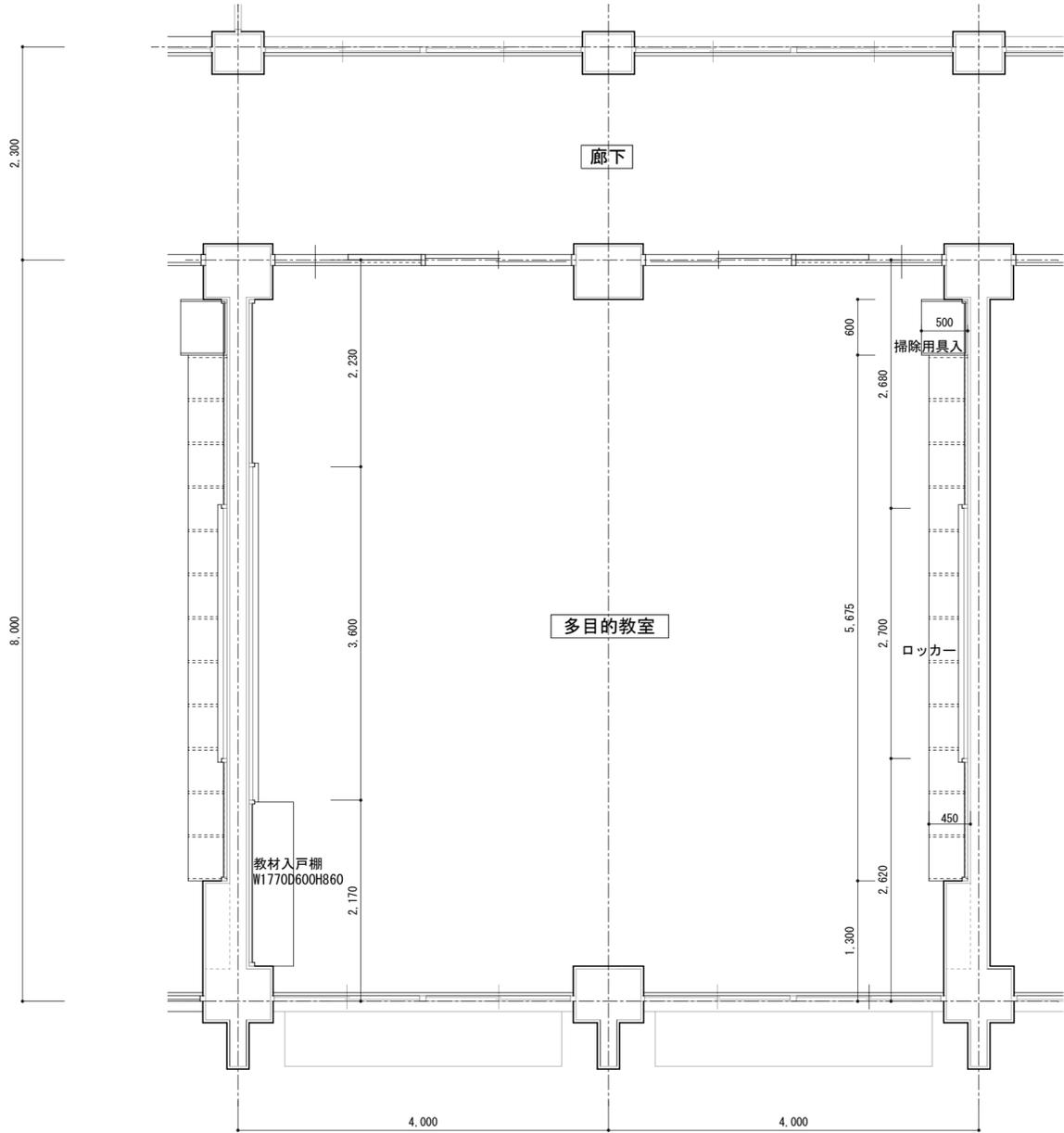
部位	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ボデー部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	ウ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	ク

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法	⑪	0.30 + 0.10	6

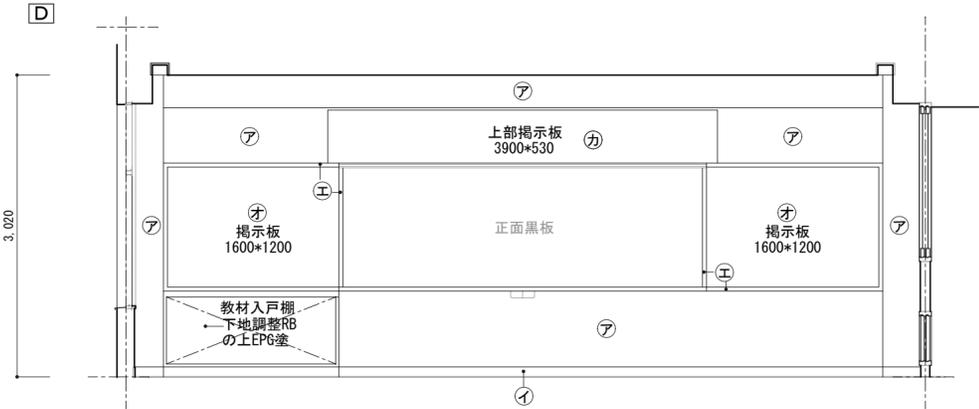
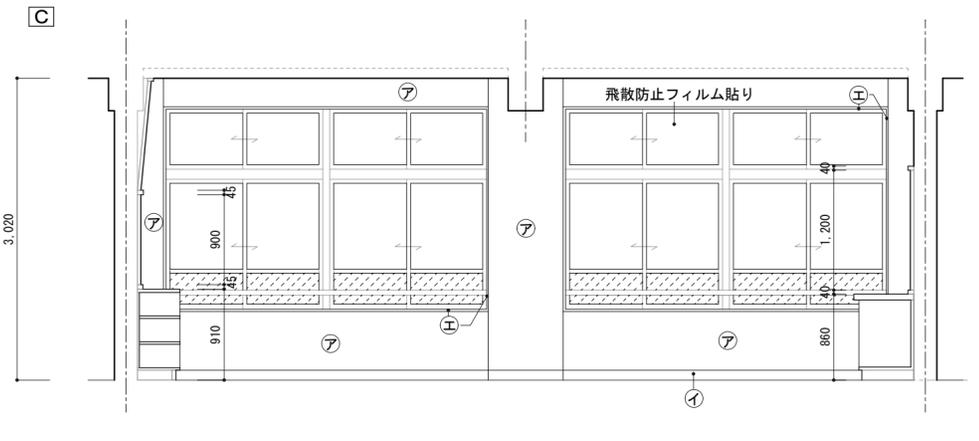
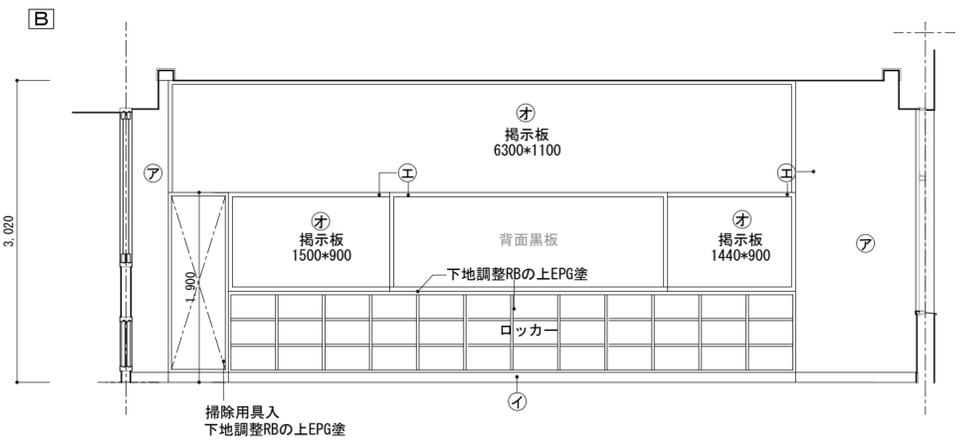
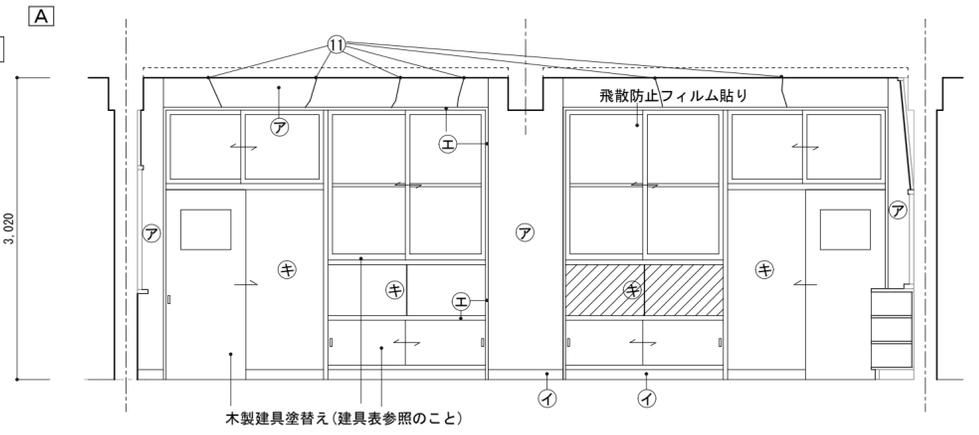


多目的教室



※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。

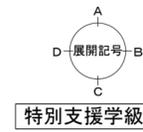


■仕上表

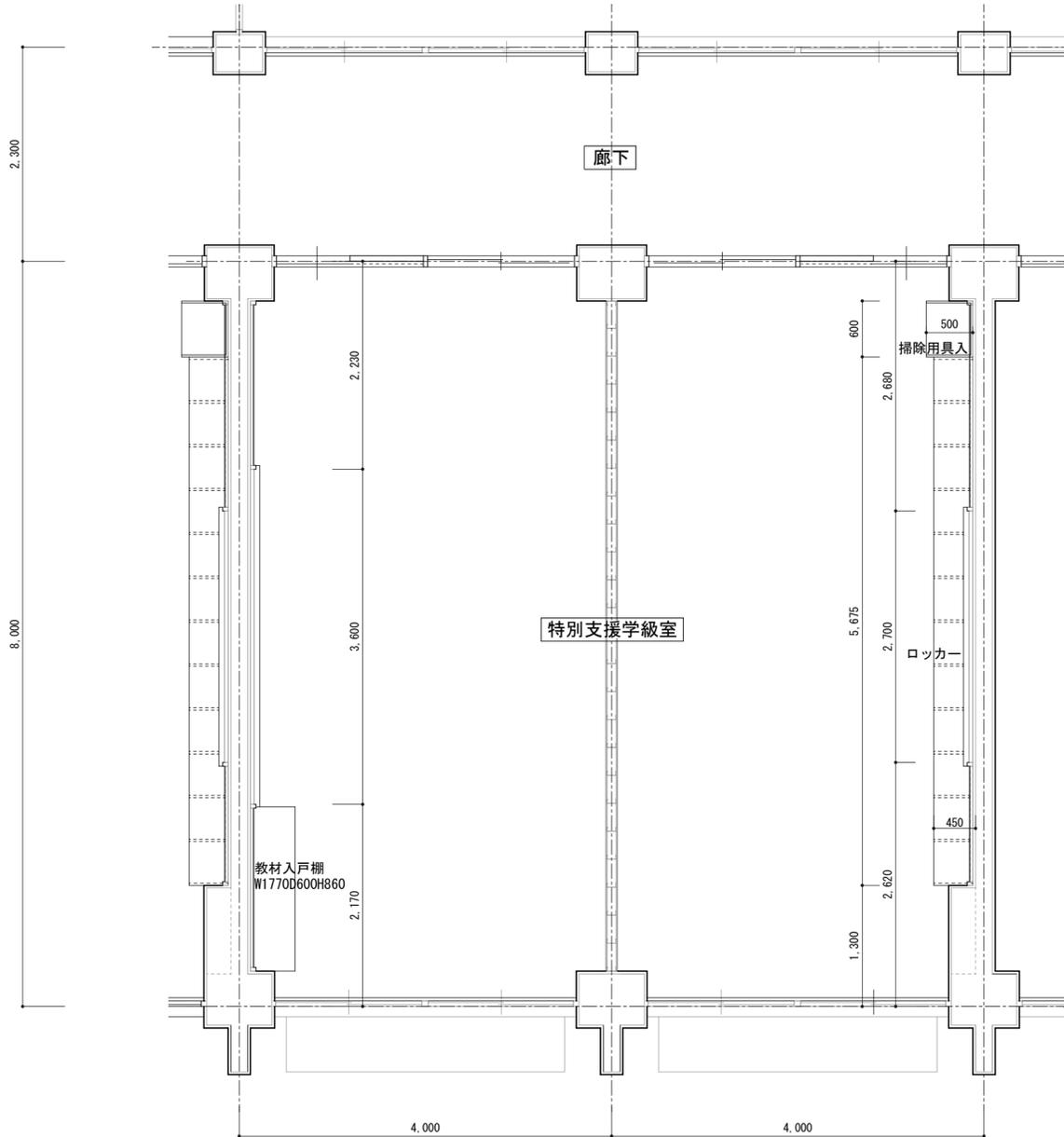
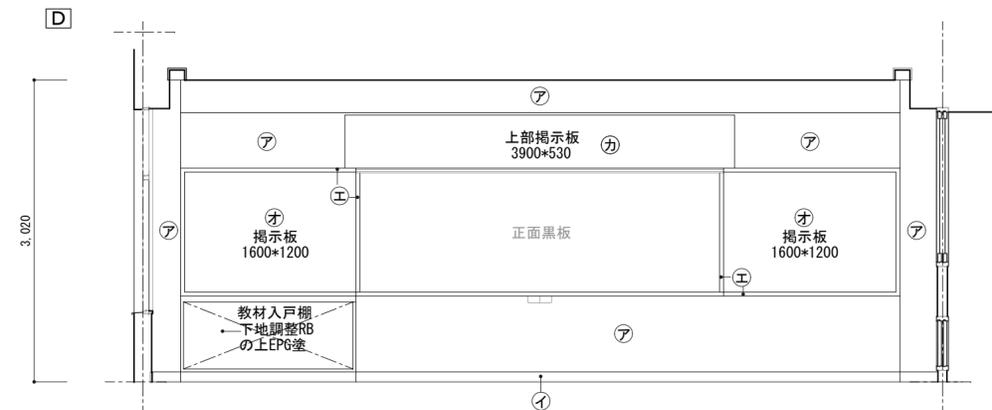
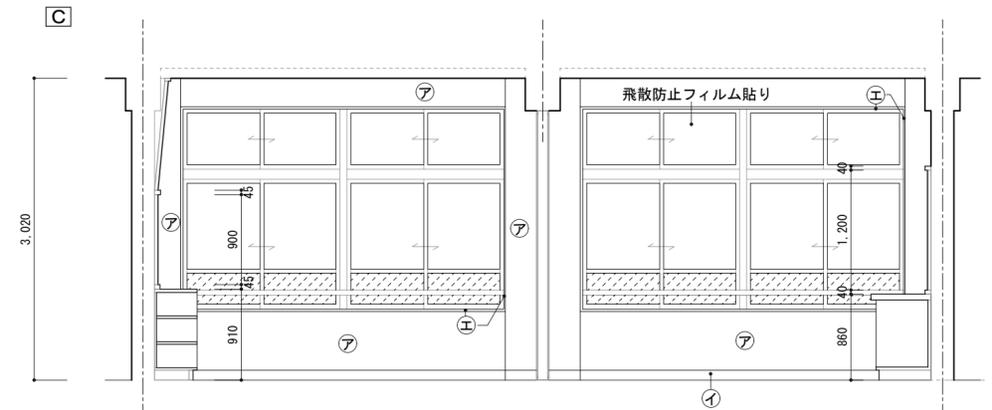
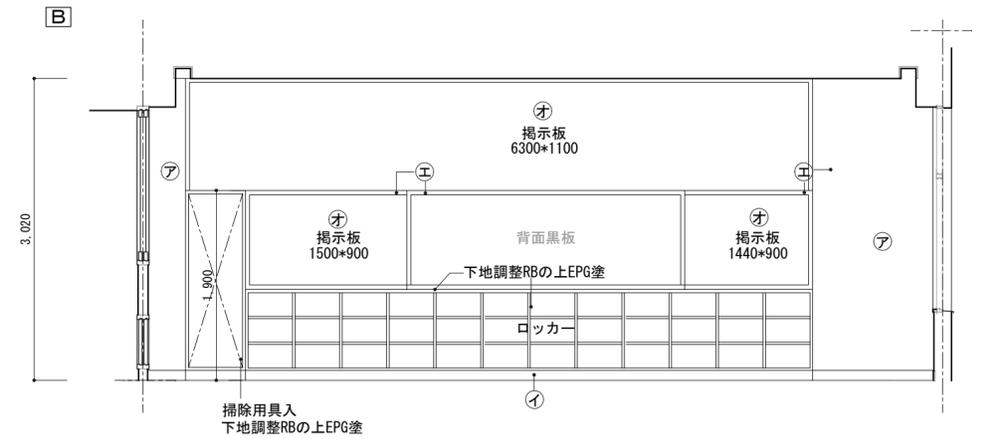
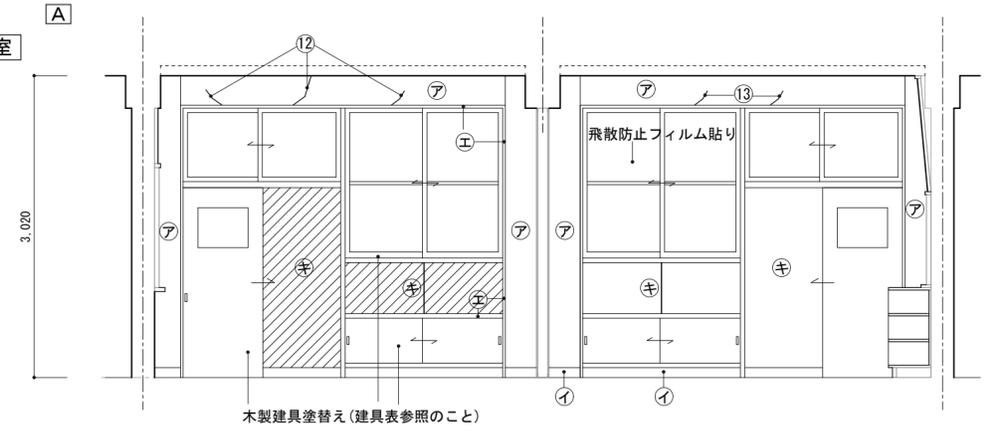
部位	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様	記号
床	ナラフローリングブロック OSWAX塗	—	
壁	モルタル金コテ VP塗 柱型 モルタル金コテ VP塗	既設モルタル下地調整RBの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張EP塗 (ボーダー部 無孔) 梁型 プラスター塗	既設ボード下地調整RCの上 EP塗 梁型 下地調整RBの上 EP塗	ウ ア
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
掲示板	合板厚6下地布張	掲示クロス張替え	オ
上部掲示板	合板素地	掲示クロス貼り(アルミ枠新設)	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	ク

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
		⑫	0.20 + 0.40 + 0.20	1
		⑬	0.30 + 0.30	1
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			



特別支援学級室



※特記・凡例

- ・教室に面するガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(アルミパネルを除く。パネル位置は立面図参照のこと)
- : スリガラス面を示す
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

4階(特別支援学級室) 平面詳細図・展開図

scale S = 1:50

NO. 原図: A2

date

A-36

■仕上表

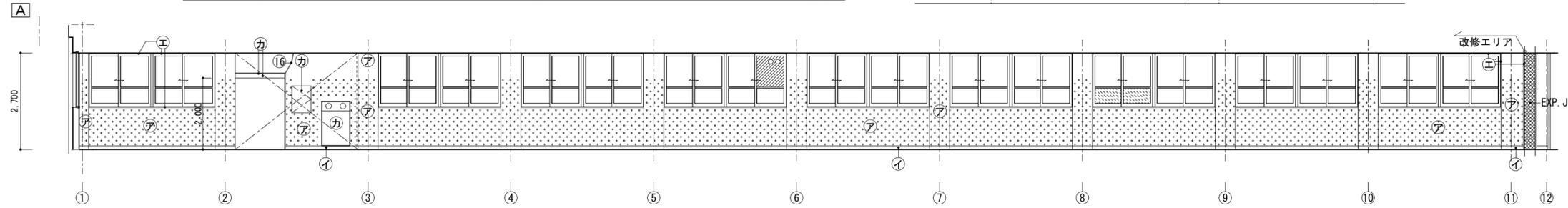
部位	(改修前)仕様	(改修後)仕様	記号
床	塩ビタイル厚2 WAX	— (撤去・新設部:「改修 昇降口矩計図参照」)	
壁	モルタル金コテ VP塗	特記以外:既設モルタル下地調整RBの上 EP塗 □部:既設モルタル下地調整RAの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張 EP塗(ボーダー部 無孔)	既設ボード下地調整RCの上 EP塗	ウ
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
設備盤・BOX	スチール OP塗	既設スチール下地調整RBの上 EPG塗	カ
スチール枠	スチール OP塗	既設スチール下地調整RBの上 EPG塗	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EPG塗	キ

■欠損部・クラック調査結果

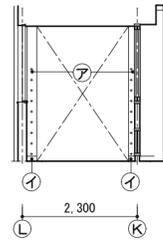
状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル充填			
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	⑭	0.30	1
		⑮	0.90	1
		⑯	0.60	1
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			



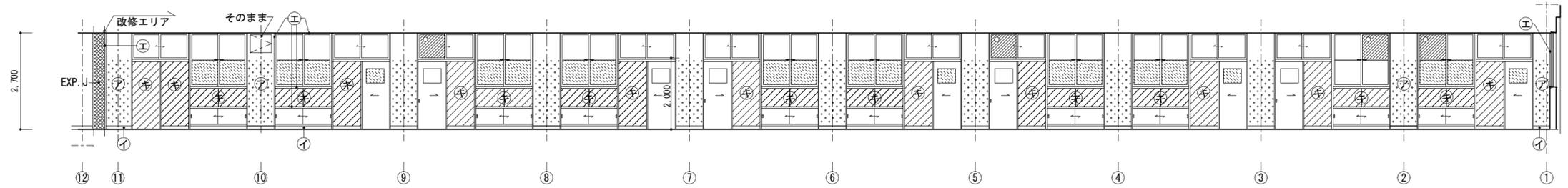
2階廊下



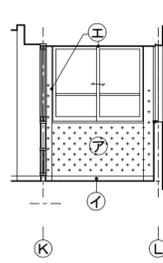
B



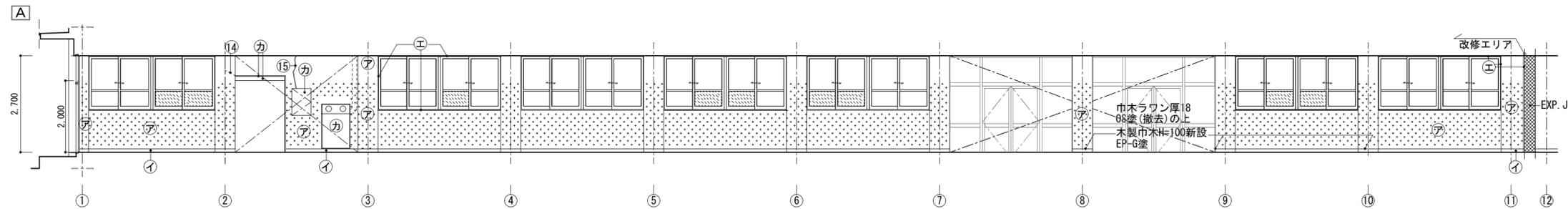
C



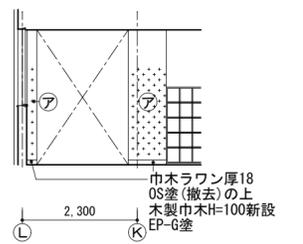
D



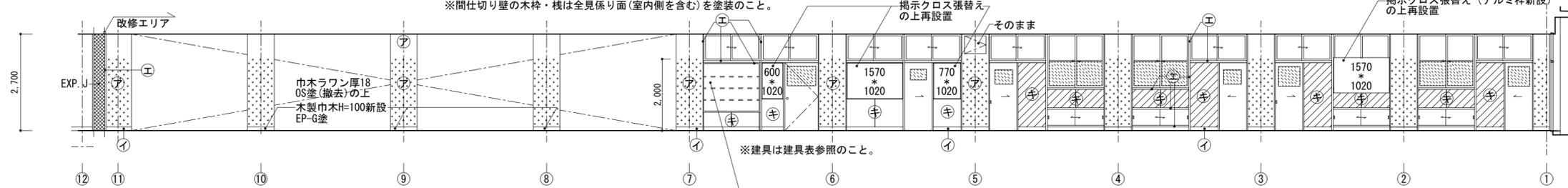
1階廊下



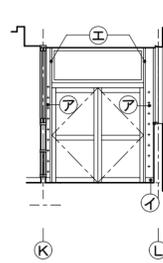
B



C



D



※特記・凡例

- 改修エリア内の廊下のサッシはガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(斜線部:アルミパネル、斜線部:アクリルパネルを除く。)
- 既存のままを示す
- 特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。
- 改修エリア内の盤(※特記以外)、消火栓BOX等は塗替えとする。
- 斜線部:スリガラス部を示す
- 斜線部:仕上材撤去、張替えを示す

■仕上表

部 位	(改修前) 仕 様	(改修後) 仕 様	記号
床	塩ビタイル厚2 WAX	— (撤去・新設部:「改修 昇降口矩計図参照」)	
壁	モルタル金コテ VP塗	特記以外:既設モルタル下地調整RBの上 EP塗 [点線]部:既設モルタル下地調整RAの上 EP塗	ア
天井	有孔石膏ボード目透し張 EP塗(ボーダー部 無孔)	既設ボード下地調整RCの上 EP塗	ウ
巾木	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	イ
木枠	ラワンOP塗	既設木部下地調整RBの上 EPG塗	エ
設備盤・BOX	スチール OP塗	既設スチール下地調整RBの上 EPG塗	カ
スチール枠	スチール OP塗	既設スチール下地調整RBの上 EPG塗	カ
間仕切り壁	品合板目透し厚6張VP塗	既設合板下地調整RBの上 EPG塗	キ
	品合板目透し厚6張VP塗(撤去)	品合板厚6張替え EP塗	キ

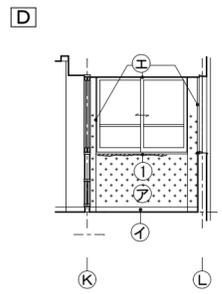
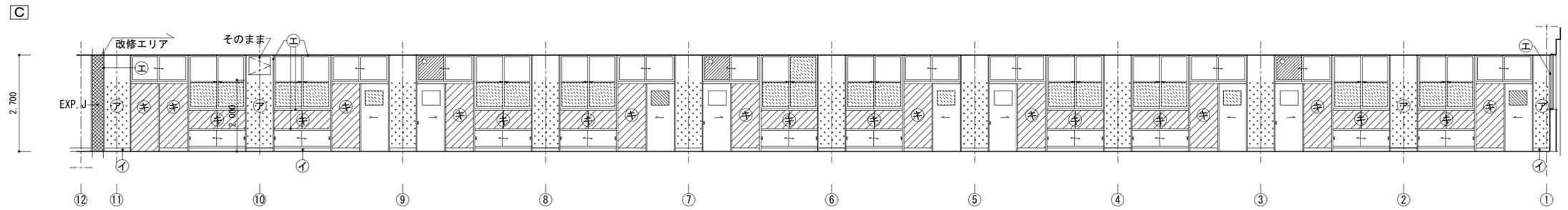
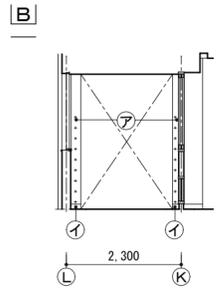
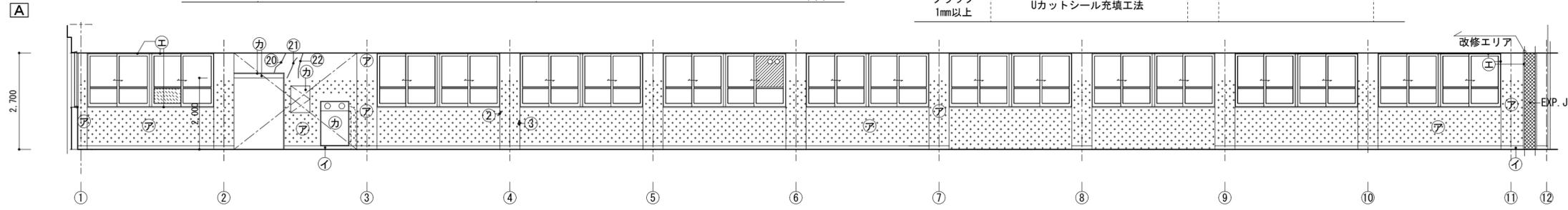
■欠損部・クラック調査結果

状 態	改 修 仕 様	記号	実測値(m)	個数
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	⑭	0.30	1
		⑮	0.90	1
		⑯	0.60	1
		⑰	0.50	1
		⑱	0.70	1
		⑲	0.40	1
		⑳	0.16 + 0.60	1
		㉑	0.60	1
		㉒	0.70	1
		クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法	

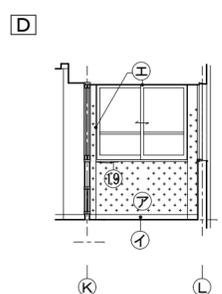
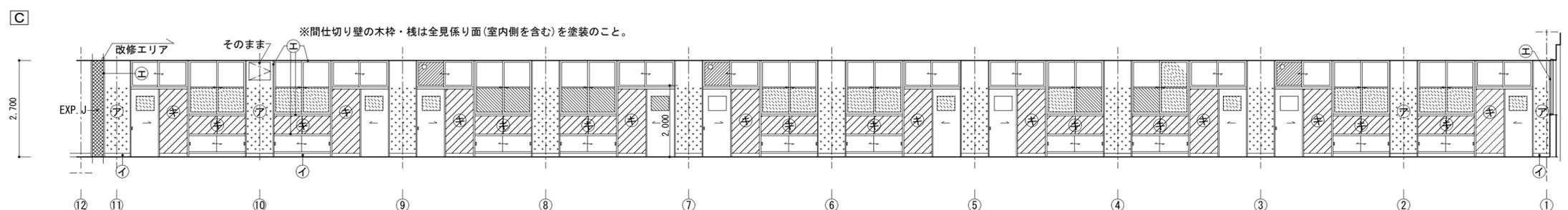
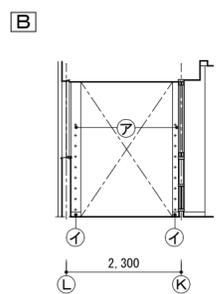
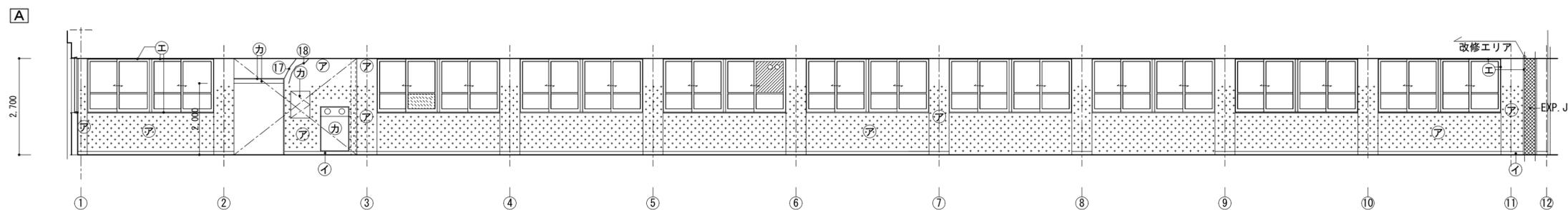
状 態	改 修 仕 様	記号	実測値(m)	個数
欠 損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填	①	1.40 * 0.02 * 0.02	1
		②	0.07 * 0.08 * 0.02	1
		③	0.07 * 0.12 * 0.03	1



4階廊下



3階廊下



※特記・凡例

- ・改修エリア内の廊下のサッシはガラス面全て飛散防止フィルム貼りとする。(斜線部:アルミパネル、斜線部:アクリルパネルを除く。)
- : 既存のままを示す
- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。
- ・改修エリア内の盤(※特記以外)、消火栓BOX等は塗替えとする。
- [斜線]: 仕上材撤去、張替えを示す
- [斜線]: スリガラス部を示す

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

3階・4階 廊下 展開図

scale S = 1:100

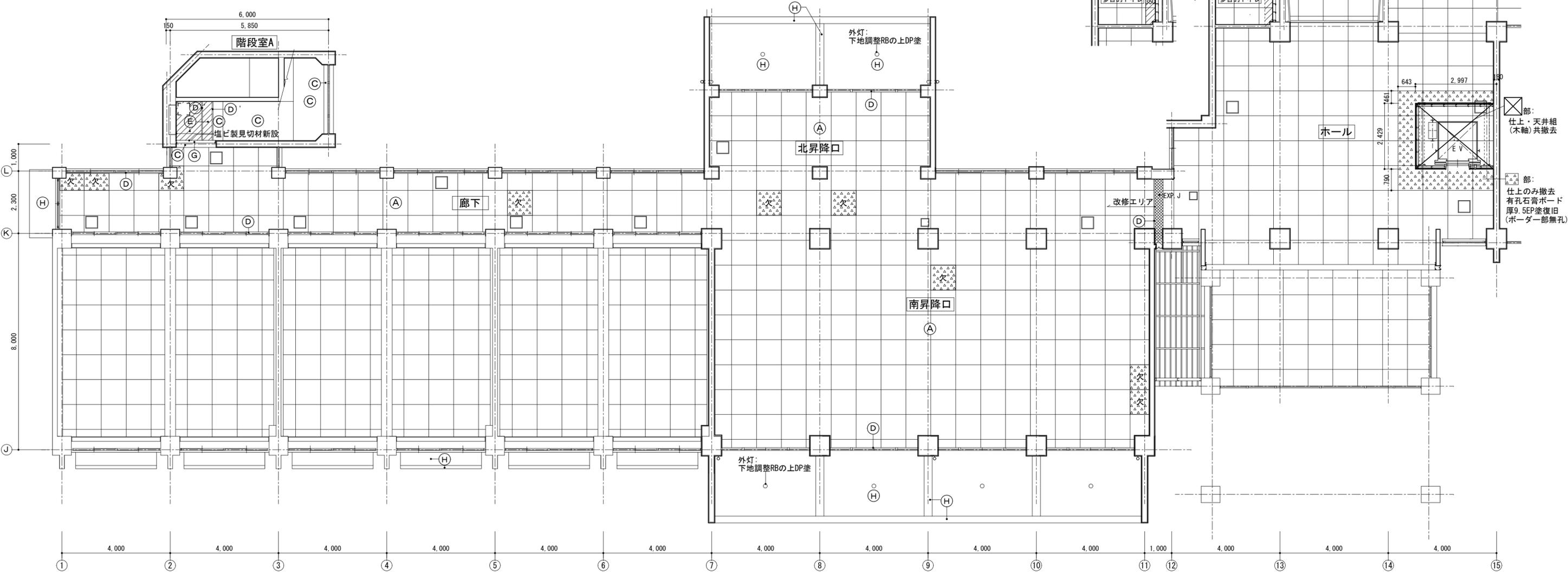
NO. 原図: A2

date

A-38

■仕上表

記号	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様
Ⓐ	有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗 (ポーター部 無孔)	既設ボード 下地調整RCの上 EP塗
Ⓑ	梁型: プラスター塗	既設コンクリート 下地調整RBの上 EP塗
Ⓒ	モルタル金ゴテ VP塗	既設モルタル 下地調整RBの上 EP塗
Ⓓ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓔ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 水性OS塗
Ⓕ	木部 OS塗 (撤去)	木製見切新設の上 EPG塗
Ⓖ	テーパーボード(アスベスト含有)VP塗 ステップル仕上 (撤去)	ボードのみ撤去 石膏ボード厚9.5張 EP塗
Ⓕ	化粧石膏ボード厚9.5張り	仕上、下地共撤去・復旧
Ⓖ	スチール枠 OP塗	既設スチール部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓕ	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	高圧洗浄 下地調整C-1 外装薄塗材E 吹付



■特記・凡例

- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。
- ※取外し再設置の設備は設備図参照のこと。

- : 既存のままを示す
- : 既存天井点検口を示す
- : 新設天井点検口を示す
- ⊗: ボード欠損部を示す。撤去の上、有孔石膏ボード厚9.5張替え
- ⊗: 仕上のみ撤去 有孔石膏ボード厚9.5復旧箇所を示す (ポーター部無孔)

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

1階 天井伏図

scale S = 1:100

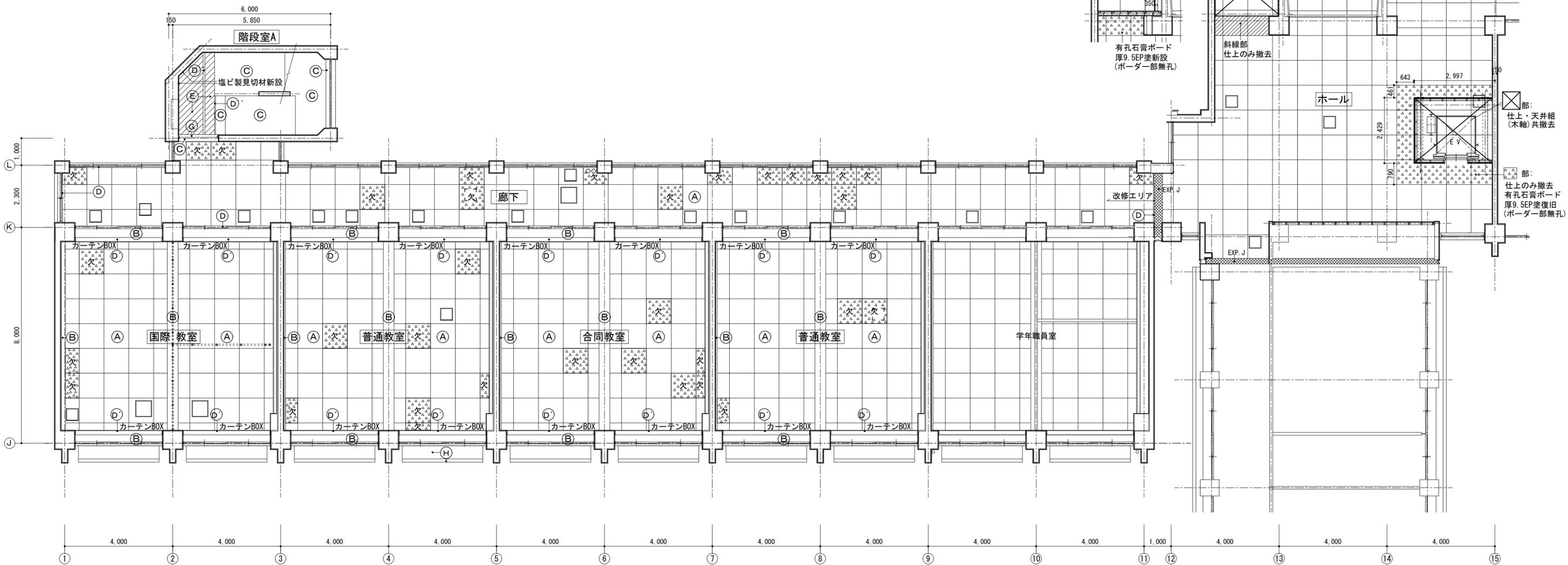
NO. 原図: A2

date

A-39

■仕上表

記号	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様
Ⓐ	有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗 (ポーター部 無孔)	既設ボード 下地調整RCの上 EP塗
Ⓑ	梁型: プラスター塗	既設コンクリート 下地調整RBの上 EP塗
Ⓒ	モルタル金ゴテ VP塗	既設モルタル 下地調整RBの上 EP塗
Ⓓ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓔ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 水性OS塗
Ⓕ	木部 OS塗 (撤去)	木製見切新設の上 EPG塗
Ⓖ	テーパーボード(アスベスト含有)VP塗 ステップル仕上 (撤去)	ボードのみ撤去 石膏ボード厚9.5張 EP塗
Ⓗ	化粧石膏ボード厚9.5張り	仕上、下地共撤去・復旧
Ⓖ	スチール枠 OP塗	既設スチール部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓖ	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	高圧洗浄 下地調整C-1 外装薄塗材E 吹付



■特記・凡例

- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。
- ※取外し再設置の設備は設備図参照のこと。

- : 既存のままを示す
- : 既存天井点検口を示す
- : 新設天井点検口を示す
- ⊗: ボード欠損部を示す。撤去の上、有孔石膏ボード厚9.5張替え
- ⊗: 仕上のみ撤去 有孔石膏ボード厚9.5復旧箇所を示す (ポーター部無孔)

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

2階 天井伏図

scale S = 1:100

NO. 原図: A2

date

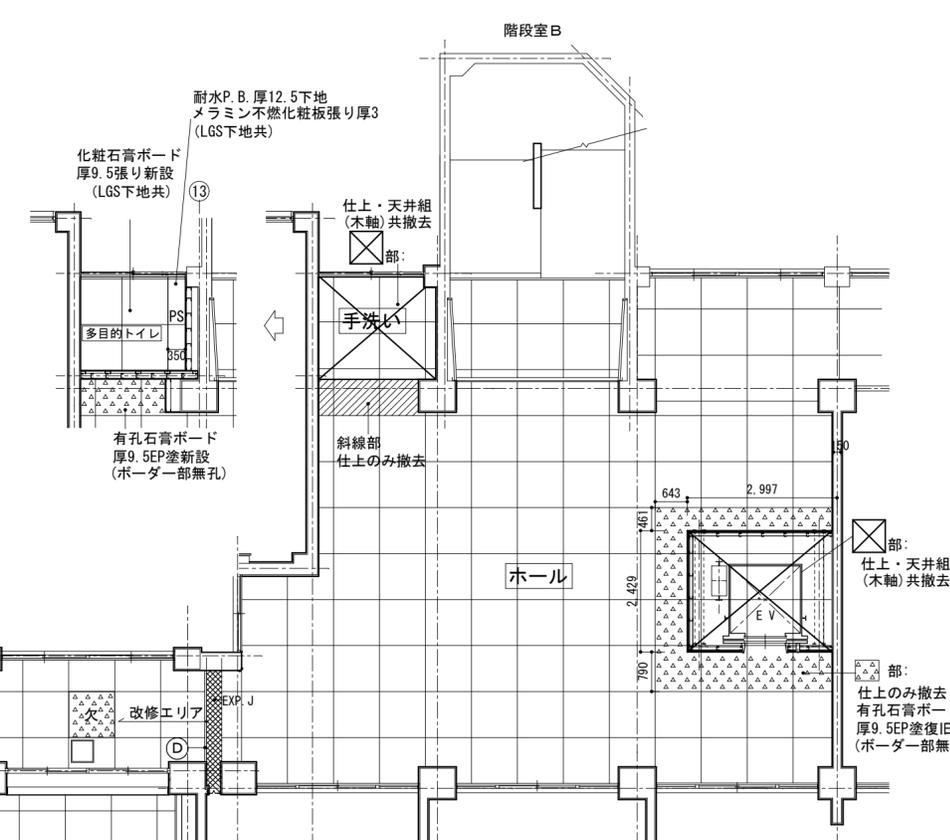
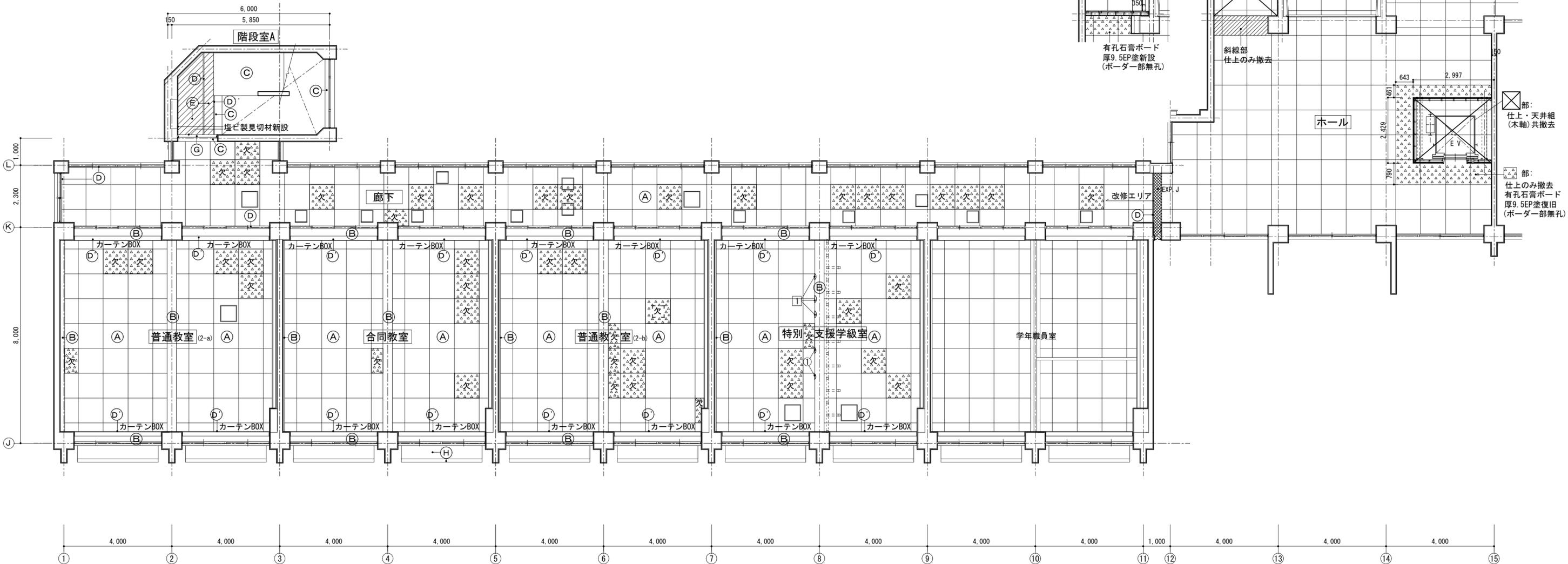
A-40

■仕上表

記号	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様
Ⓐ	有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗 (ポーター部 無孔)	既設ボード 下地調整RCの上 EP塗
Ⓑ	梁型: プラスター塗	既設コンクリート 下地調整RBの上 EP塗
Ⓒ	モルタル金ゴテ VP塗	既設モルタル 下地調整RBの上 EP塗
Ⓓ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓔ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 水性OS塗
Ⓕ	木部 OS塗 (撤去)	木製見切新設の上 EPG塗
Ⓖ	テーパーボード(アスベスト含有)VP塗 ステップル仕上 (撤去)	ボードのみ撤去 石膏ボード厚9.5張 EP塗
Ⓕ	化粧石膏ボード厚9.5張り	仕上、下地共撤去・復旧
Ⓖ	スチール枠 OP塗	既設スチール部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓕ	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	高圧洗浄 下地調整C-1 外装薄塗材E 吹付

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル充填	1	0.03 * 0.02	5
クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			



■特記・凡例

・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。
 ※取外し再設置の設備は設備図参照のこと。

- : 既存のままを示す
- : 既存天井点検口を示す
- : 新設天井点検口を示す
- ⊗: ボード欠損部を示す。撤去の上、有孔石膏ボード厚9.5張替え
- ⊗: 仕上のみ撤去 有孔石膏ボード厚9.5復旧箇所を示す (ポーター部無孔)

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
 Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

3階 天井伏図

scale S = 1:100

NO. 原図: A2

date

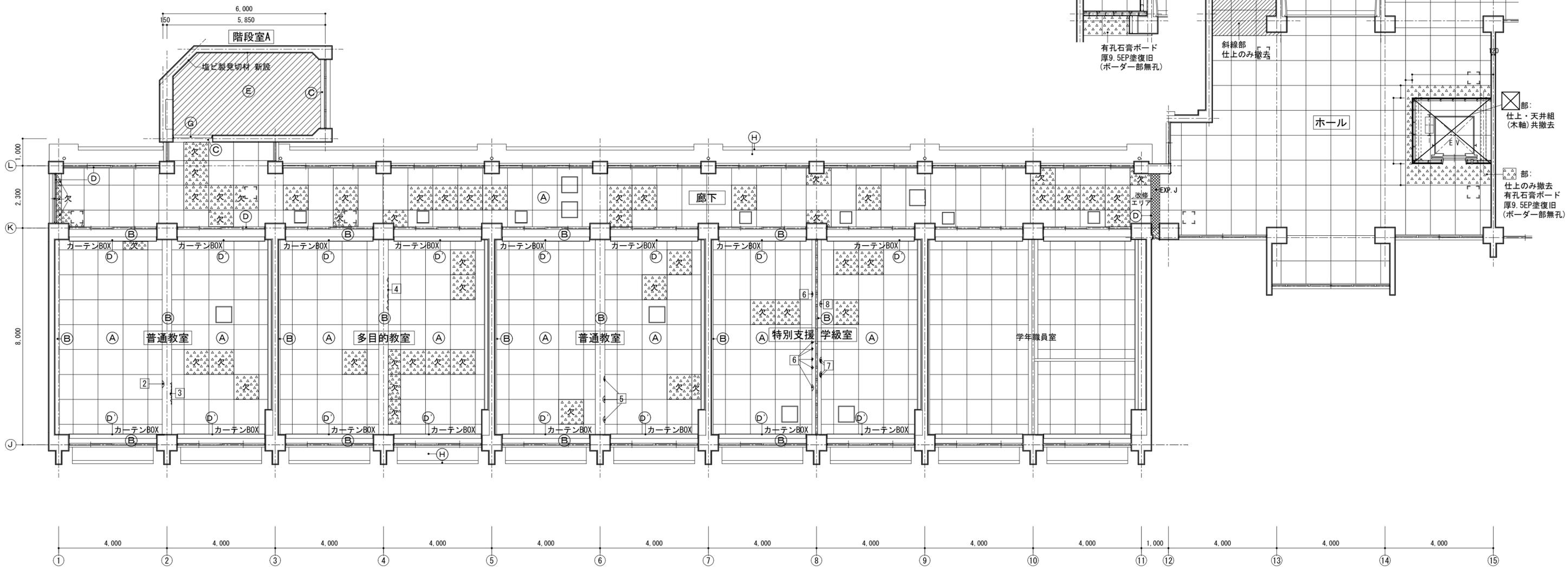
A-41

■仕上表

記号	(改修前) 仕様	(改修後) 仕様
Ⓐ	有孔石膏ボード厚9.5目透し張 EP塗 (ポーター部 無孔)	既設ボード 下地調整RCの上 EP塗
Ⓑ	梁型: プラスター塗	既設コンクリート 下地調整RBの上 EP塗
Ⓒ	モルタル金ゴテ VP塗	既設モルタル 下地調整RBの上 EP塗
Ⓓ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓔ	木部 OS塗	既設木部 下地調整RBの上 水性OS塗
Ⓕ	テーバーボード(アスベスト含有)VP塗 ステップル仕上(撤去)	ボードのみ撤去 石膏ボード厚9.5張 EP塗
Ⓖ	化粧石膏ボード厚9.5張り	仕上、下地共撤去・復旧
Ⓙ	スチール枠 OP塗	既設スチール部 下地調整RBの上 EPG塗
Ⓚ	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	高圧洗浄 下地調整C-1 外装薄塗材E 吹付

■欠損部・クラック調査結果

状態	改修仕様	記号	実測値(m)	個数
欠損	露出鉄筋防錆処理の上、 エポキシ樹脂モルタル充填	2	0.04 * 0.02	1
		3	0.05 * 0.02	8
		4	0.03 * 0.02	6
		5	0.03 * 0.02	3
		6	0.05 * 0.03	6
		7	0.04 * 0.02	4
		8	0.04 * 0.02	1
		クラック 1mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	
クラック 1mm以上	Uカットシール充填工法			



■特記・凡例

- ・特記以外の設備配管等は養生を行い脱着しないものとする。
- ※取外し再設置の設備は設備図参照のこと。

- : 既存のままを示す
- : 既存天井点検口を示す
- : 新設天井点検口を示す
- 欠: ボード欠損部を示す。
- Ⓚ: 仕上のみ撤去 有孔石膏ボード厚9.5復旧箇所を示す (ポーター部無孔)

景 設 計 室

三重県津市河芸町西千里 1510番地 1
Tel:059-269-5074 Mail:ksekkei-shitsu@almond.ocn.ne.jp

津市立東橋内中学校長寿命化改修工事

一級建築士 第312324号 竹内 裕子

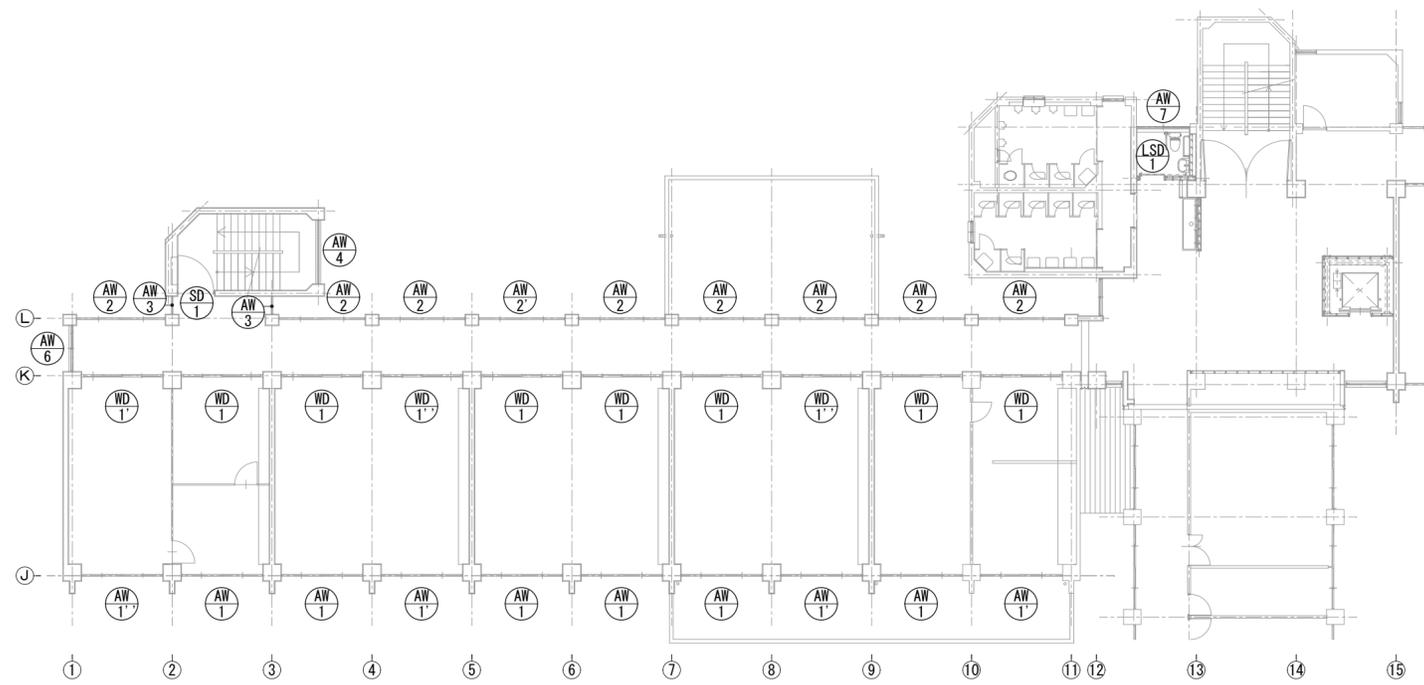
4階 天井伏図

scale S = 1:100

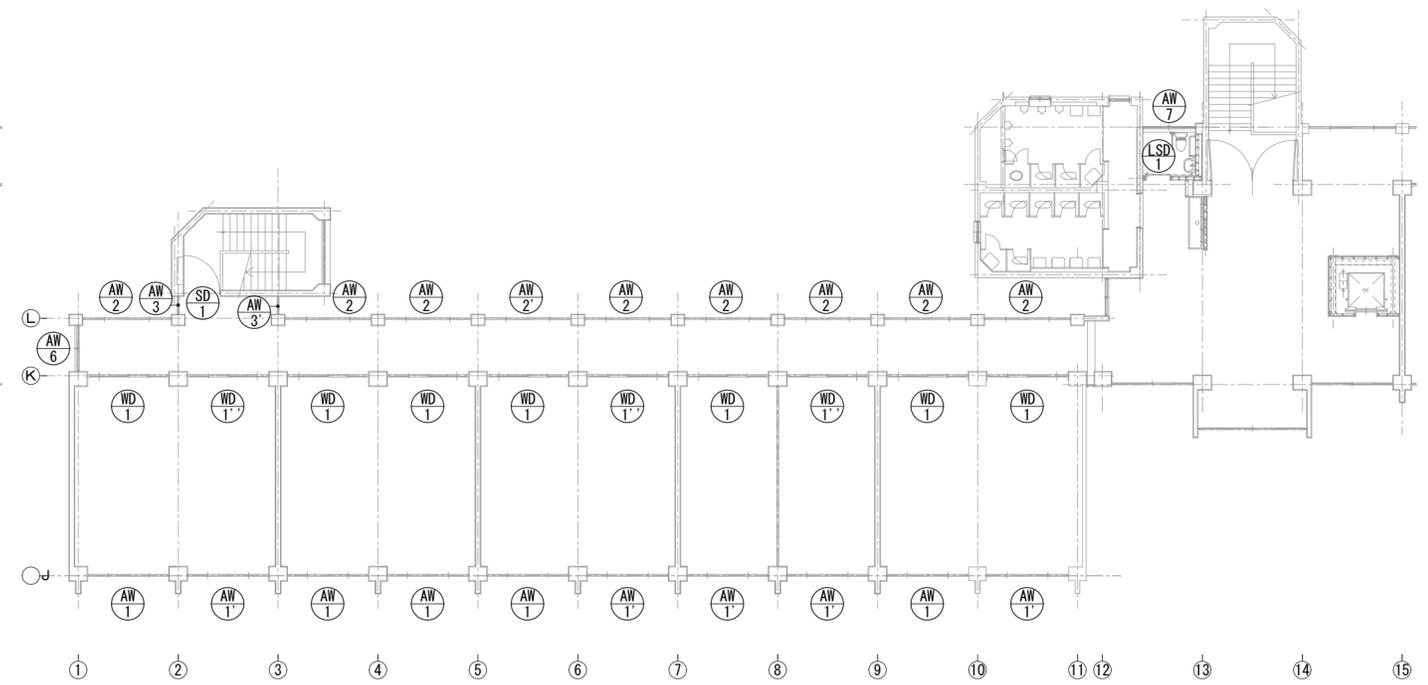
NO. 原図: A2

date

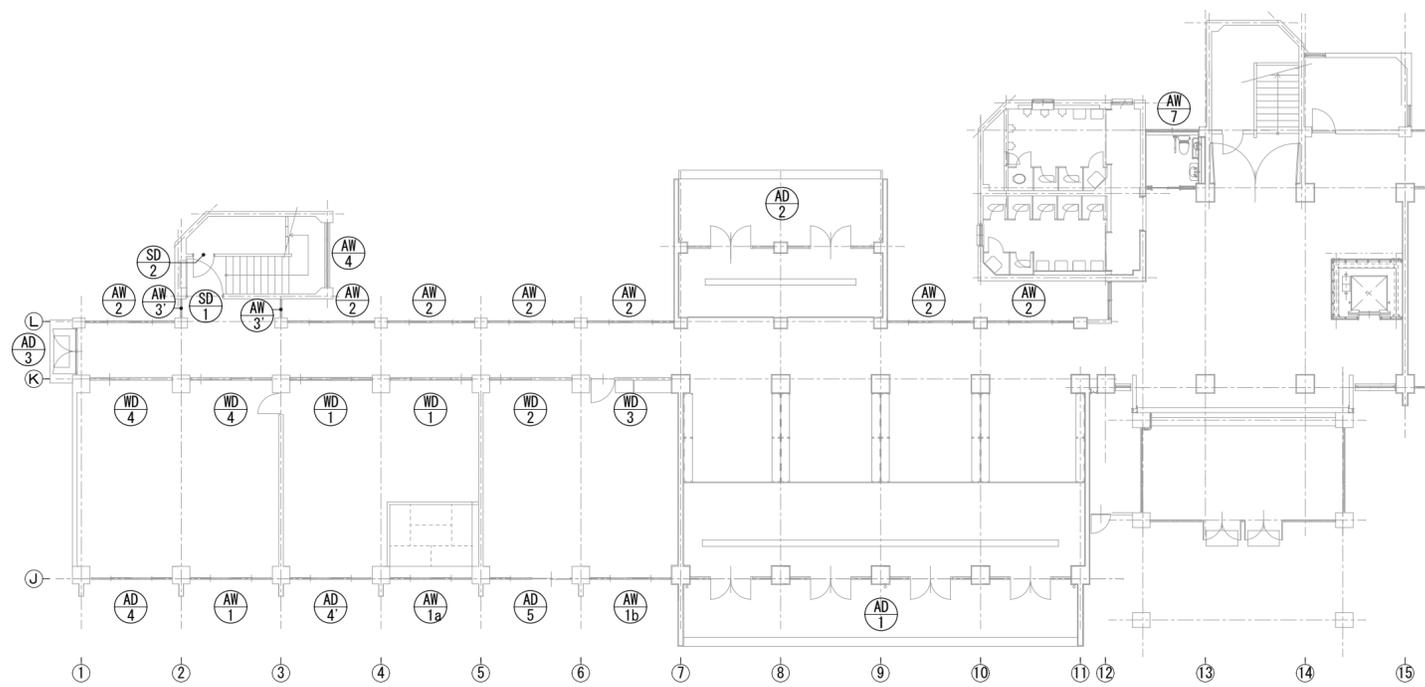
A-42



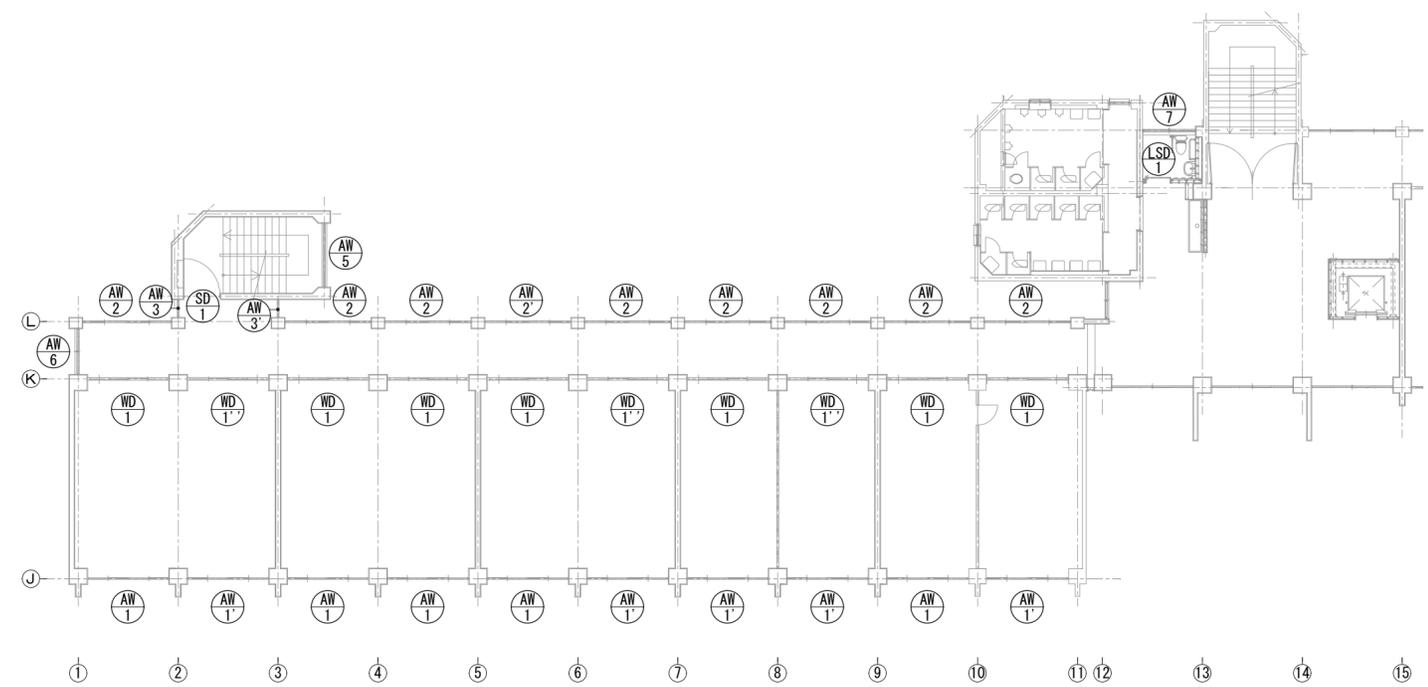
2階平面図



4階平面図



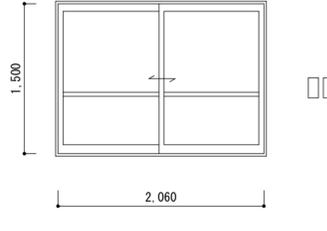
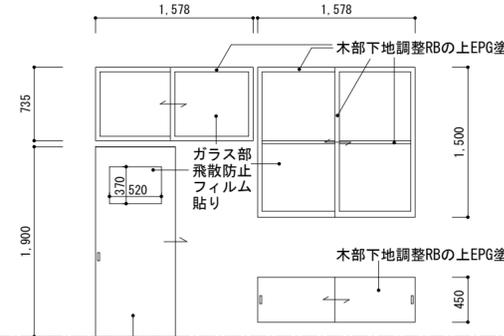
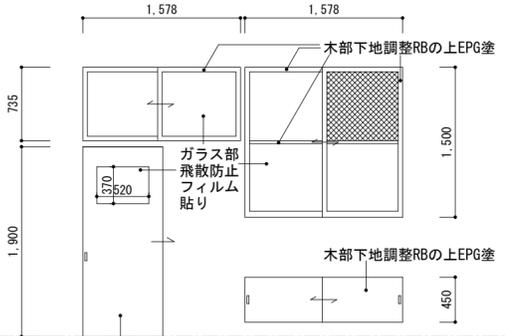
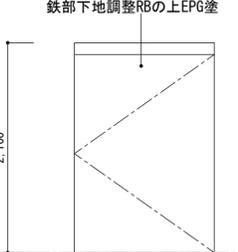
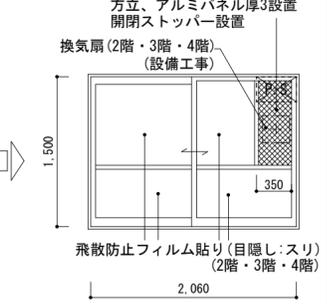
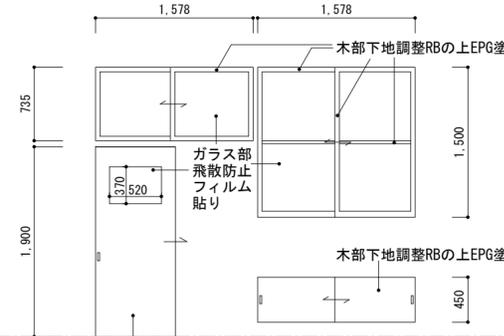
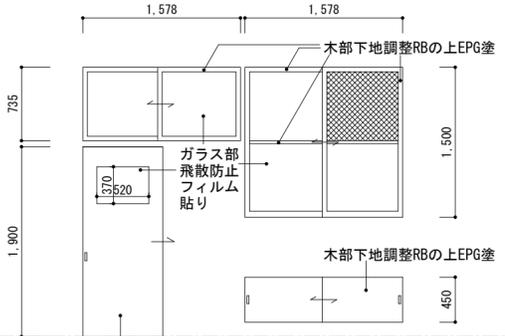
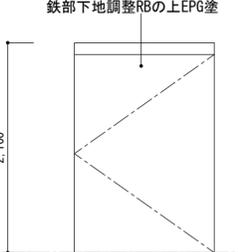
1階平面図

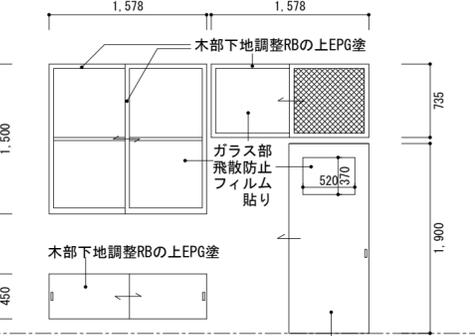
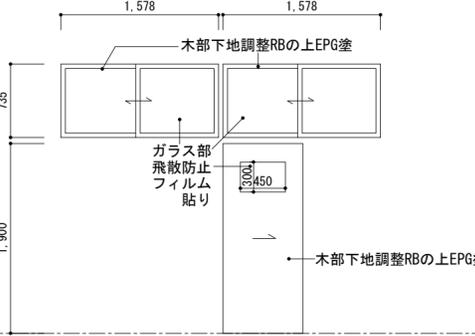
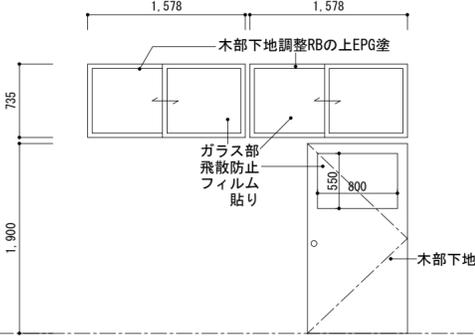
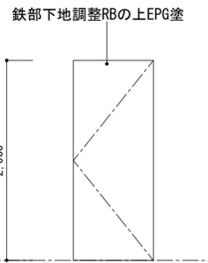
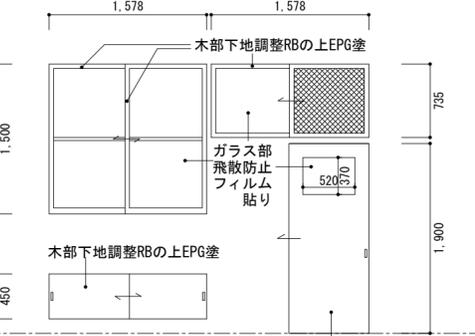
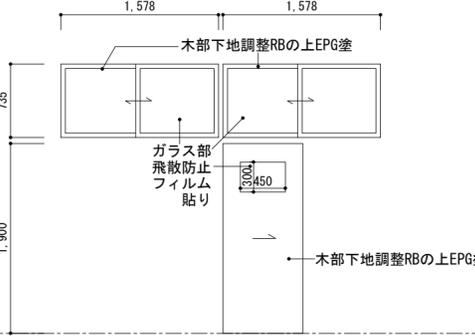
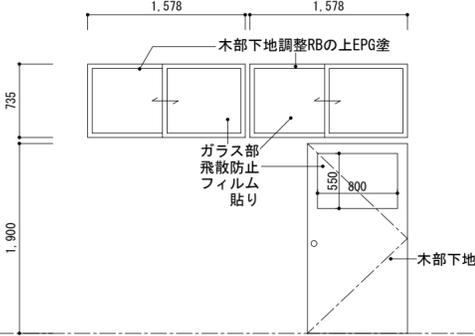
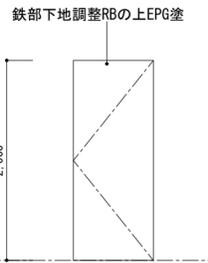


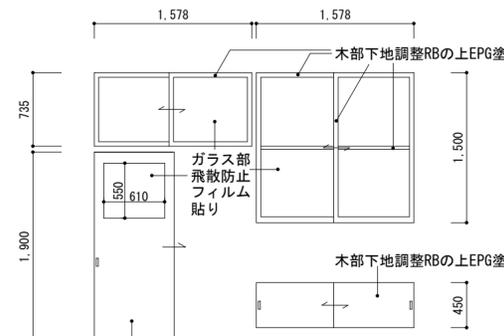
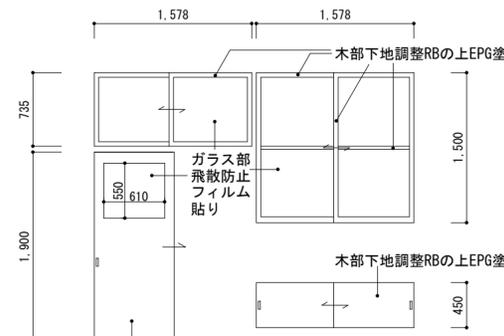
3階平面図

建具表 NO.1(フィルム貼) 工事内容:室内側よりガラス面に飛散防止フィルム貼り(※アルミパネル部、網入りガラス部を除く)		■凡例		:アルミパネル部分を示す		:網入りガラス厚6.8部分を示す		:スリガラス部分を示す		:ガラス取替部分を示す	
記号/形式/数量	AD1 両開きアルミ框戸 + FIX 1	AD2 両開きアルミ框戸 + FIX 1	AD4 両開きアルミ框戸 + FIX 1	AD4' 両開きアルミ框戸 + FIX 1							
形状											
室名	南昇降口	北昇降口	1階 作業室, 相談室	※フィルム貼り工事対象外							
記号/形式/数量	AD5 両開きアルミ框戸 + FIX 1	AW1 ランマ付き2枚引違い連窓 17	AW1a ランマ付き2枚引違い連窓 1	AW1b ランマ付き2枚引違い連窓 1	AW1' ランマ付き2枚引違い連窓 13	AW1'' ランマ付き2枚引違い連窓 1	AW2 2枚引違い連窓 31				
形状								※()内は各階①通り~②通り間のサッシ寸法を示す			
室名	1階 保健室	教室	教室	教室	教室	教室	廊下				
記号/形式/数量	AW2' 2枚引違い連窓 3	AW3 FIX段窓 4	AW3' FIX段窓 4	AW4 FIX連窓+段窓 2	AW5 FIX連窓+段窓 1	AW6 2枚引違い窓 3					
形状											
室名	廊下	A階段脇	A階段脇	A階段踊り場 1階・2階	A階段踊り場 3階	廊下					

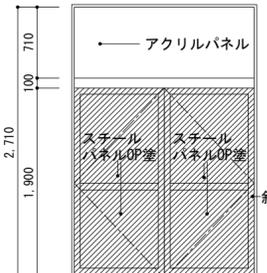
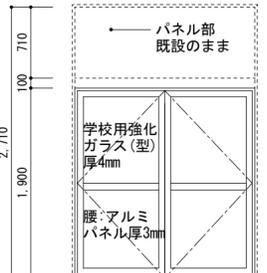
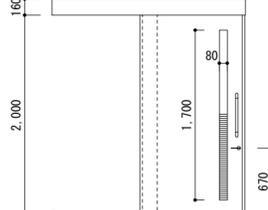
建具表 NO.2(建具改修) ■凡例 :アルミパネル部分を示す

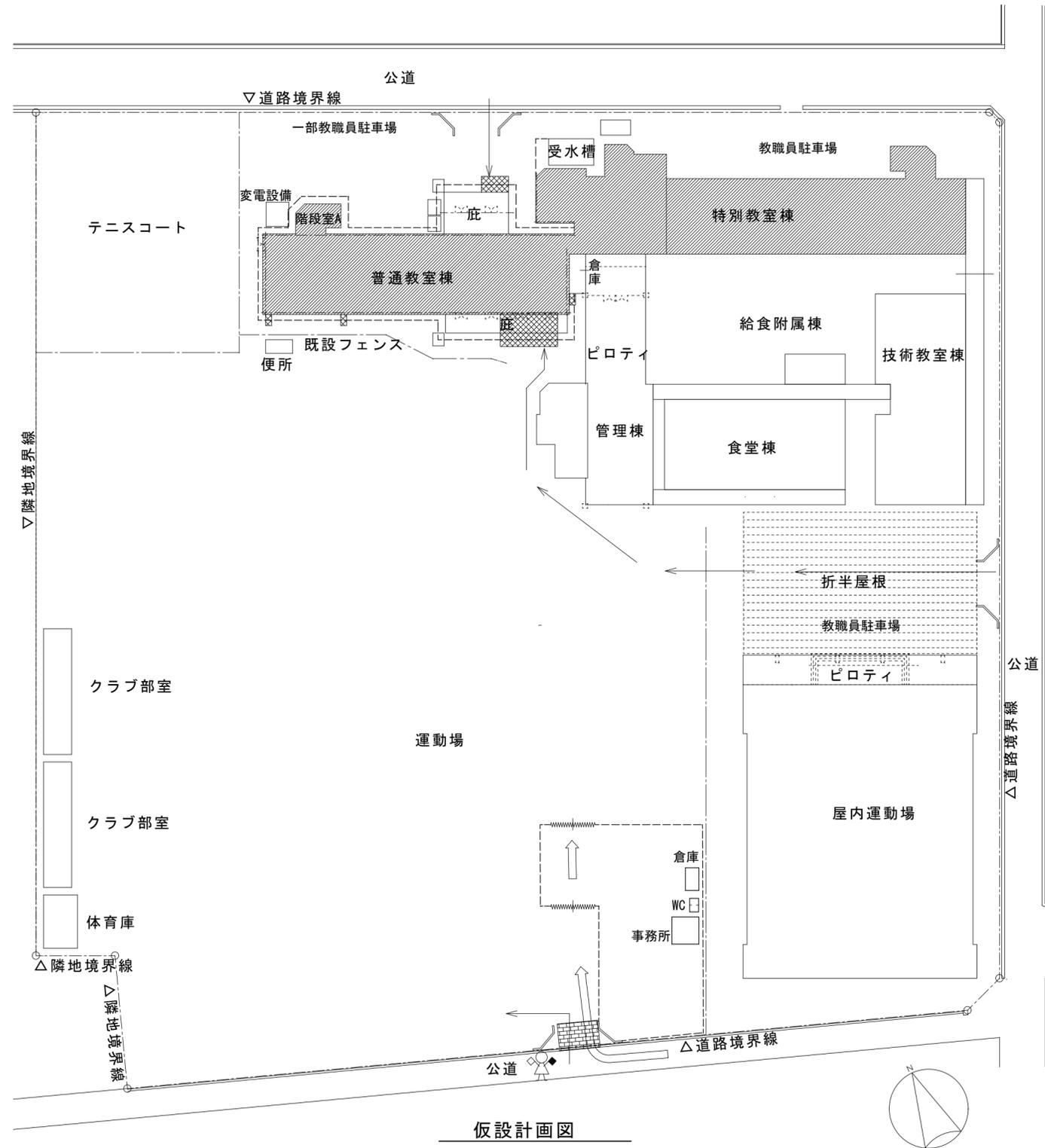
記号/形式/数量	AW7 2枚引違い窓 4	WD1 2枚引違い框連窓 + 木製片引き戸 + 2枚引違いフラッシュ戸 23	WD1' 2枚引違い框連窓 + 木製片引き戸 + 2枚引違いフラッシュ戸 1	SD1 鋼製片引きフラッシュ戸(防火戸) 4
形状	【改修前】 	改修内容: 木部塗替え(居室・廊下側両面)、ガラス部飛散防止フィルム貼り 	改修内容: 木部塗替え(居室・廊下側両面)、ガラス部飛散防止フィルム貼り(アルミパネル部以外) 	改修内容: 鉄部塗替え 
	【改修後】 			
室名	多目的トイレ(1階・2階・3階・4階)	教室	教室	階段室A

記号/形式/数量	WD1' 2枚引違い框連窓 + 木製片引き戸 + 2枚引違いフラッシュ戸 8	WD2 2枚引違い框連窓 + 木製片引き戸 1	WD3 2枚引違い框連窓 + 木製片引き戸 + 2枚引違いフラッシュ戸 1	SD2 鋼製片引きフラッシュ戸 1
形状	改修内容: 木部塗替え(居室・廊下側両面)、ガラス部飛散防止フィルム貼り(アルミパネル部以外) 	改修内容: 木部塗替え(居室・廊下側両面)、ガラス部飛散防止フィルム貼り 	改修内容: 木部塗替え(居室・廊下側両面)、ガラス部飛散防止フィルム貼り 	改修内容: 鉄部塗替え 
				
室名	教室	保健室	保健室	階段室A

記号/形式/数量	WD4 2枚引違い框連窓 + 木製片引き戸 + 2枚引違いフラッシュ戸 2
形状	改修内容: 木部塗替え(廊下側のみ)、ガラス部飛散防止フィルム貼り 
	
室名	作業室

建具表 NO.3(新設、撤去・新設)

記号/形式/数量	AD3 両開きアルミ框戸 + FIX 1	AD3 両開きアルミ框戸 + FIX 1	LSD1 自閉式軽量鋼製片引き戸 3
形状	工事内容: 【両開き戸のみ撤去】 撤去 	工事内容: 両開きアルミ框戸【新設】 【カバー工法】仕様: 見込70 アルミアルマイト仕上 丁番、ドアチェック (ストッパー付) シリンダー錠 ステンレスレバーハンドル 戸当り 	工事内容: 【新設】 仕様: 建具見込40mm 化粧鋼板(単色) 枠部 板厚1.6mm(焼付塗装) 上吊り自閉式引き戸金物一式 光窓(学校用強化厚4型)+ガラリ付 引き棒 抗菌樹脂巻き 大型サムターン ホール側表示錠付き 非常解除シリンダー錠 戸当り 
	室名	1階廊下	1階廊下



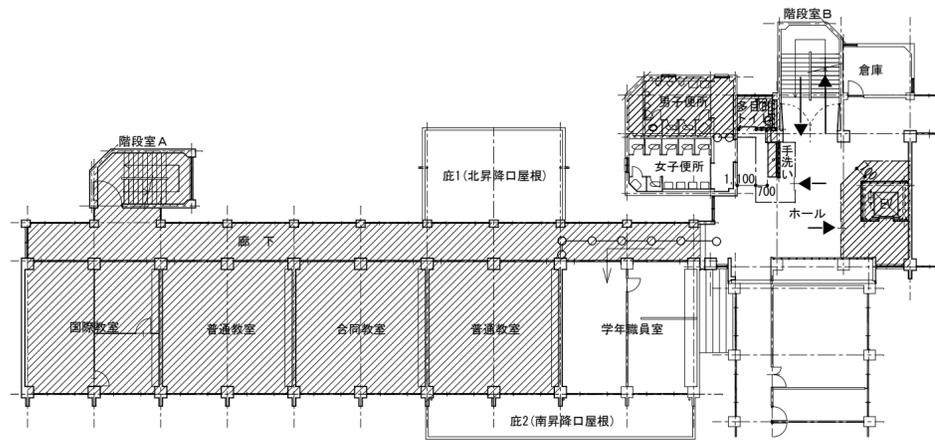
仮設計画図

■凡例

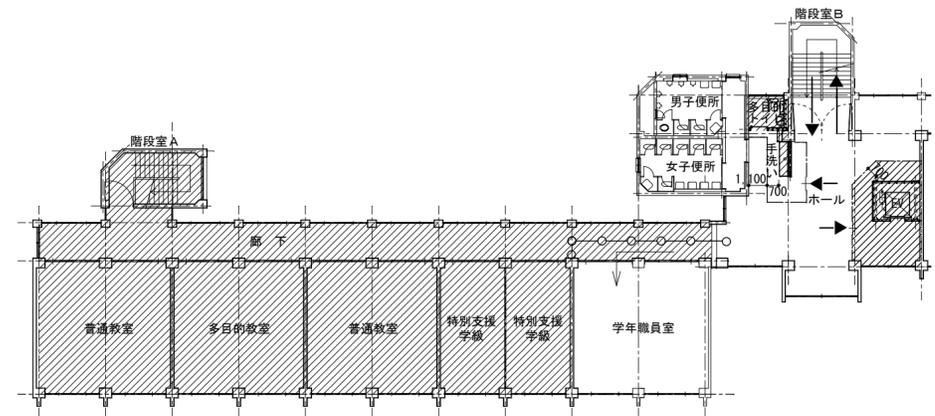
	:改修対象建築物を示す		:足場と出入口干渉部を示す 開口部設置、落下物防護養生を行うこと (北・南昇降口、保健室、作業室、仮設倉庫)
	:仮囲い(ガードフェンスH=1.8m)		:児童等学校関係者の動線を示す
	:クロスゲートW=6m		
	:鉄板敷き養生		
	:工事車両進入口を示す		
	:交通誘導員(大型車両進入口)		

※工事車両進入口である南側門においては、学校行事の際など施設利用者がグラウンドを駐車場として利用する際の進入口となる為、施設管理者と協議し安全に努めること。

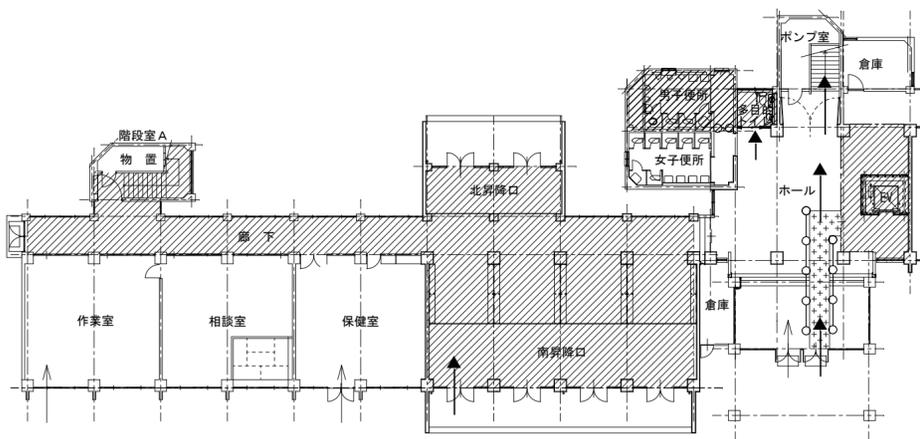
参考図



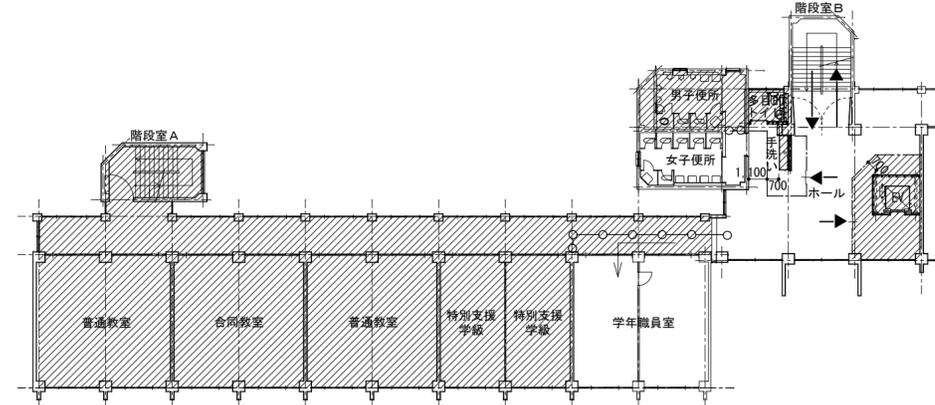
2階内部仮計画図



4階内部仮計画図



1階内部仮計画図



3階内部仮計画図

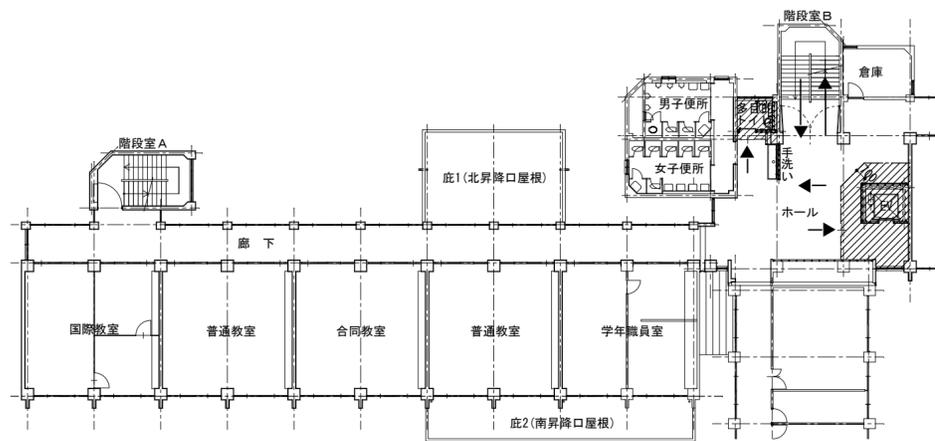
■凡例

: 内部工事範囲を示す	: 床養生を示す
: 仮設間仕切壁 (B種)	: コーンバー
: 仮設間仕切出入口を示す	
: 工事業者動線を示す	
: 児童等学校関係者の動線を示す	

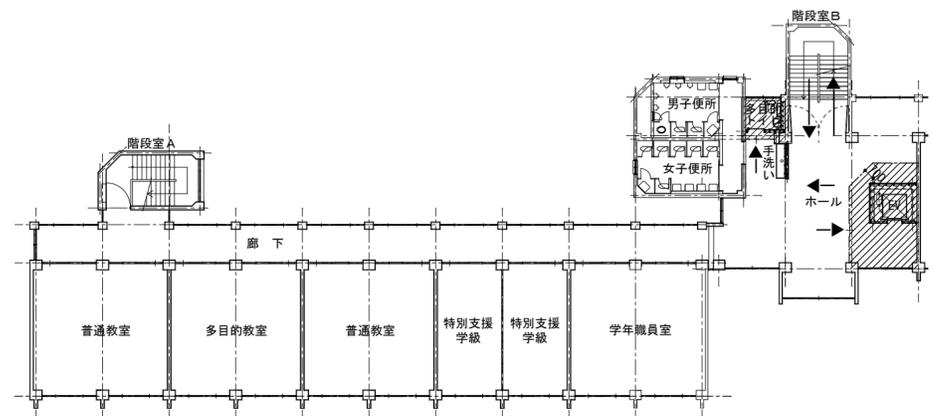
夏休み期間仮設計画

※学年職員室、保健室、相談室については夏休み期間中も使用する為、施設運営の支障とならない様協議し工事を行うこと。

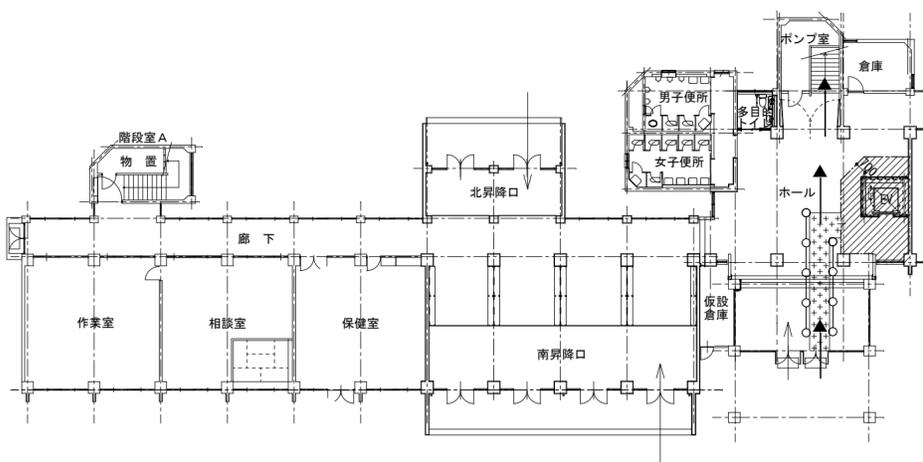
参考図



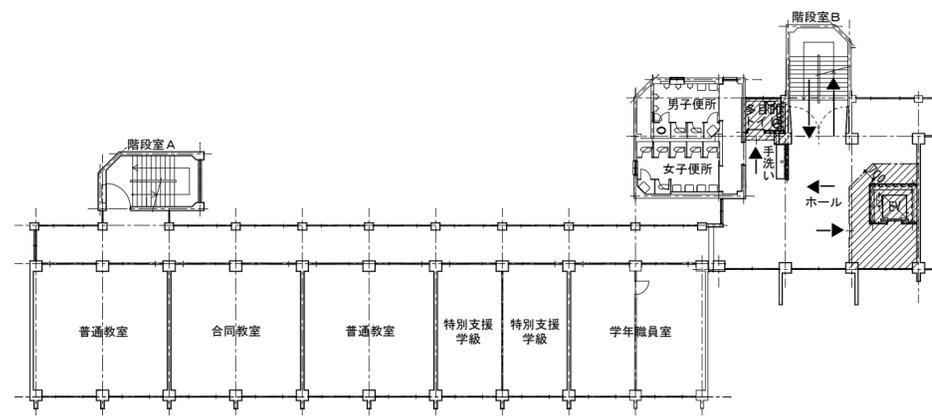
2階内部仮計画図



4階内部仮計画図



1階内部仮計画図



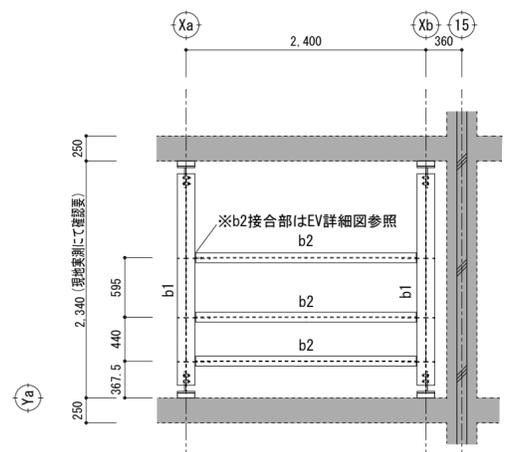
3階内部仮計画図

■凡例

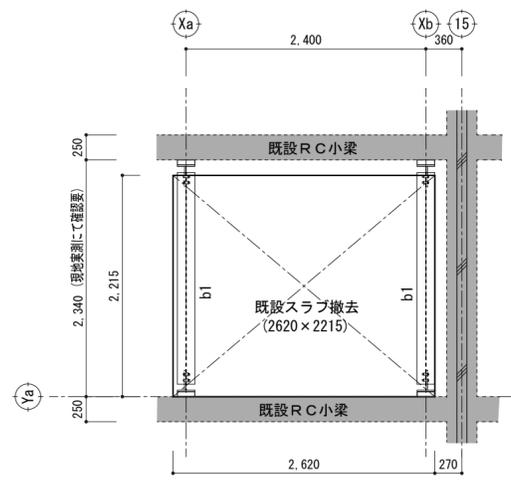
: 内部工事範囲を示す	: 床養生を示す
: 仮設間仕切壁(B種)	: コーンバー
: 仮設間仕切出入口を示す	
: 工事業者動線を示す	
: 児童等学校関係者の動線を示す	

二学期以降仮設計画

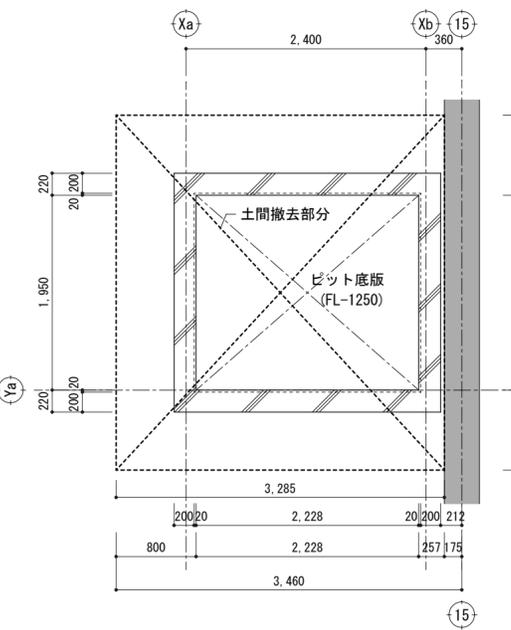
参考図



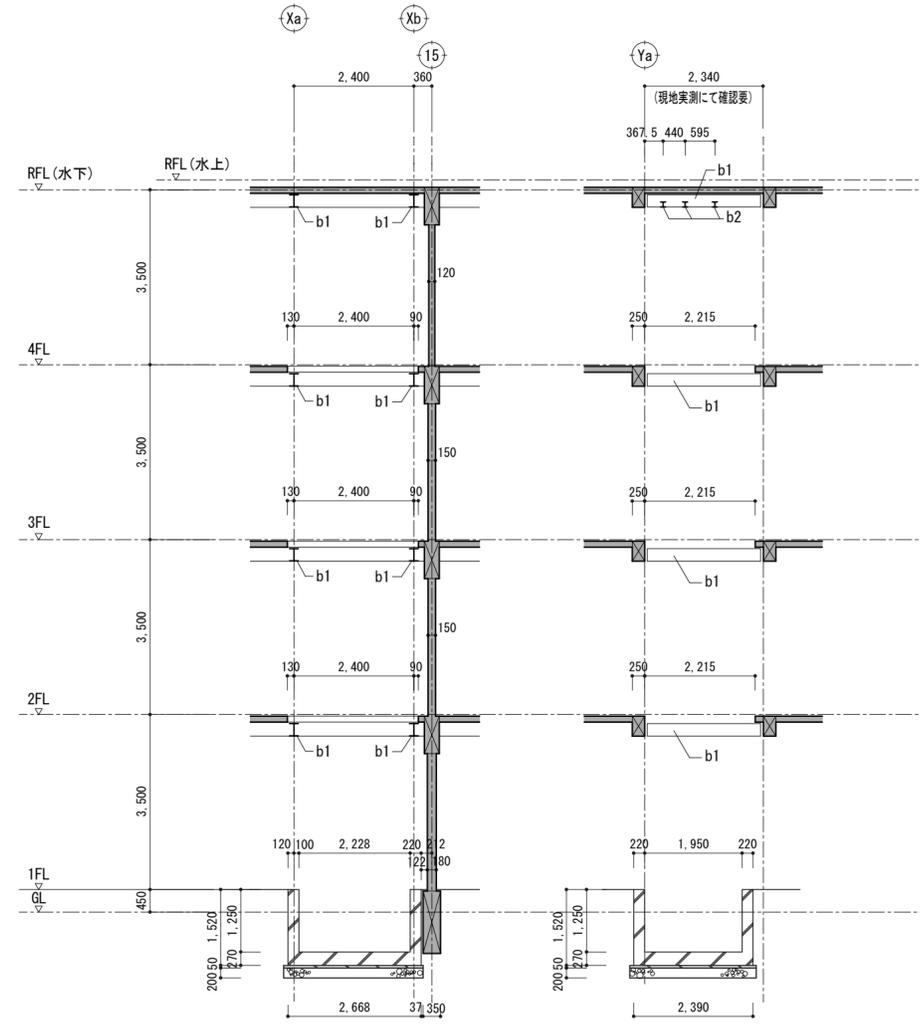
R階伏図 Sc. 1/50



2, 3, 4階伏図 Sc. 1/50



1階ピット伏図 Sc. 1/50



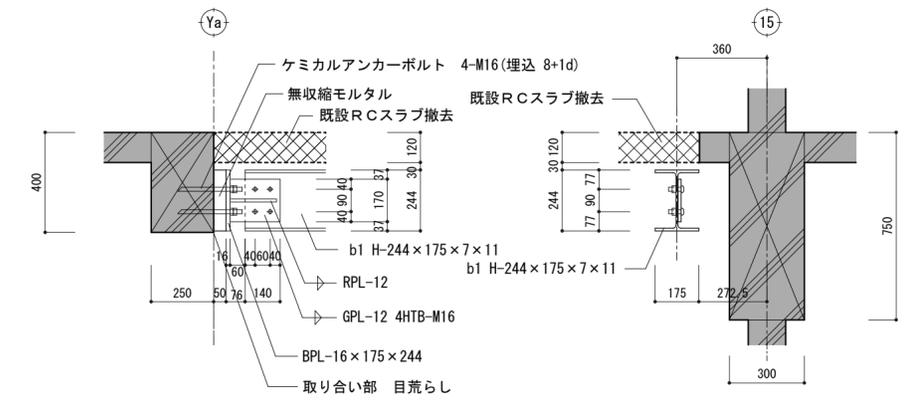
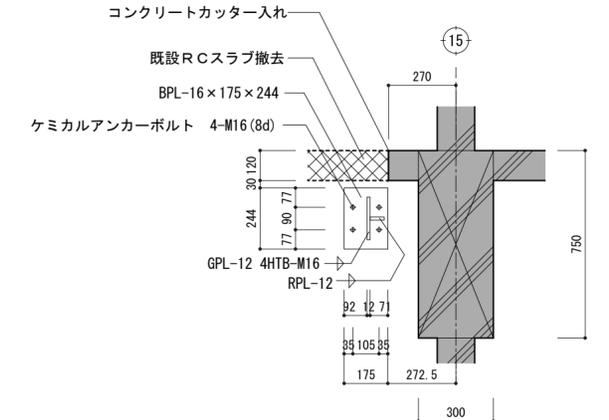
Ya通り軸組図 SC. 1/100

Xa, Xb通り軸組図 SC. 1/100

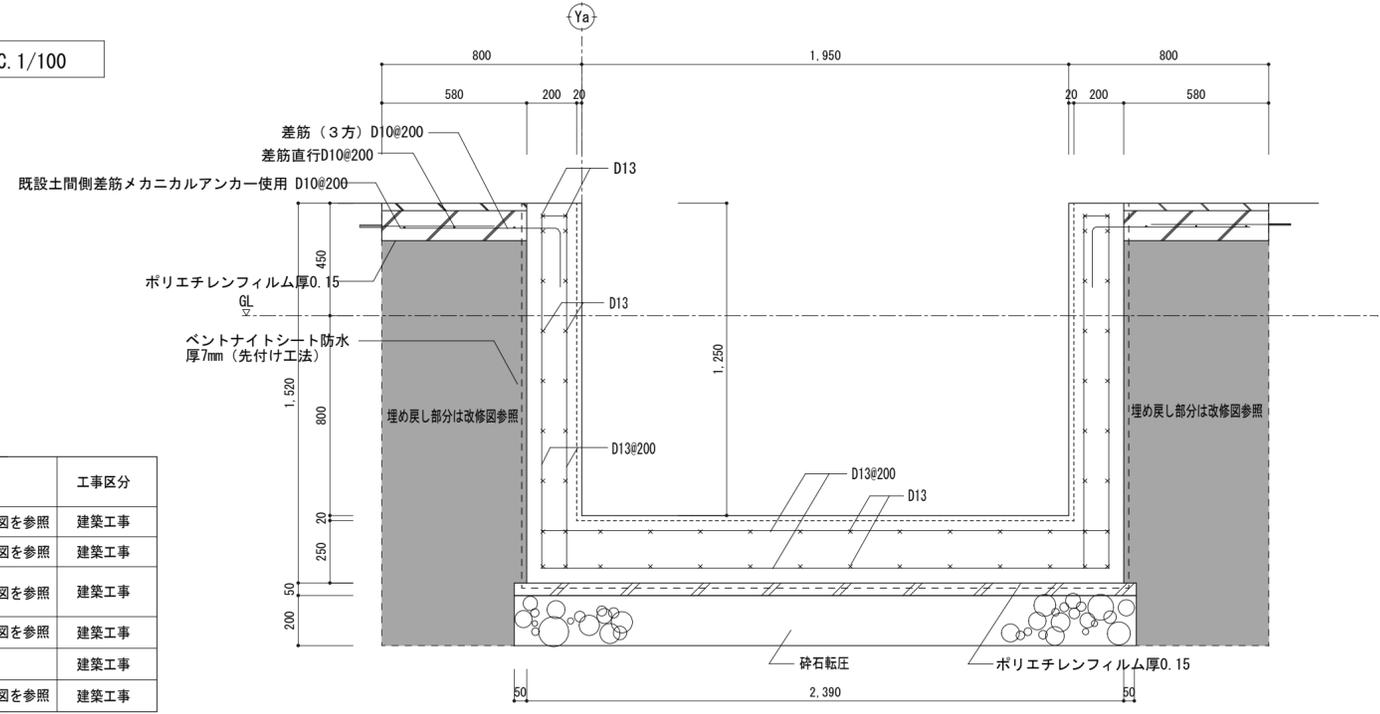
使用材料

- ・コンクリート 普通コンクリート Fc=24+S (躯体コンクリート)
Fc=21 (土間コンクリート)
Fc=18 (捨てコンクリート)
- ・鉄筋 SD295 (D16以下)
SD345 (D19以上)
- ・鉄骨 SS400 (H形鋼、鋼板)
- ・高力ボルト S-10T
- ・鉄骨錆止 一般錆止め塗料(工場1回塗り+現場1回塗り)

部材記号	名称	部材	接合部	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	E V詳細参考図を参照	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t 12	E V詳細参考図を参照	建築工事
d 1	レールブラケット取付用ファスナー兼 構重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t 12	E V詳細参考図を参照	建築工事
d 2	構重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t 12	E V詳細参考図を参照	建築工事
b 1	ファスナー取り付け用ビーム	H-244×175×7×11	当図面による	建築工事
b 2	構重ビーム (ビーム残し)	H-100×100×6×8	E V詳細参考図を参照	建築工事



鉄骨部材端部接合部詳細図 Sc. 1/20



ピット詳細図 Sc. 1/20